

仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）
市民意識調査

— 調査結果報告書 —

2024 年 11 月

仙 台 市

<目次>

頁

I	調査概要.....	1
1	調査の目的	1
2	調査期間.....	1
3	調査対象.....	1
4	調査方法.....	1
5	調査内容.....	1
6	回収数.....	1
7	特記事項.....	2
II	回答者の属性.....	3
III	調査結果.....	5
1	単純集計	5
(1)	仙台市の環境に関する満足度について	5
(2)	日常生活における環境配慮行動について.....	8
(3)	自然環境の保全について	17
(4)	地球温暖化対策について	19
(5)	環境学習について	22
(6)	仙台市の環境施策について	23
(7)	仙台市の環境行政へのご意見等について（自由意見）	25
2	クロス集計	27
(1)	仙台市の環境に関する満足度について	27
(2)	日常生活における環境配慮行動について.....	33
(3)	自然環境の保全について	52
(4)	地球温暖化対策について	57
3	「杜の都環境プラン」の定量目標の進捗について	62
IV	調査票.....	65

I 調査概要

1 調査の目的

令和3年3月に策定した仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）は計画期間が10年（令和3年度から令和12年度）に及ぶため計画期間半ばに中間評価を行うこととしている。令和7年度が計画期間の折り返し年であることから、令和6年度中に市民意識調査を実施し、プランに掲げる定量目標の達成状況等を把握する。

2 調査期間

令和6年9月9日（月）～令和6年9月27日（金）

※令和6年10月10日（木）までの回収票を有効とした。

3 調査対象

市民アンケート：満18歳以上の市民3,000人

中学生アンケート：市内中学校25校の2年生800人

4 調査方法

市民アンケート：郵送による調査票の配布・回収

中学生アンケート：中学校の各クラスを通じて直接配布・回収

5 調査内容

市民アンケート

仙台市の環境に関する満足度、日常生活における環境配慮行動、自然環境の保全、地球温暖化対策についてなど、全7問（選択式、一部自由記載）

中学生アンケート

仙台市の環境に対する満足度、日常生活における環境配慮行動、環境学習に関する興味など、全5問（選択式、一部自由記載）

（詳細は、IV 調査票を参照）

6 回収数

市民アンケート：1,229人（回収率41.0%）

中学生アンケート：656人（回収率82.0%）

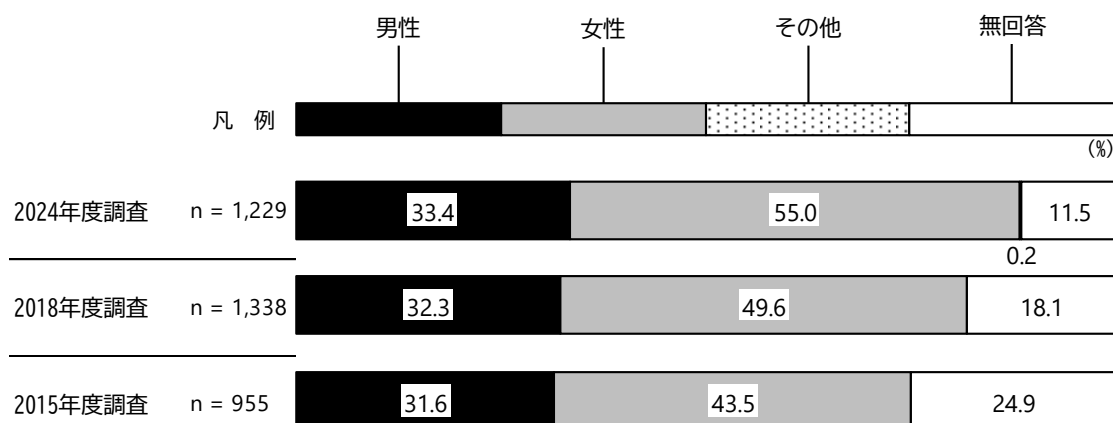
7 特記事項

- (1) 調査結果に示す調査数（ $n = \text{number of cases}$ ）は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。
- (3) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- (4) 回答が皆無（0件）であった選択肢の回答割合は、図表中では「-」と表記している。
- (5) 調査数(n)が少ない場合、一部のクロス軸の掲載を省略している場合がある。
- (6) 本調査のうち、「仙台市の環境に関する満足度」及び「日常生活における環境配慮行動」については、2018年度の調査結果と比較することにより、「杜の都環境プラン」の定量目標の進捗について評価を行う。

Ⅱ 回答者の属性

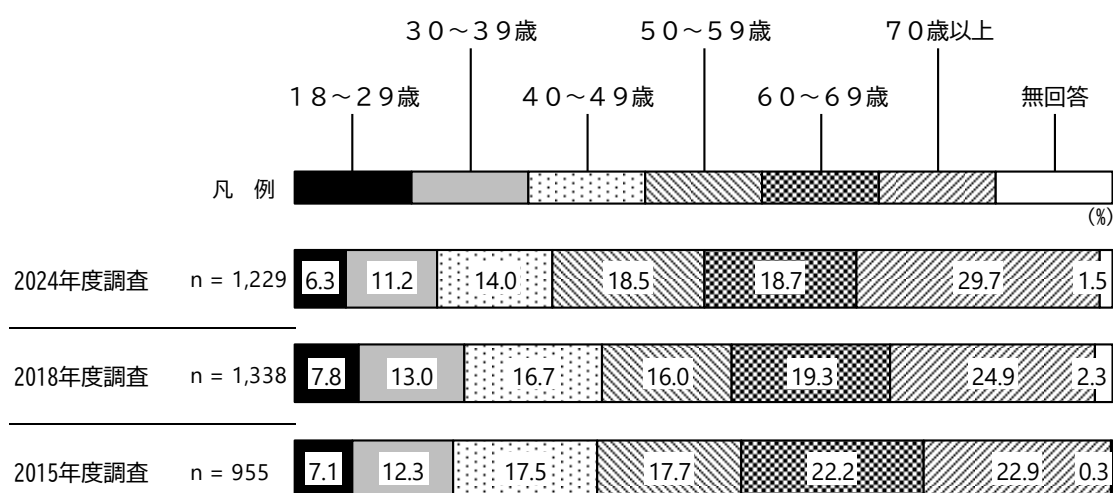
回答者の属性は、以下のとおりである。なお、回答者の属性は、市民アンケートのみ把握した。

① 性別



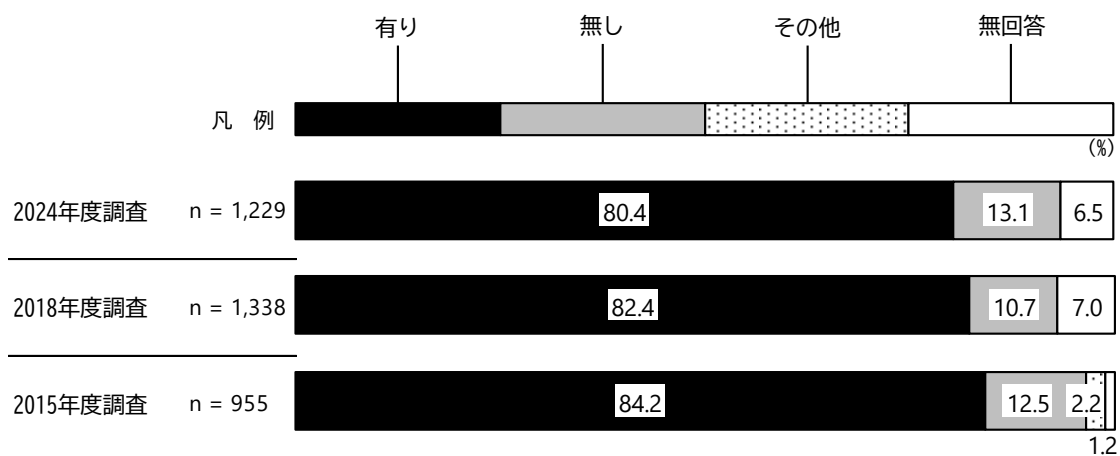
※2018年度・2015年度調査では「その他」は未聴取

② 年齢



※「18～29歳」は2015年度調査では「20才代」と比較

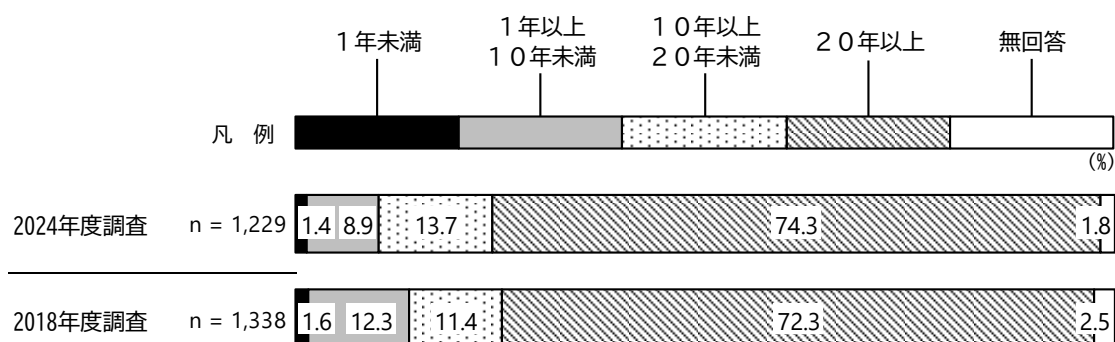
③ 同居人の有無



※2024年度・2018年度調査では「その他」は未聴取

※「有」は2015年度調査では「夫婦二人」、「親と子（2世代）」、「親と子と孫（3世代）」の合算値と比較

④ 仙台市における居住期間



Ⅲ 調査結果

1 単純集計

(1) 仙台市の環境に関する満足度について

問1. あなたは、現在の仙台市の環境について、次の各項目に関して満足していますか。
(各項目に1つだけ○)

※グラフはP 6～7を参照

「満足している」又は「やや満足している」との回答について、『①空気のきれいさ』、『④街路樹や公園などの身近な緑の多さ』、『⑤自然の豊かさ』が市民、中学生ともに8割台と高くなっている。

「満足している」又は「やや満足している」との回答について、市民では『③川や水辺のきれいさ』(61.8%)、『⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ』(59.4%)が中学生と比べて10ポイント以上高く、中学生では『⑥生きものと触れ合う機会の多さ』(53.4%)が市民と比べて22.4ポイント高くなっている。

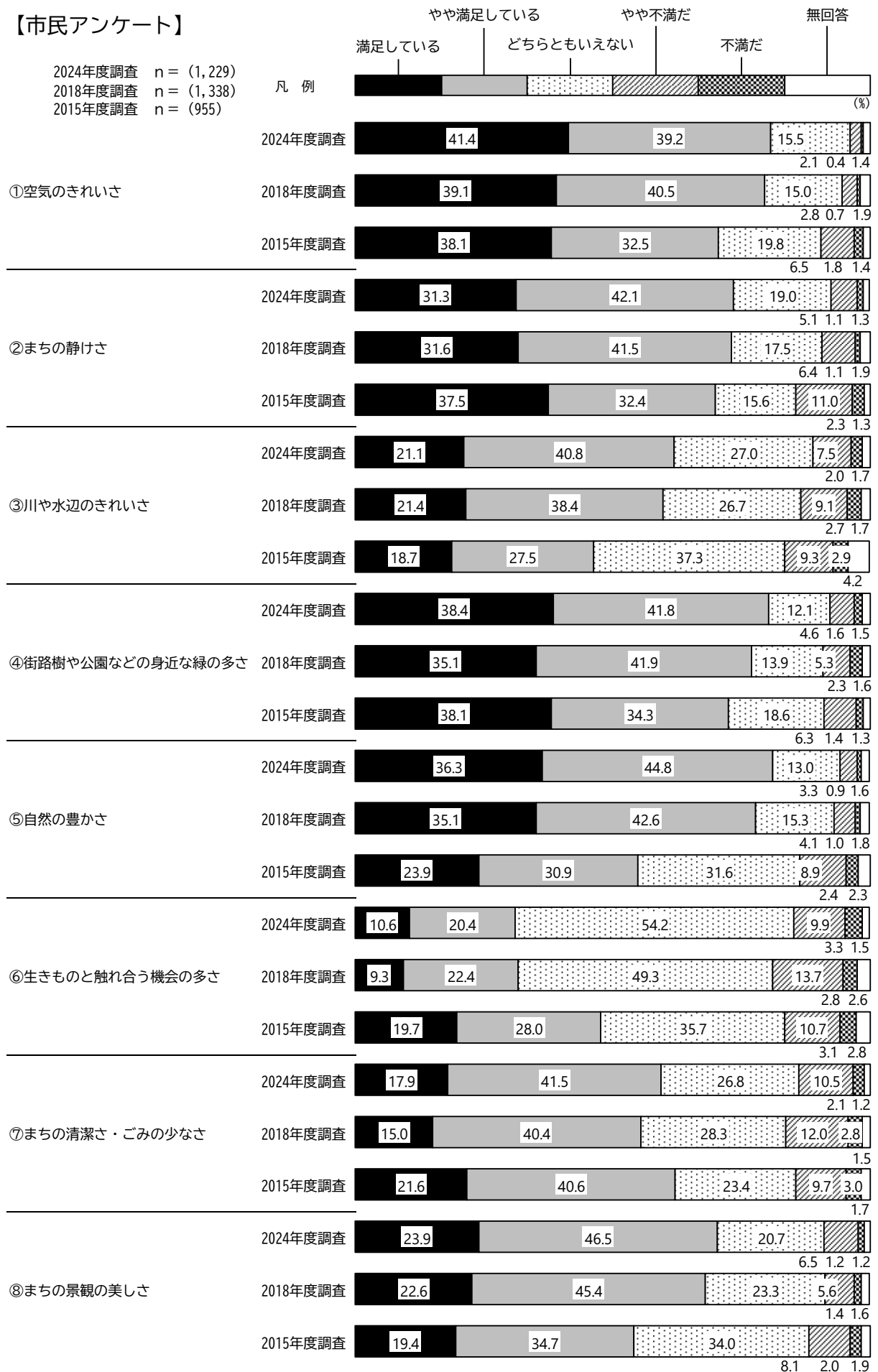
過年度調査と比較すると、「満足している」又は「やや満足している」との回答について、市民では『③川や水辺のきれいさ』、『⑤自然の豊かさ』、『⑧まちの景観の美しさ』が2015年度調査と比べて10ポイント以上上昇し、『⑥生きものと触れ合う機会の多さ』が2015年度調査と比べて16.6ポイント下降した。

また、「満足している」との回答について、中学生では『④街路樹や公園などの身近な緑の多さ』が2018年度調査と比べて11.3ポイント上昇し、『⑤自然の豊かさ』が2018年度調査及び2015年度調査と比べて10ポイント以上上昇した。

Ⅲ 調査結果

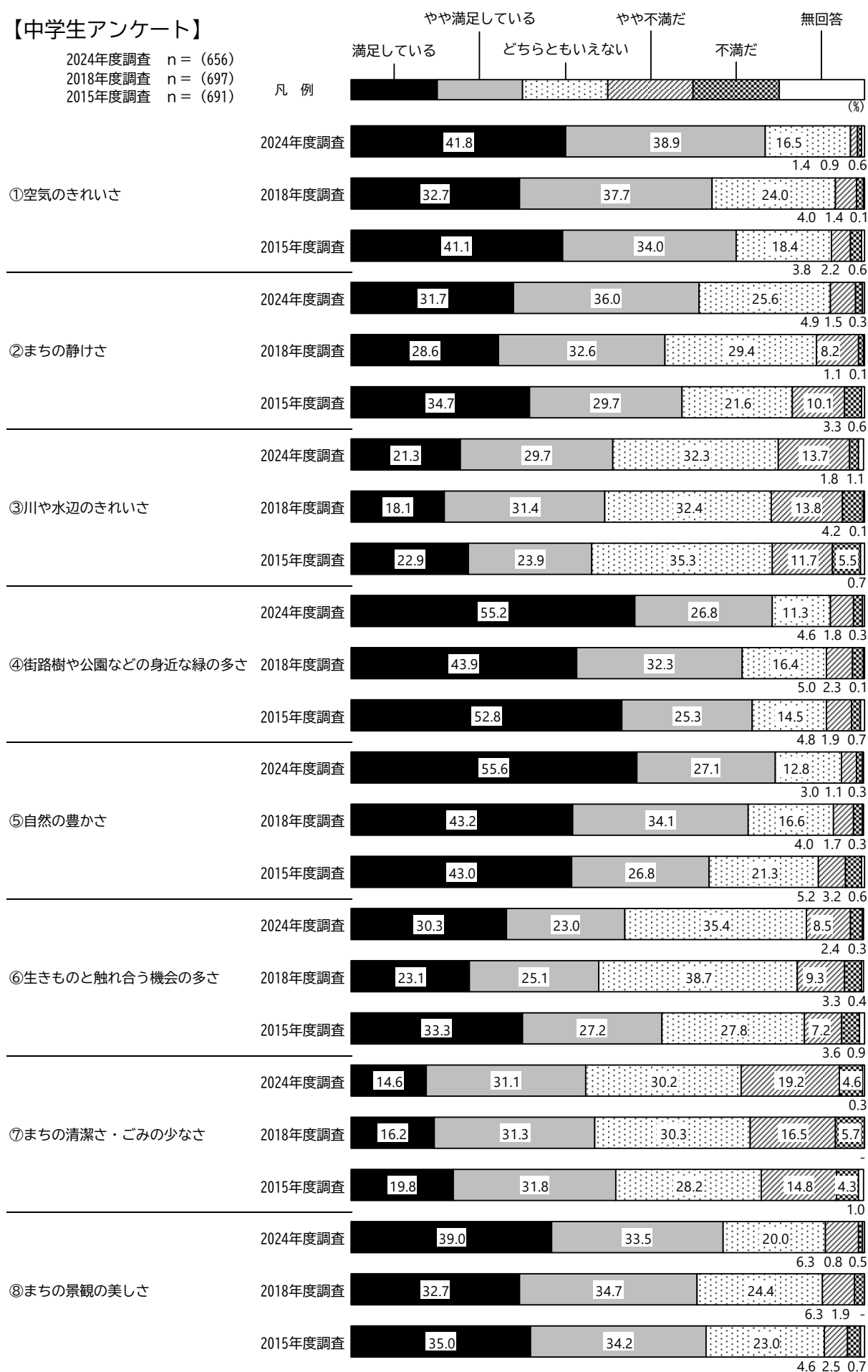
【市民アンケート】

2024年度調査 n = (1,229)
2018年度調査 n = (1,338)
2015年度調査 n = (955)



【中学生アンケート】

2024年度調査 n = (656)
 2018年度調査 n = (697)
 2015年度調査 n = (691)



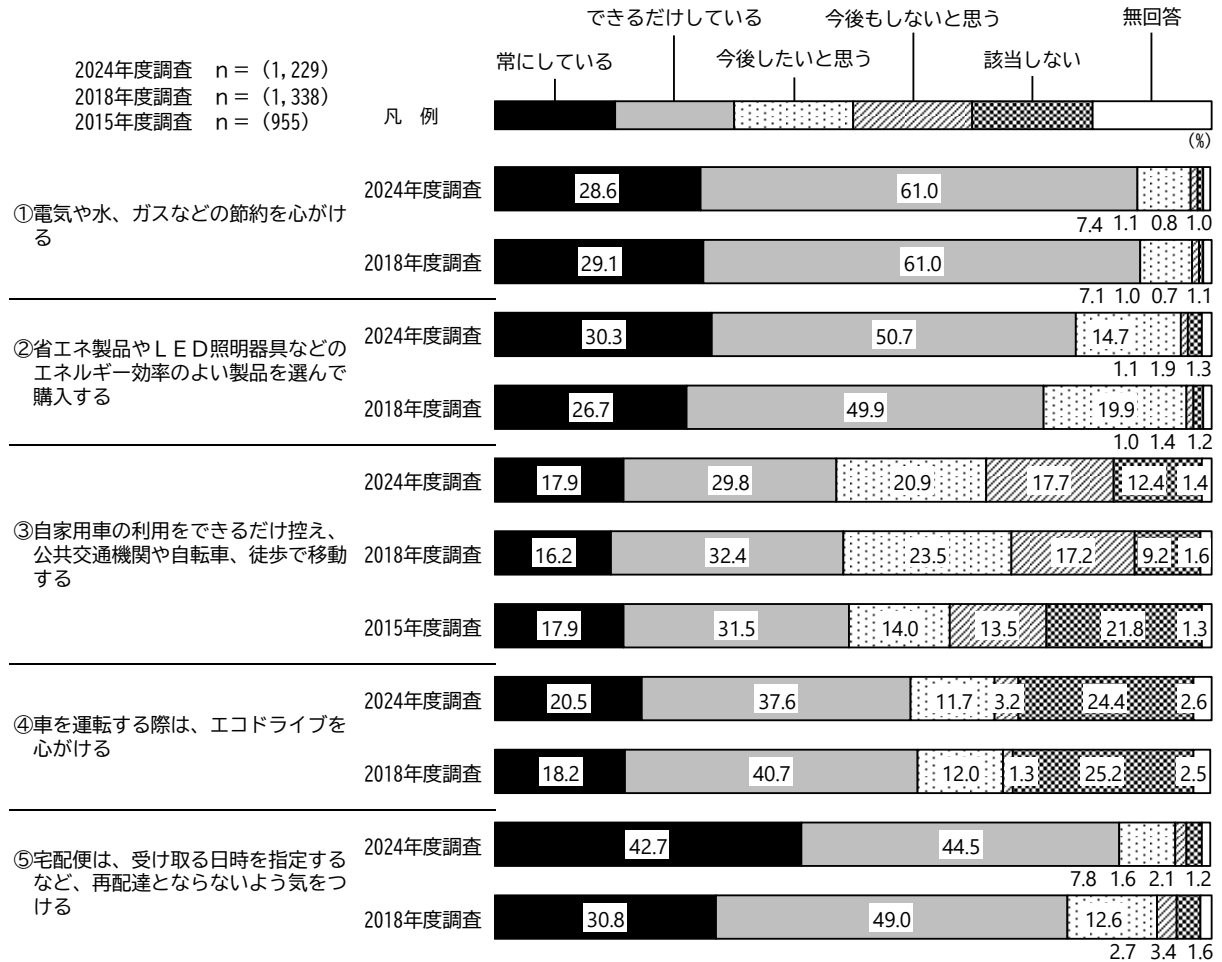
(2) 日常生活における環境配慮行動について

問2. あなたは、次に示すような環境に配慮した行動を行っていますか。

(各項目に1つだけ○)

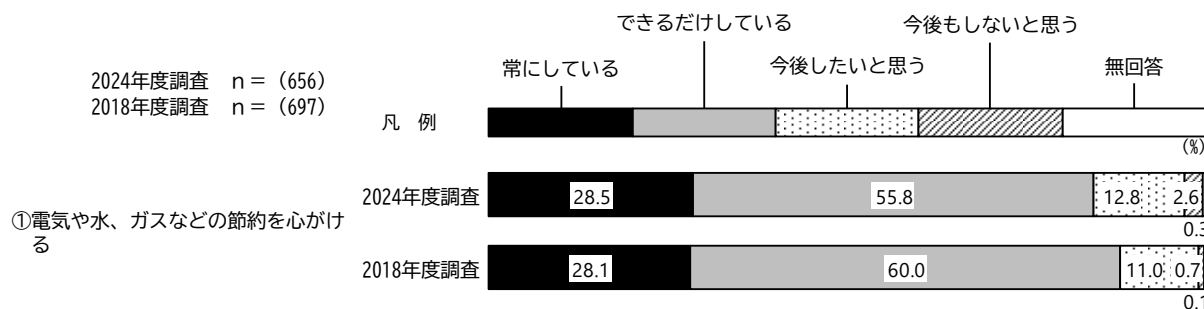
① 地球温暖化防止に配慮した行動について（家庭内や外出先での行動）

【市民アンケート】



※『③自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する』は2015年度調査では『近くへの外出にはマイカーを使用しない』と比較

【中学生アンケート】



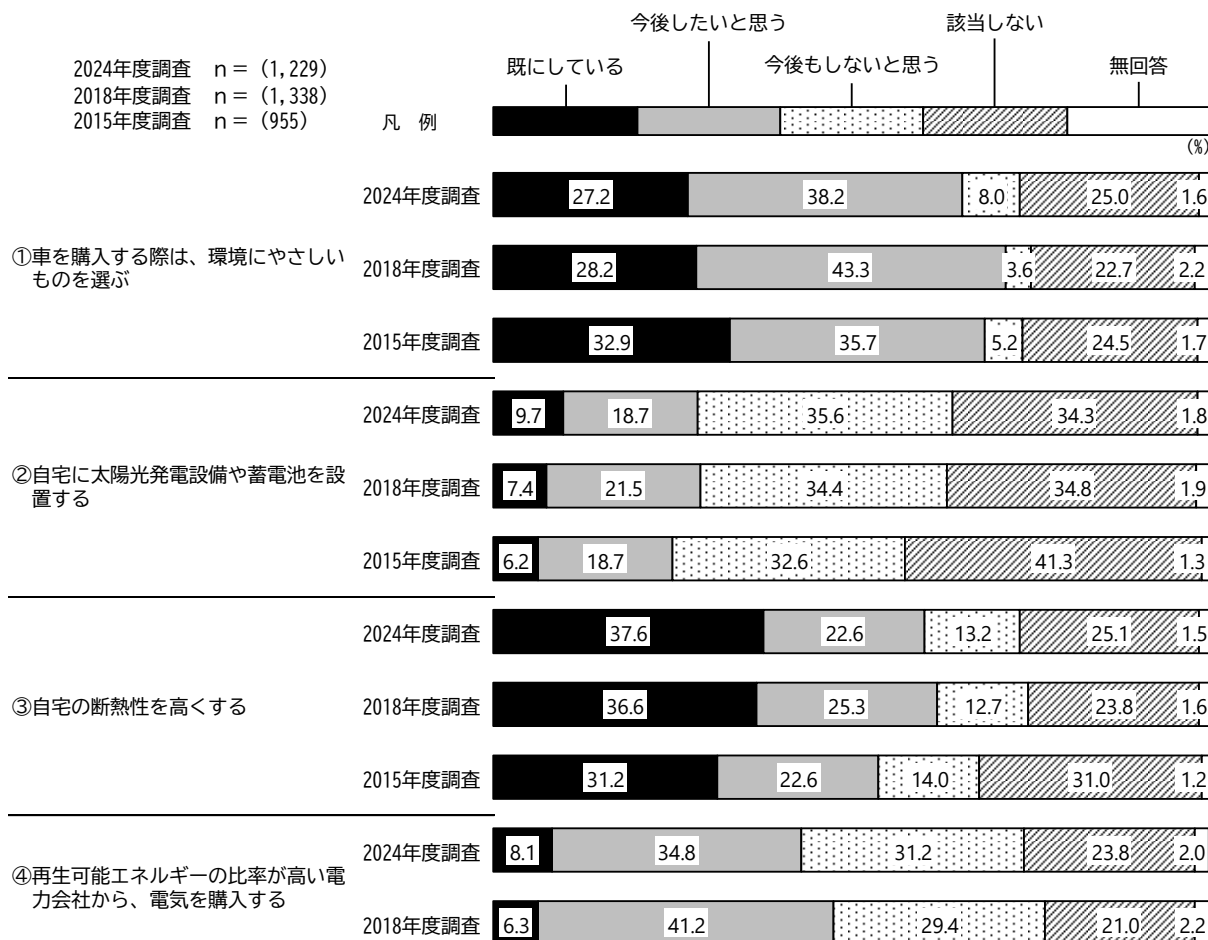
「常にして」又は「できるだけ」との回答について、『①電気や水、ガスなどの節約を心がける』が市民で 89.7%、中学生で 84.3%とともに高く、市民では次いで『⑤宅配便は、受け取る日時を指定するなど、再配達とならないよう気をつける』(87.2%)、『②省エネ製品やLED照明器具などのエネルギー効率のよい製品を選んで購入する』(81.0%)となっている。

一方、「常にして」又は「できるだけ」との回答について、『③自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する』(47.7%)、『④車を運転する際は、エコドライブを心がける』(58.1%)が他の項目と比べてやや低くなっている。

過年度調査と比較すると、「常にして」との回答について、市民では『⑤宅配便は、受け取る日時を指定するなど、再配達とならないよう気をつける』が 2018 年度調査と比べて 11.9 ポイント上昇した。

② 地球温暖化防止に配慮した行動について（車の購入や住まいに関する行動）

【市民アンケート】



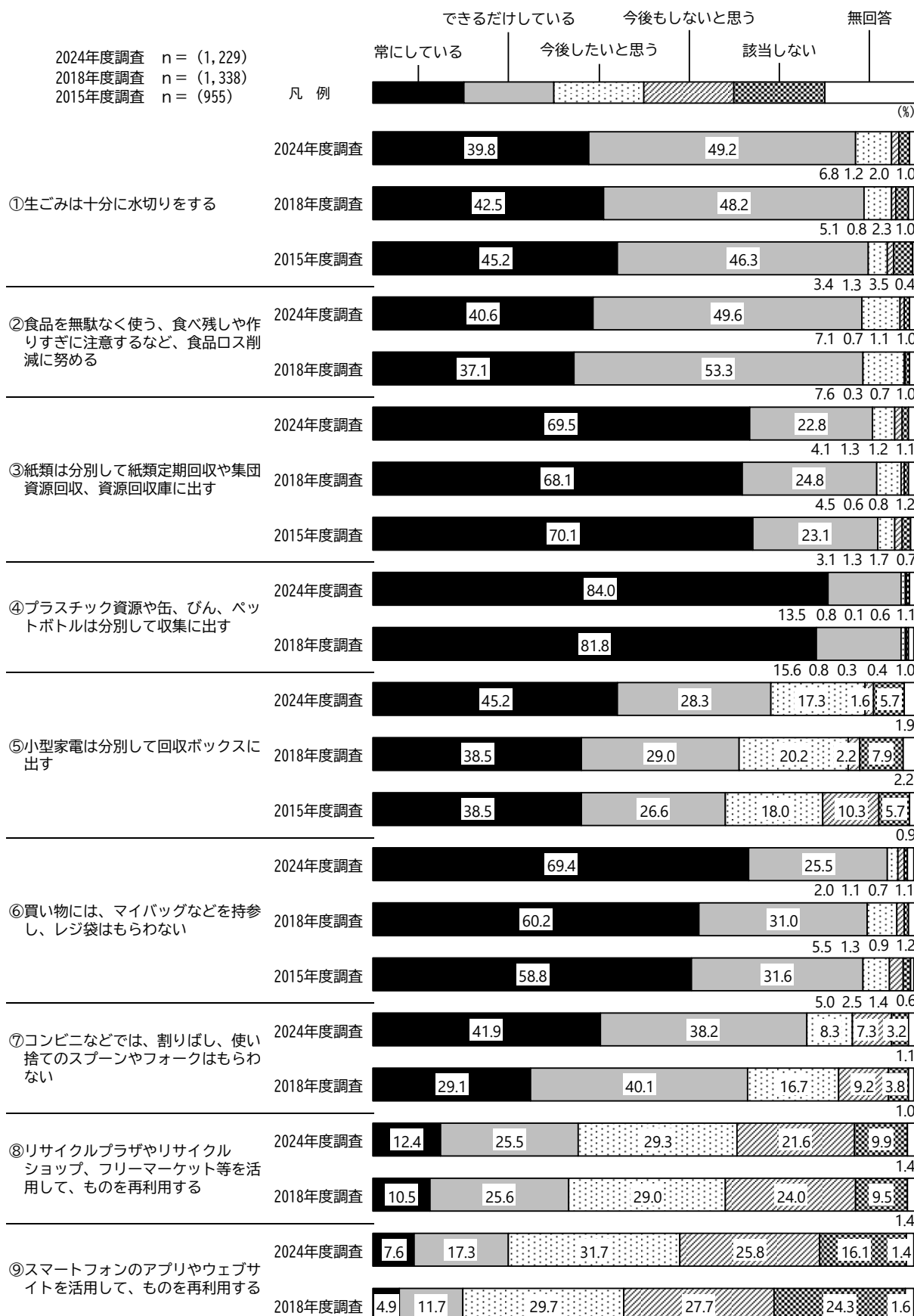
※『②自宅に太陽光発電設備や蓄電池を設置する』は2015年度調査では『自宅に太陽光発電パネルや太陽熱温水器を設置する』と比較

「既になっている」又は「今後したいと思う」との回答について、『①車を購入する際は、環境にやさしいものを選ぶ』（65.4%）、『③自宅の断熱性を高くする』（60.2%）が他の項目と比べて10ポイント以上高い一方、『②自宅に太陽光発電設備や蓄電池を設置する』（28.4%）が他の項目と比べて10ポイント以上低くなっている。

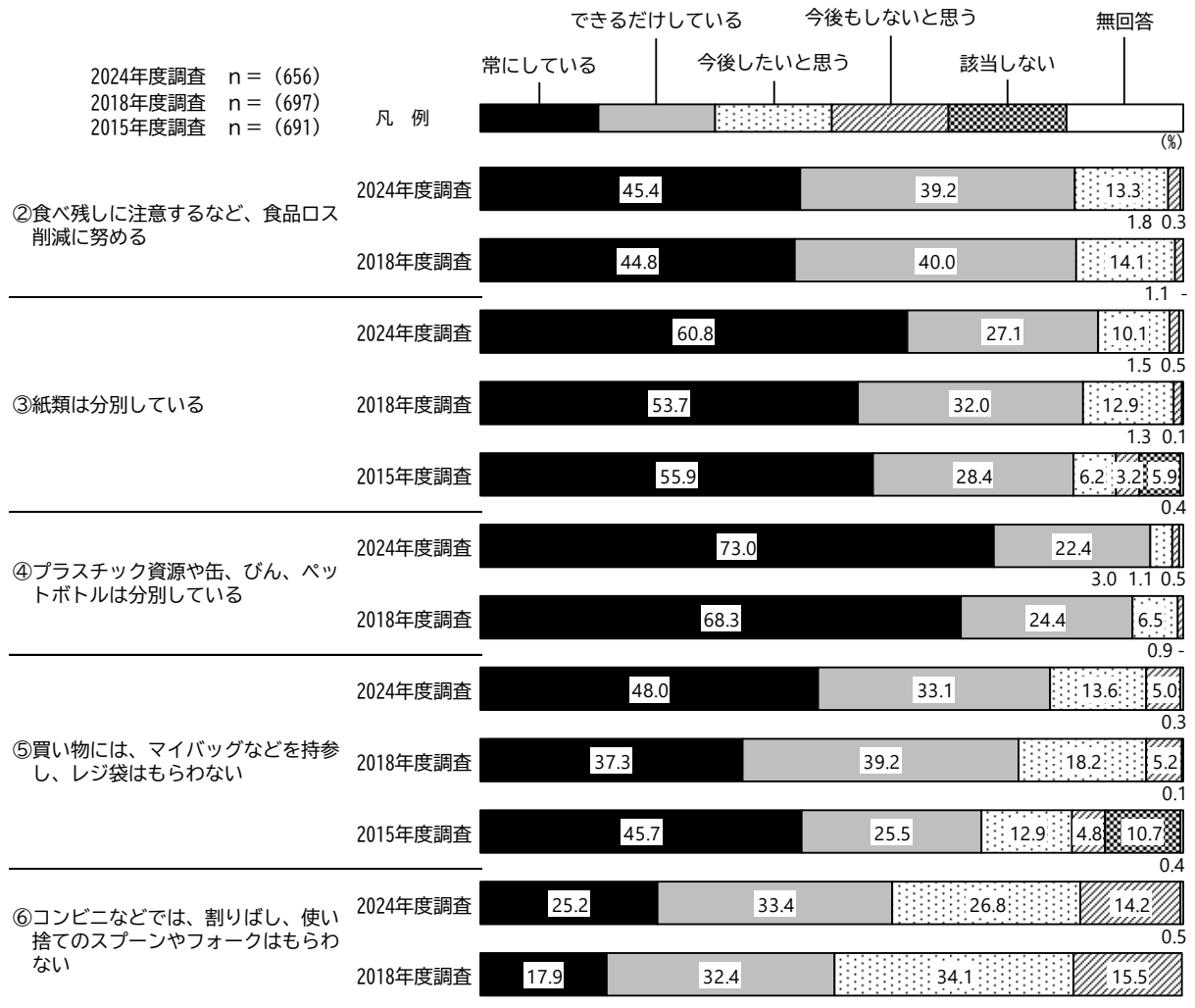
過年度調査と比較しても、概ね同様の傾向である。

③ ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動について

【市民アンケート】



【中学生アンケート】



※【市民アンケート】

『⑤小型家電は分別して回収ボックスに出す』は2015年度調査では『紙パックや食品トレイ、小型家電などは分別して店頭回収などに出す』と比較

「常に行っている」又は「できるだけ行っている」との回答について、市民では6項目が8割以上となっている。『④プラスチック資源や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す』(97.5%)が最も高く、次いで『⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない』(95.0%)、『③紙類は分別して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す』(92.3%)、『②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める』(90.2%)、『①生ごみは十分に水切りをする』(89.0%)、『⑦コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない』(80.1%)となっている。

一方、『⑧リサイクルプラザやリサイクルショップ、フリーマーケット等を活用して、ものを再利用する』(37.8%)、『⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する』(25.0%)が他の項目と比べて30ポイント以上低くなっている。

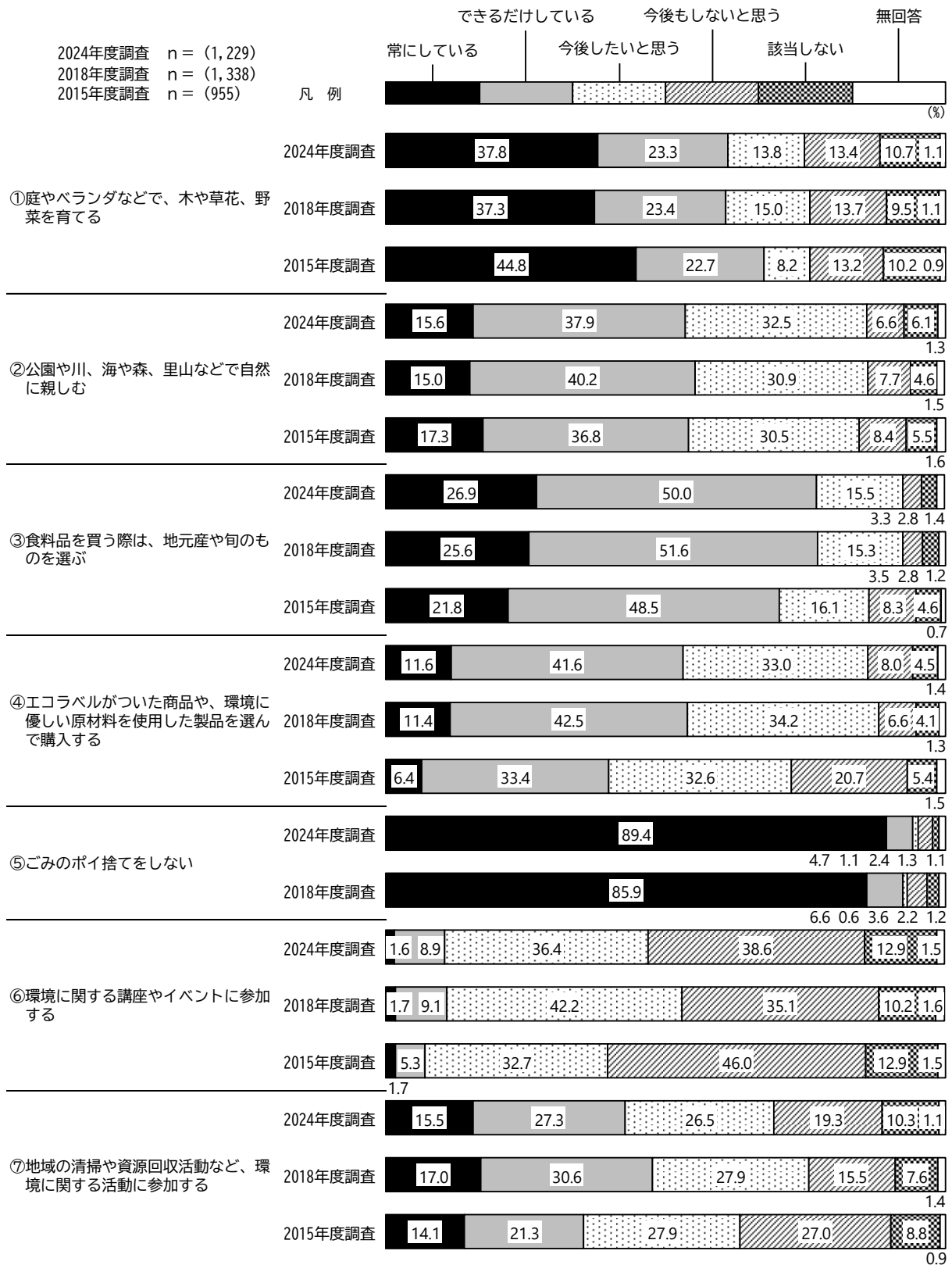
中学生では4項目が8割以上となっており、『④プラスチック資源や缶、びん、ペットボトルは分別している』(95.4%)が最も高く、次いで『③紙類は分別している』(88.0%)、『②食べ残しに注意するなど、食品ロス削減に努める』(84.6%)、『⑤買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない』(81.1%)となっている。市民と比べると、『⑤買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない』、『⑥コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない』(58.5%)が10ポイント以上低くなっている。

過年度調査と比較すると、「常に行っている」との回答について、市民では『⑦コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない』が2018年度調査と比べて12.8ポイント上昇した。

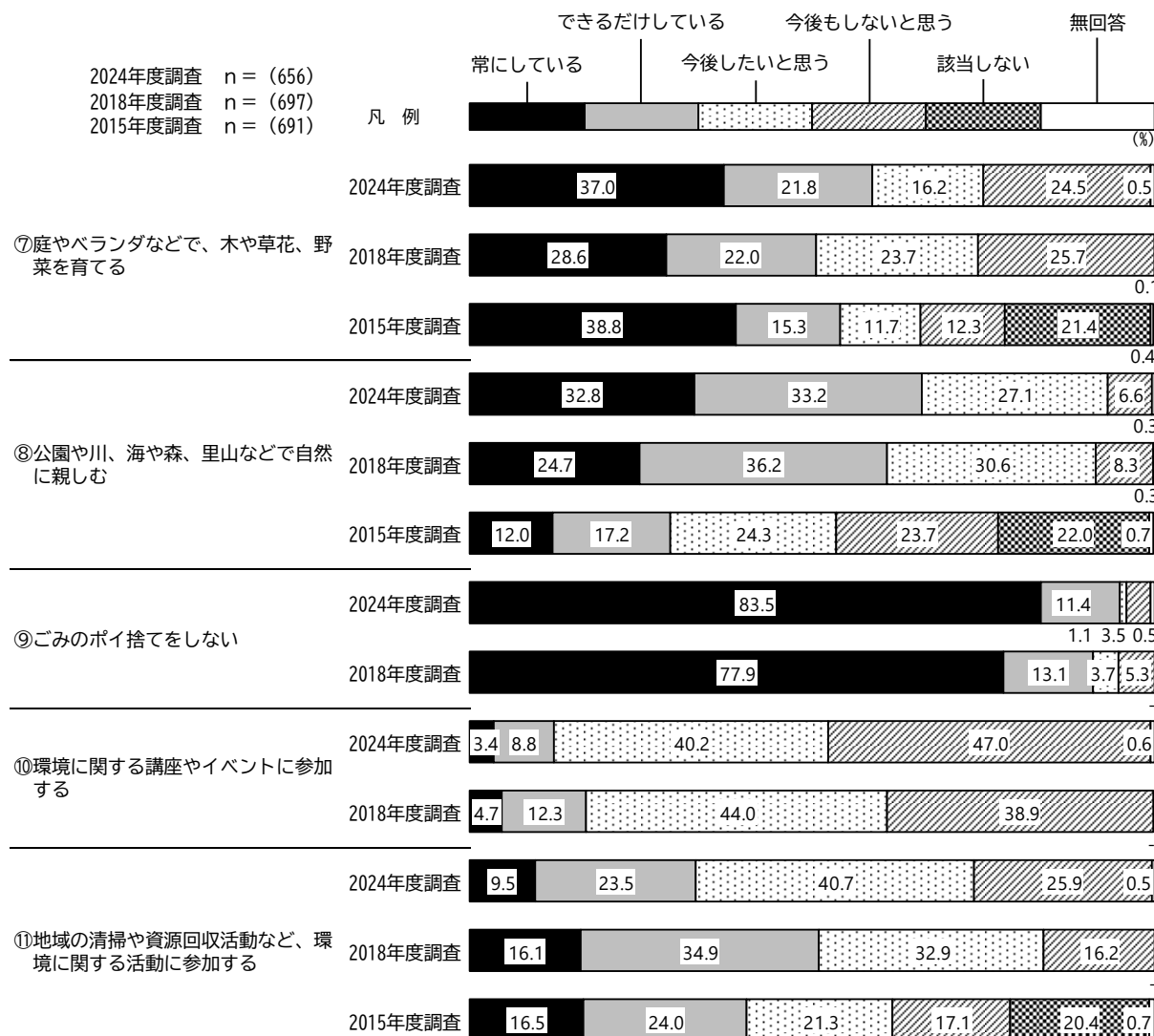
また、中学生では『⑤買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない』が2018年度調査と比べて10.7ポイント上昇した。

④ 自然環境の保全に配慮した行動について

【市民アンケート】



【中学生アンケート】



※『②公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ』（市民アンケート）、『⑧公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ』（中学生アンケート）は2015年度調査では『休日には自然に親しむ』と比較

※【市民アンケート】

『④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品を選んで購入する』は2015年度調査では『エコマーク商品やグリーン商品を選んで、購入する』と比較

『⑥環境に関する講座やイベントに参加する』は2015年度調査では『環境問題に関する講習会やシンポジウムに参加する』と比較

Ⅲ 調査結果

『ごみのポイ捨てをしない』について、「常にしている」が市民では 89.4%、中学生では 83.5%と高く、「できるだけしている」を含めると市民では 94.1%、中学生では 95.0%となっている。『ごみのポイ捨てをしない』以外の項目では、「常にしている」又は「できるだけしている」との回答について、『③食料品を買う際は、地元産や旬のものを選ぶ』（77.0%）が市民では他の項目と比べて 10 ポイント以上高くなっている。

一方、『環境に関する講座やイベントに参加する』が市民では 10.5%と他の項目と比べて 30 ポイント以上低く、中学生では 12.2%と他の項目と比べて 20 ポイント以上低くなっている。中学生では『⑧公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ』（66.0%）が市民と比べて 12.5 ポイント高くなっている。

「今後したいと思う」との回答について、中学生では『⑪地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する』（40.7%）が市民と比べて 14.2 ポイント高くなっている一方、「今後もしないと思う」との回答について、中学生では『⑦庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる』（24.5%）が市民と比べて 11.1 ポイント高くなっている。

過年度調査と比較すると、「常にしている」又は「できるだけしている」との回答について、中学生では『⑪地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する』が 2018 年度調査と比べて 18.0 ポイント下降した。

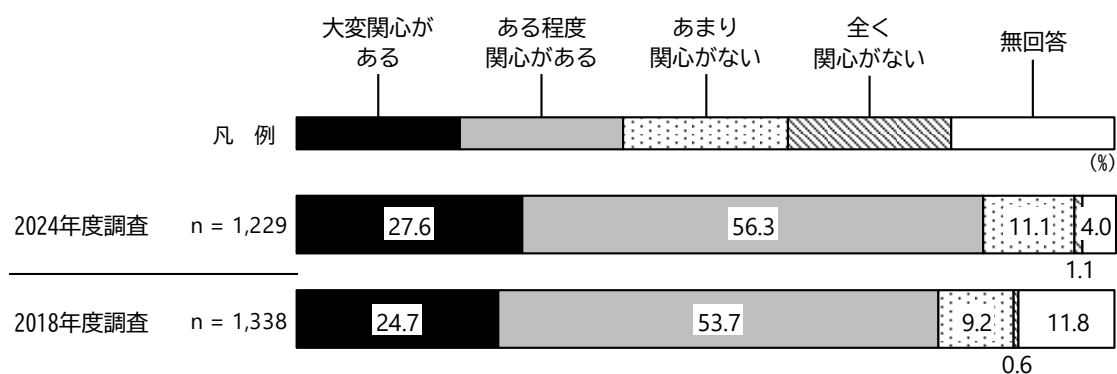
(3) 自然環境の保全について

問3. 仙台市は、市域全体の約8割が緑に覆われるなど、豊かな自然環境に恵まれ、多様な生きものが生息しています。

あなたは、自然環境の保全に関心がありますか。

(1つだけ○)

【市民アンケート】



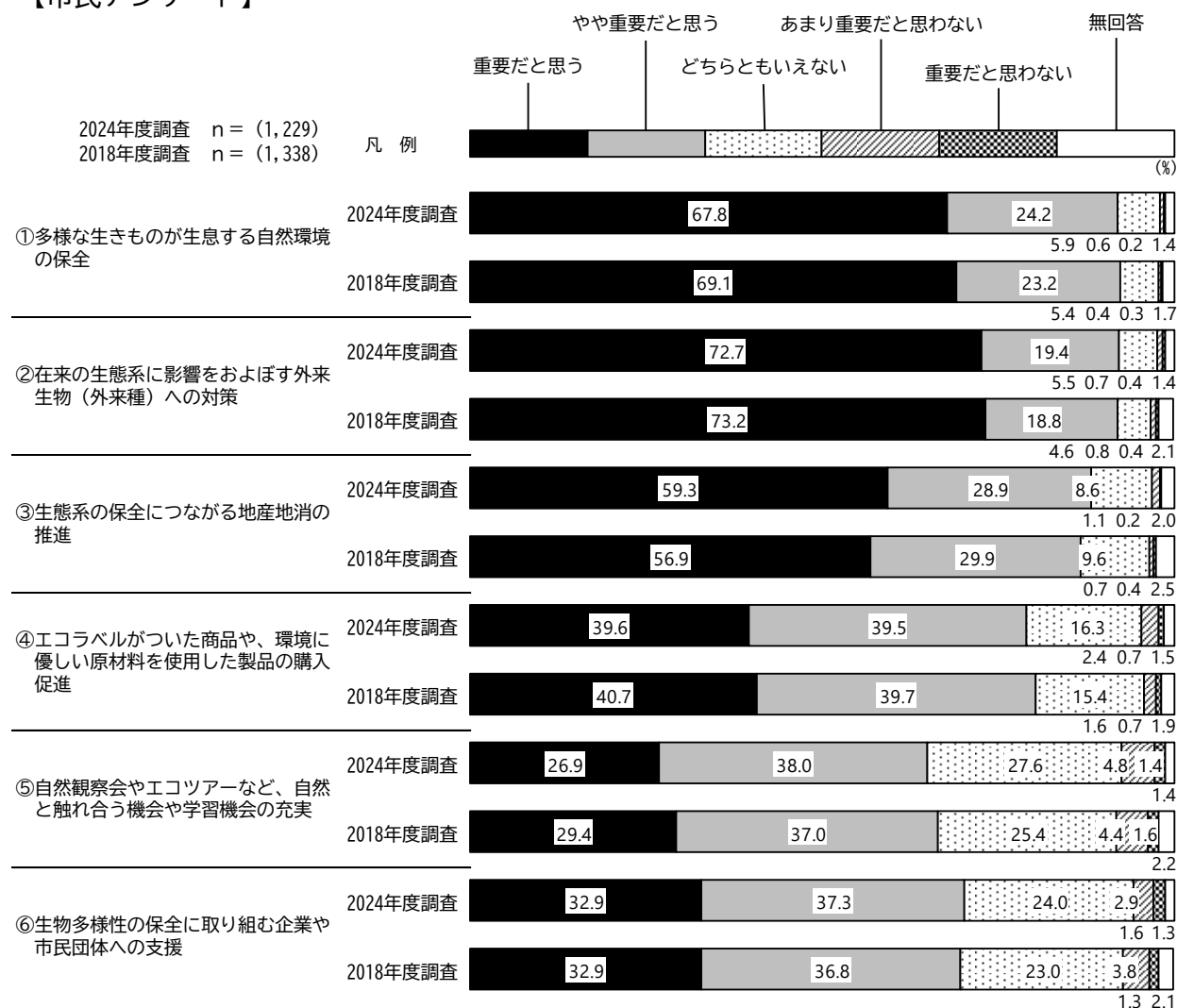
「大変関心がある」又は「ある程度関心がある」との回答について、83.9%と高くなっている。過年度調査と比較しても、概ね同様の傾向である。

問4. 人間も含め、地球上の様々な生きものが、お互いつながり支え合いながら生きていることを「生物多様性」と言います。近年、メダカやトンボなど身近な生きものが減少するなど、生物多様性の低下が問題となっています。

生物多様性を保全するため、仙台市が取り組む施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

(各項目に1つだけ○)

【市民アンケート】



「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」との回答について、いずれも6割以上と高くなっており、特に『①多様な生きものが生息する自然環境の保全』、『②在来の生態系に影響をおよぼす外来生物（外来種）への対策』（いずれも92.0%）が最も高く、次いで『③生態系の保全につながる地産地消の推進』（88.2%）となっている。

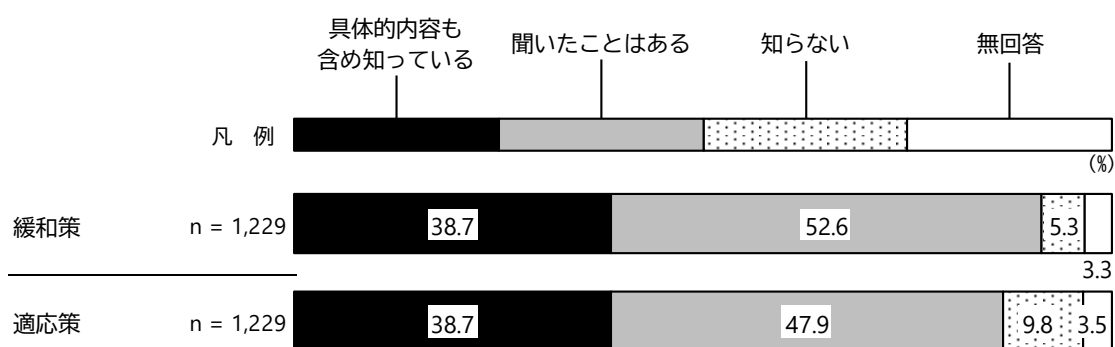
過年度調査と比較しても、概ね同様の傾向である。

(4) 地球温暖化対策について

問5. (1) 地球温暖化対策には、温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出量を減らす【緩和策】と、豪雨等の自然災害、猛暑による熱中症など避けられない影響に対応し、被害の回避・低減のために備える【適応策】があることをご存知ですか。

(各項目に1つだけ○)

【市民アンケート】



【緩和策】及び【適応策】で「具体的内容も含め知っている」がいずれも 38.7%、「聞いたことはある」が【緩和策】では 52.6%、【適応策】では 47.9%となっている。

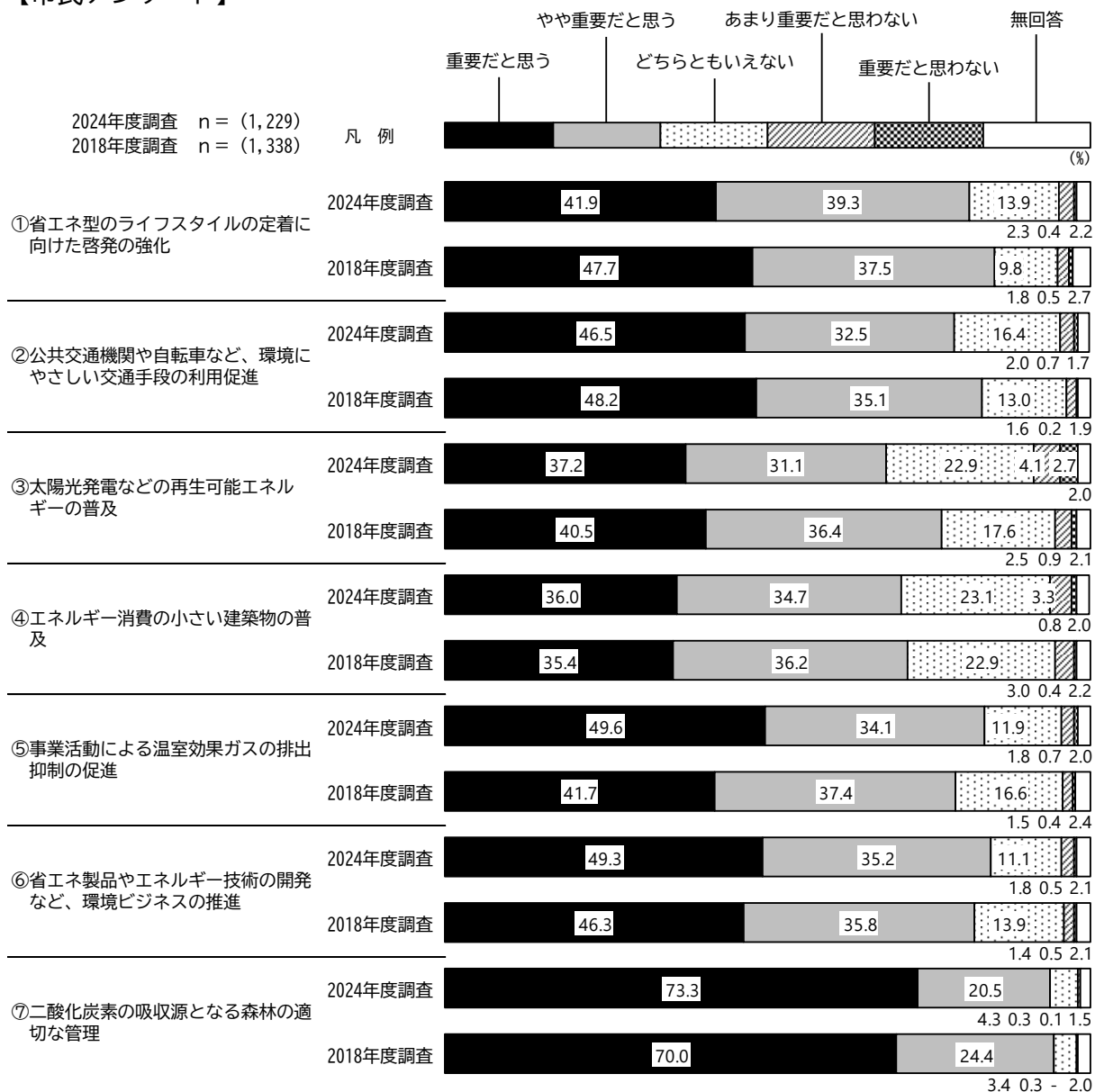
「具体的内容も含め知っている」又は「聞いたことはある」との回答について、【緩和策】では 91.4%、【適応策】では 86.7%となっている。

問5. (2) 地球温暖化対策について、仙台市が取り組む施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

(各項目に1つだけ○)

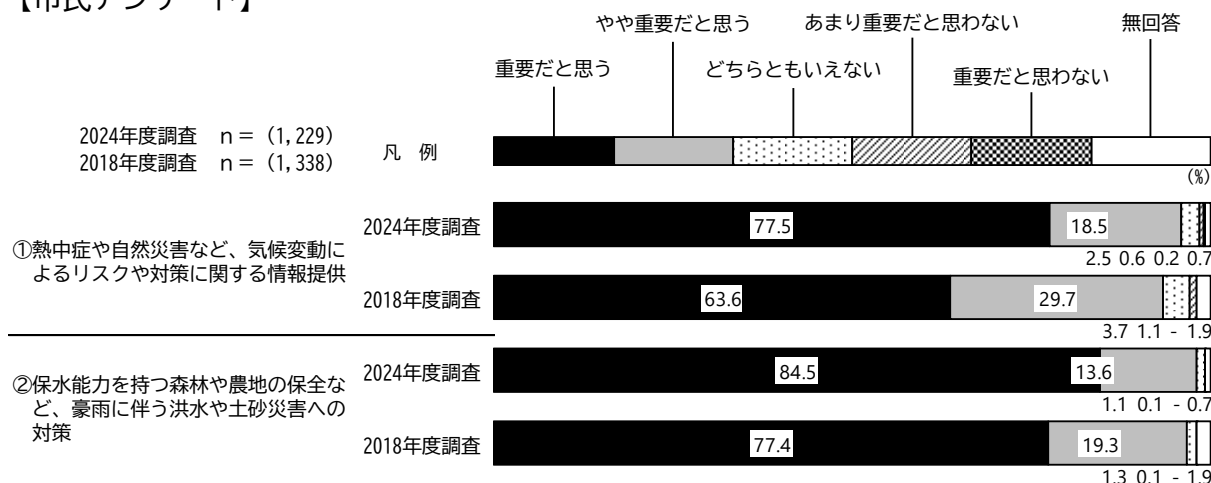
【緩和策】

【市民アンケート】



【適応策】

【市民アンケート】



「重要だと思う」との回答について、【緩和策】では『⑦二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な管理』が73.3%と他の項目と比べて20ポイント以上高くなっている。【適応策】ではいずれも7割以上と高くなっている。

「やや重要だと思う」を含めると、【緩和策】ではいずれも6割以上と高くなっており、特に『⑦二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な管理』(93.8%)が最も高く、次いで『⑥省エネ製品やエネルギー技術の開発など、環境ビジネスの推進』(84.5%)、『⑤事業活動による温室効果ガスの排出抑制の促進』(83.7%)、『①省エネ型のライフスタイルの定着に向けた啓発の強化』(81.2%)となっている。【適応策】ではいずれも9割台と高くなっており、『①熱中症や自然災害など、気候変動によるリスクや対策に関する情報提供』が95.9%、『②保水能力を持つ森林や農地の保全など、豪雨に伴う洪水や土砂災害への対策』が98.1%となっている。

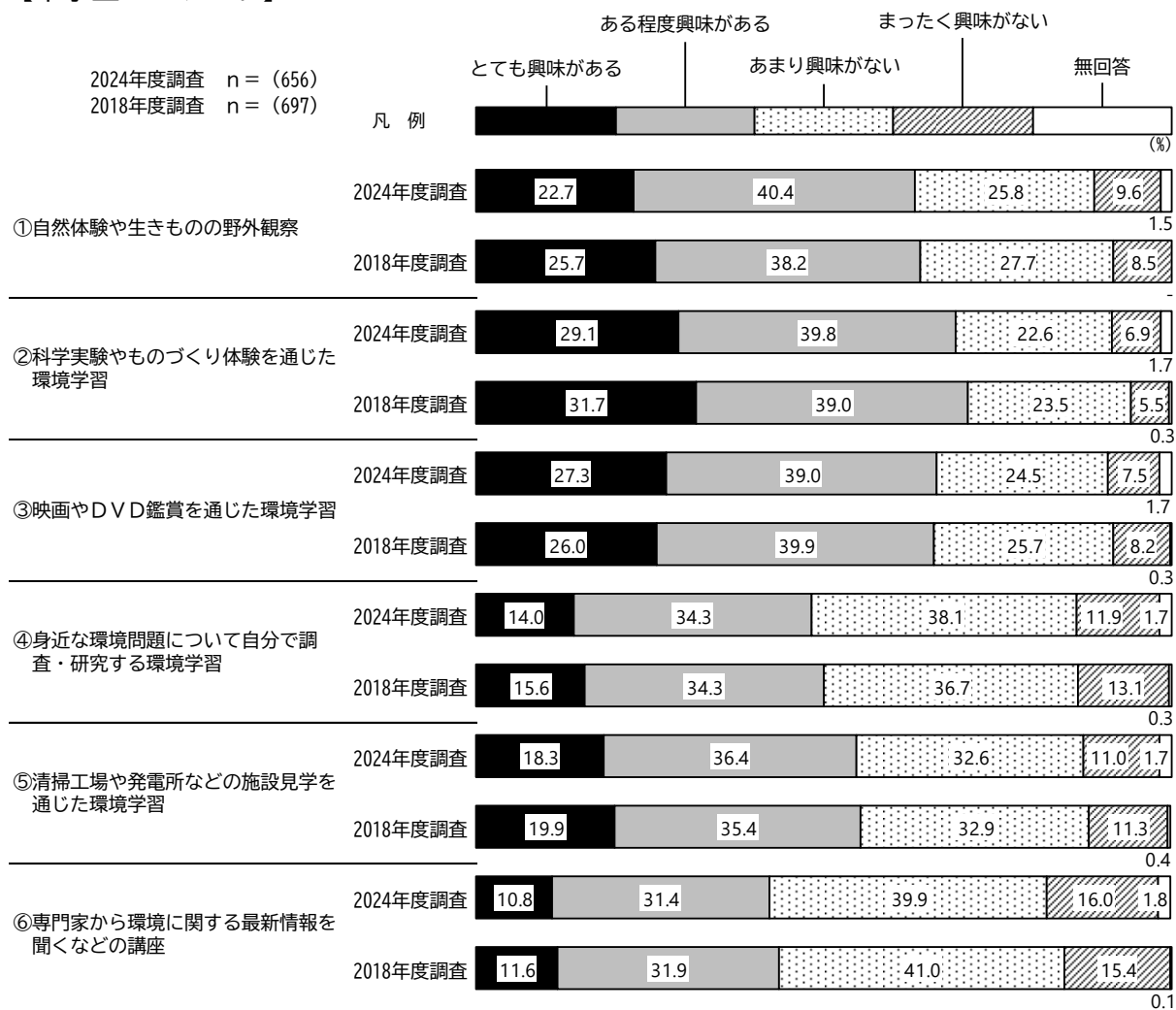
過年度調査と比較すると、【適応策】では『①熱中症や自然災害など、気候変動によるリスクや対策に関する情報提供』について、「重要だと思う」が13.9ポイント上昇し、「やや重要だと思う」が11.2ポイント下降した。

(5) 環境学習について

問3. あなたは、次の環境学習に興味がありますか。

(各項目に1つだけ○)

【中学生アンケート】



「とても興味がある」又は「ある程度興味がある」との回答について、『②科学実験やものづくり体験を通じた環境学習』(68.9%) が最も高く、次いで『③映画やDVD鑑賞を通じた環境学習』(66.3%)、『①自然体験や生きものの野外観察』(63.1%) となっている。

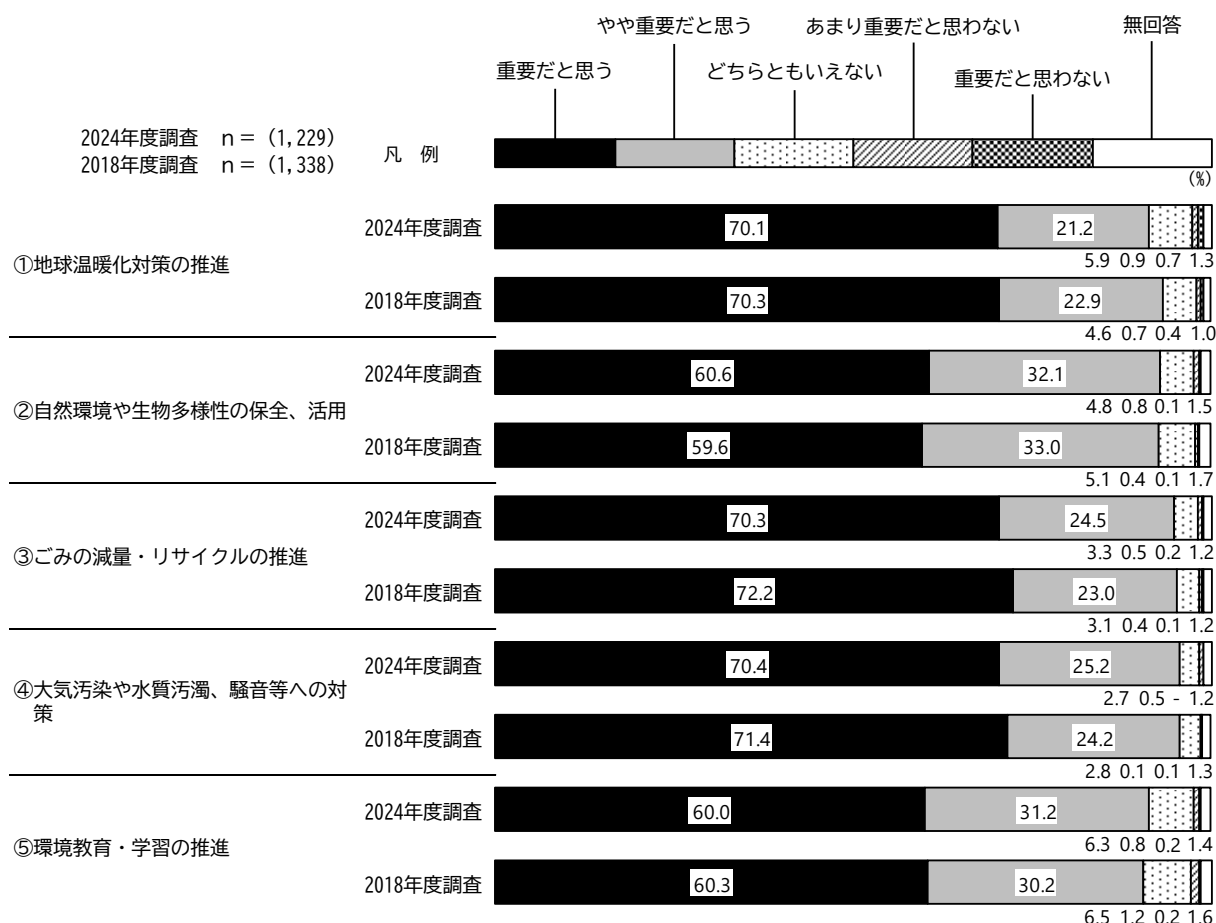
過年度調査と比較しても、概ね同様の傾向である。

(6) 仙台市の環境施策について

問6. 今後仙台市が取り組む環境施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

(各項目に1つだけ○)

【市民アンケート】



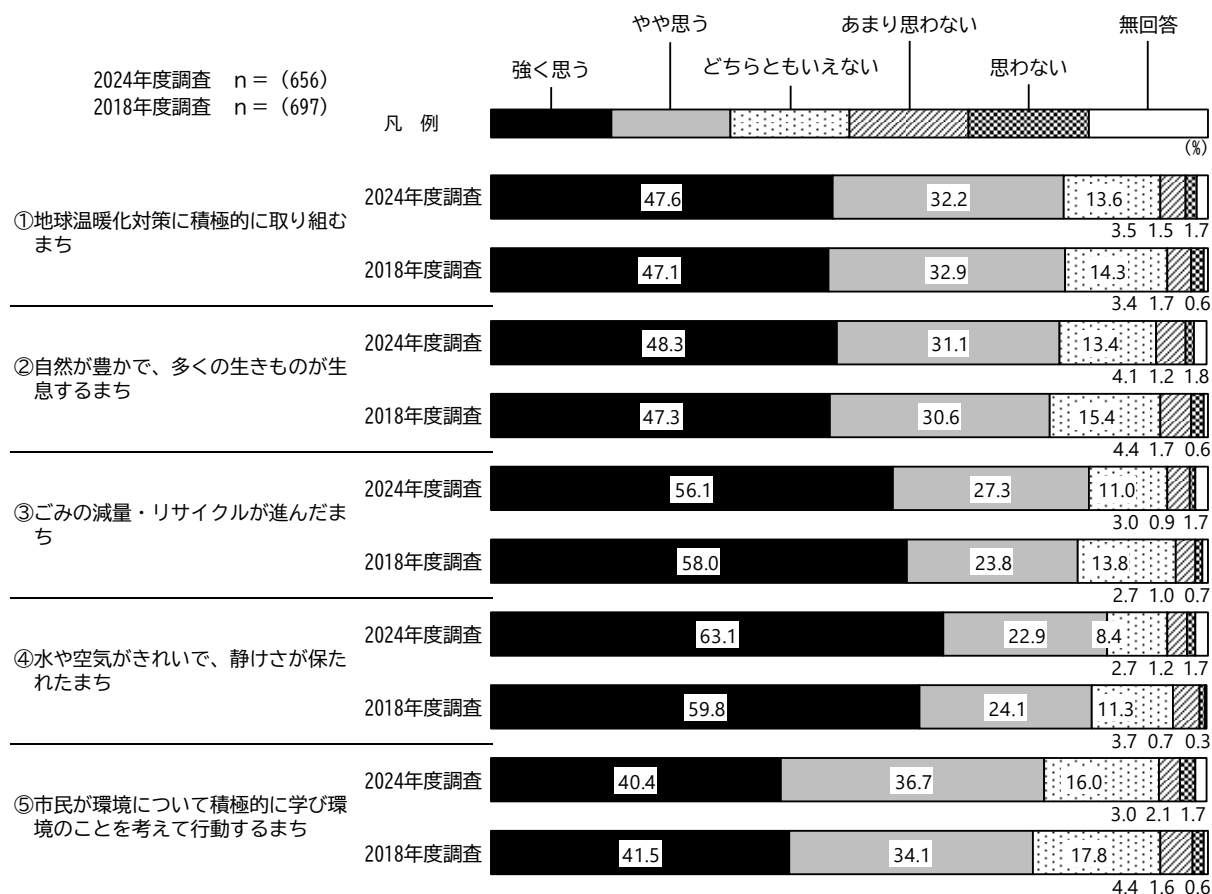
「重要だと思う」との回答について、いずれも6割以上となっており、「やや重要だと思う」を含めるといずれも9割台と高くなっている。

「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」との回答について、『④大気汚染や水質汚濁、騒音等への対策』(95.6%)が最も高く、次いで『③ごみの減量・リサイクルの推進』(94.8%)、『②自然環境や生物多様性の保全、活用』(92.8%)となっている。

過年度調査と比較しても、概ね同様の傾向である。

問4. あなたは、将来、仙台市は環境面でどのようなまちになったら良いと思いますか。
(各項目に1つだけ○)

【中学生アンケート】



「強く思う」又は「やや思う」との回答について、いずれも7割以上となっている。『④水や空気がきれいで、静けさが保たれたまち』(86.0%) が最も高く、次いで『③ごみの減量・リサイクルが進んだまち』(83.4%) となっており、市民と同様の結果となっている。

過年度調査と比較しても、概ね同様の傾向である。

(7) 仙台市の環境行政へのご意見等について（自由意見）

【市民アンケート】

問7. 仙台市の環境行政に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

【中学生アンケート】

問5. 仙台市の環境について考えていることがあれば、ご自由にお書きください。

自由意見についての回答者数は 457 人（市民アンケート 325 人、中学生アンケート 132 人）、意見数は延べ 590 件（市民アンケート 434 件、中学生アンケート 156 件）であった。

意見の内容に応じて項目ごとに分類した結果は、以下のとおりである。

意見分類		意見数（件）		主な意見の概要
		市民 アンケート	中学生 アンケート	
地球温暖化対策	環境負荷の小さい交通手段の推進	10	0	・公共交通の運賃や路線、便数等の見直しが必要 ・中心部のマイカー規制や、平日、公共交通機関を利用すると特典が有るような仙台市ポイント制度等が欲しい ・郊外部は自家用車がないと生活できない
	再生可能エネルギーの普及	18	0	・メガソーラーでの火災、自然環境への影響等が心配 ・森林伐採してまで設置しなくてよい
	省エネ行動の推進	7	1	・省エネ家電の購入などへの仙台独自の補助金制度が欲しい ・企業への指導、抑制、発言、協力を求める姿勢が欠けている
	気候変動による影響やリスクへの対策	16	0	・昨今の猛暑や豪雨などの気候変動に不安を感じる ・自然災害（豪雨）対策が必要
	その他	11	0	・避難所が浸水域にあるため、治水対策を望みます ・地球温暖化対策は年々重要な問題だと思う
自然環境・生物多様性	豊かな自然環境や生物多様性の保全	32	18	・緑の都市＝仙台のイメージを今後も努力して欲しい ・環境教育を通じて、市民全体の意識を高めていくことが必要 ・森林伐採を減らす、新しい木を植えることも大切
	公園・街路樹などの身近なみどり	44	22	・街路樹がいたるところにあり、景観も環境にも配慮されている ・街路樹が伐採され、日かげがなくなってしまった ・公園の維持管理をしてほしい ・公園を作ってほしい
	自然や生きものとのふれあい	1	4	・自然とふれ合う事が保全につながるとは思えない ・動物との関わりをもっと増やしていきたい
	野生鳥獣対策	10	8	・カラスと猫を何とかしてほしい ・近年、熊出没が多く郊外の山へ出掛けるのが減ってしまった
	その他	1	0	・水路沿いには防草シートを敷いてほしい

Ⅲ 調査結果

意見分類		意見数（件）		主な意見の概要
		市民 アンケート	中学生 アンケート	
ごみ減量・リサイクル	ごみの減量・分別の啓発	25	6	・家庭での対策はもちろんだが、飲食店への対策もかなり重要 ・ペーパーレスにすれば紙資源をより節約できる ・ごみの分別の仕方（特にプラスチック類）がわからない ・リサイクルに対する活動は非常に進んでいると感じる
	ごみ出しルールの徹底・ごみ集積所の管理	8	5	・ゴミ出しの悪い地域には指導を行って欲しい ・ペットボトル・缶は一緒に出しても良いことを周知して欲しい ・子供等に被害がおよばないうちにカラス対策をして欲しい
	ポイ捨て・不法投棄対策	11	36	・タバコのポイ捨てが多い ・市役所や、仙台駅方面の街中が、ポイ捨てなど多かった ・ペットボトルがけっこう落てる ・自然は多いがゴミも多いと思う
	ごみ収集のあり方	13	2	・資源紙の回収を毎週一回にしてほしい ・環境に良いこと＝暮らしの制限となっているような気がします
	その他	15	0	・リサイクルセンターをもっと積極的に市民に伝えたほうが良い ・ゴミ袋代が高い ・生ゴミコンポスト他の補助金がPR不足である ・楽しみながら出来るゴミ拾いイベントがあると良い
快適な生活環境	大気環境の保全	5	7	・ごみの減量やリサイクルによって、大気汚染を減らしたい ・公園の喫煙スペースをブース型にして欲しい
	水環境の保全	6	6	・にごっている川が多い ・井戸水、地下水の積極的な利活用をしてほしい
	景観の保全	26	17	・全体的には綺麗で整備されているが、国分町は対策が必要 ・仙台駅前の開発を迅速に進めてほしい
	空き家や道路などの草刈りについて	28	4	・道路脇の植え込みが雑草で覆われ、歩道が通りづらく、車道まではみ出して危険 ・公園があっても、草が生い茂っていて利用出来ない ・空き屋あり年々木、草がのびて大変
	その他	23	7	・空き家を減らしてほしい ・自転車走り易い道路をもっと増やして欲しい ・町の中に子どもが遊べる公園がない
環境教育・学習	子どもの環境教育・学習の推進	9	2	・子ども達にも地道な教育活動を継続してほしい ・子どもへの環境教育が重要
	その他の環境教育・学習の推進	6	1	・ひとりひとりが意識出来るような何かが必要 ・大人の規範意識を正す必要がある
	情報提供の充実	6	1	・今行なっている取り組みを自然に知れるようにしてほしい ・杜の都であることでどう環境に影響しているのか知りたい
	その他	1	1	・自然観察のツアー企画に、交通の便が悪くて参加できない
環境全般に係ること		44	5	・これからも自分達ができる環境対策を頑張りたい ・環境対策をもっと仙台として、PRする ・日本、世界、地球全体で環境問題を考える必要がある ・具体的な活動を通して自然災害に負けない環境行政を期待する ・行政だけでなく一人一人の自覚が必要 ・環境行政について、市民にあまり普及してないようだ
本調査について		21	0	・環境に配慮するなら、このアンケートも紙ではなくQRコード等にするべきである ・調査結果を子供達にも分かりやすく教えてほしい
その他市政に対する意見など		37	3	・水道民営化をやめてもとに戻してほしい ・地域ネコの活動をもっと広報してほしい ・宿泊税は反対
計		434	156	

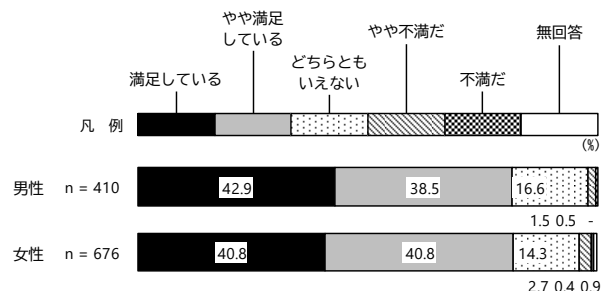
2 クロス集計

市民アンケートの結果について、性別や年齢など回答者の属性や、関連が深い設問においてクロス集計を行った。

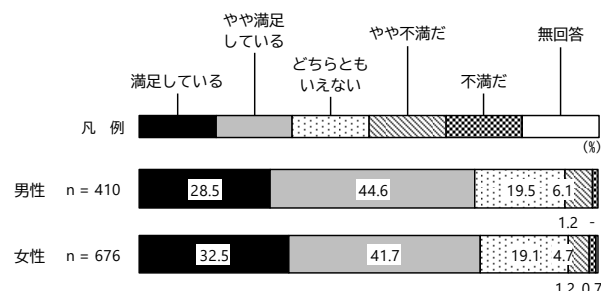
(1) 仙台市の環境に関する満足度について（問1）

【環境に関する満足度×性別】

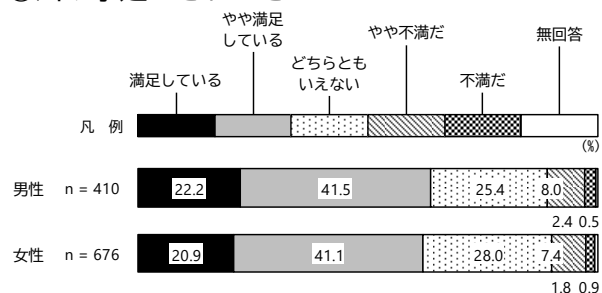
①空気のきれいさ



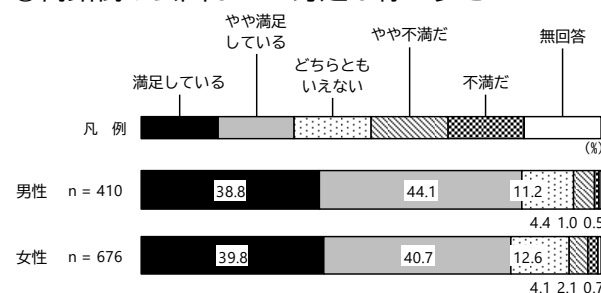
②まちの静けさ



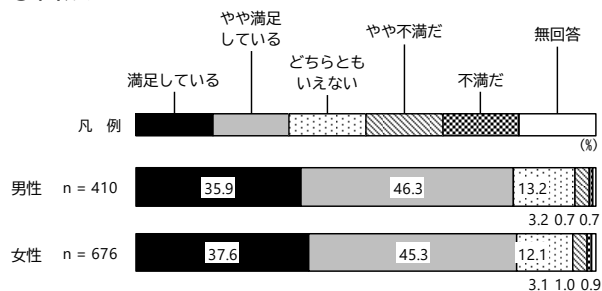
③川や水辺のきれいさ



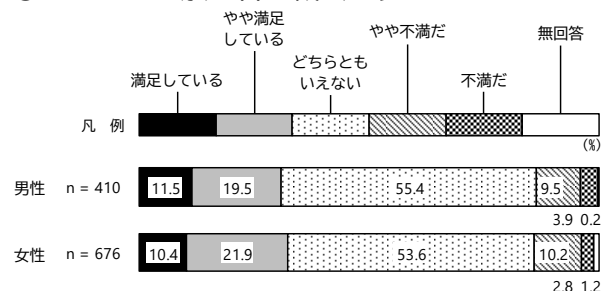
④街路樹や公園などの身近な緑の多さ



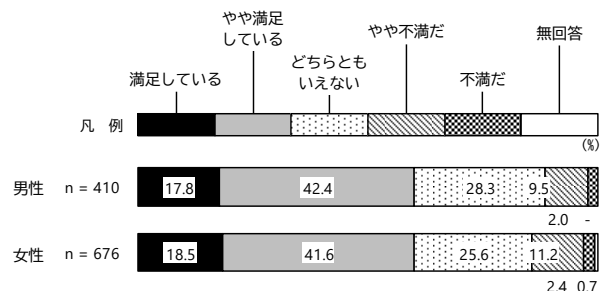
⑤自然の豊かさ



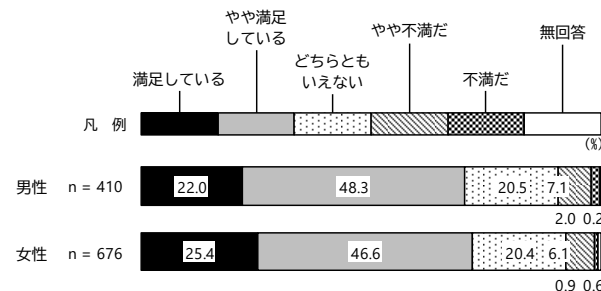
⑥生きものと触れ合う機会の多さ



⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ



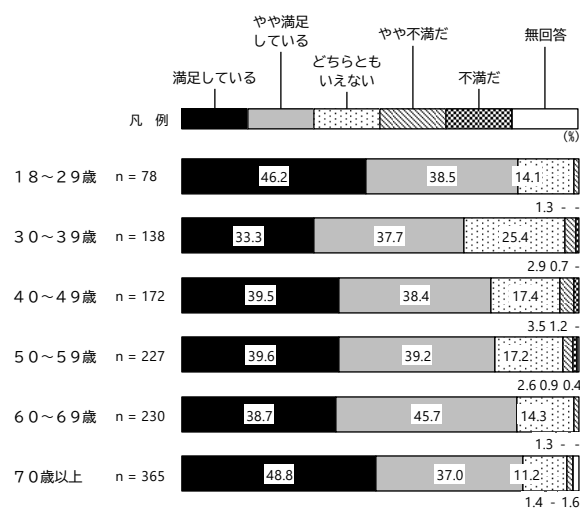
⑧まちの景観の美しさ



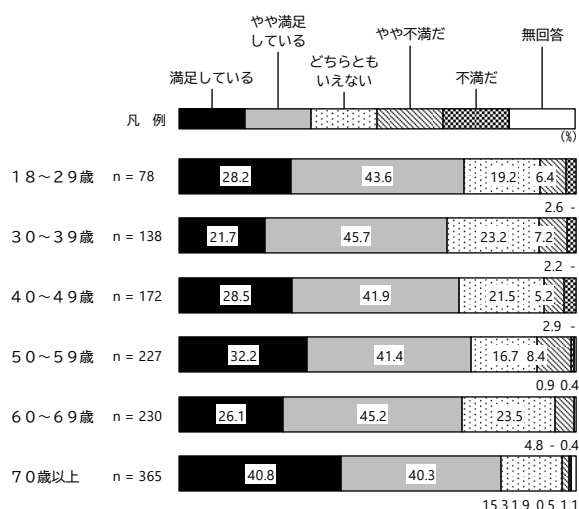
いずれの項目についても、男女ともに同様の傾向である。

【環境に関する満足度×年齢別】

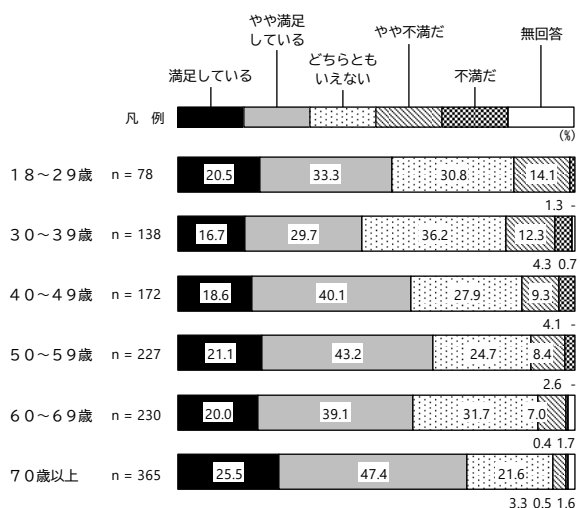
① 空気のきれいさ



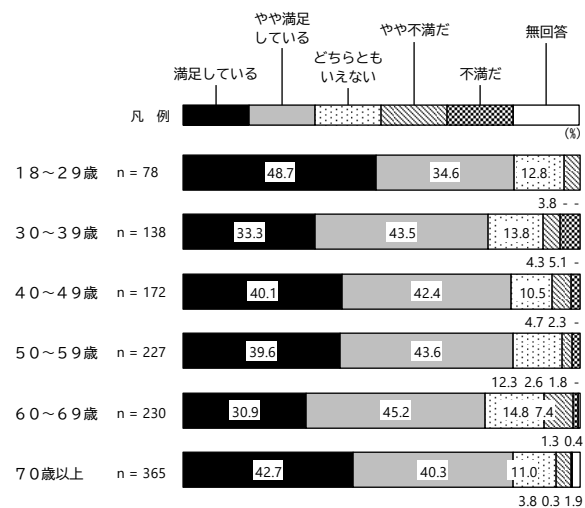
② まちの静けさ



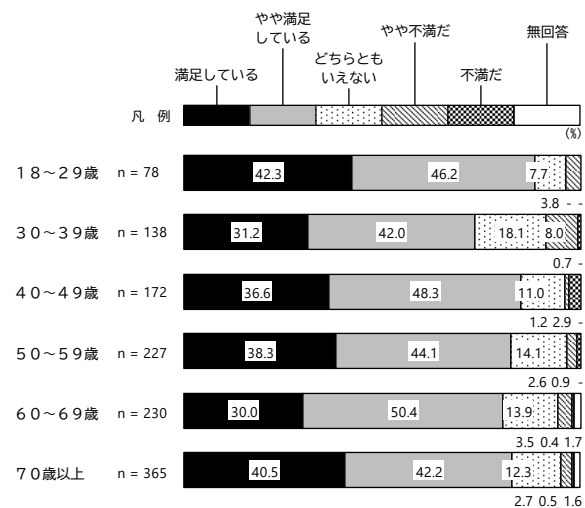
② 川や水辺のきれいさ



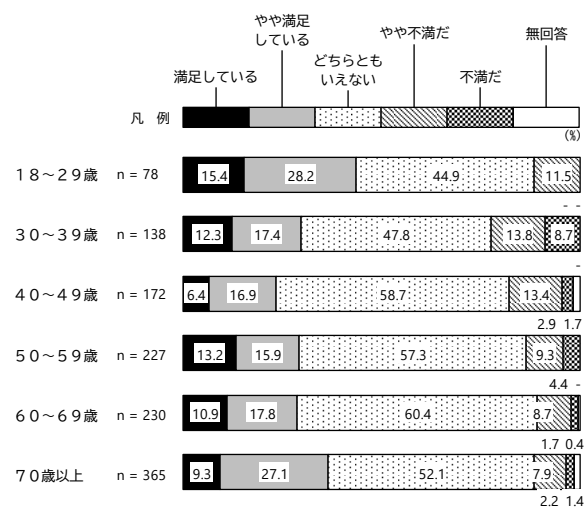
④ 街路樹や公園などの身近な緑の多さ



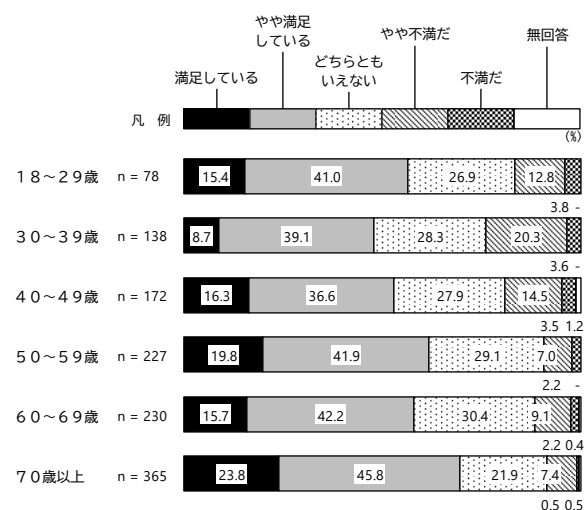
⑤ 自然の豊かさ



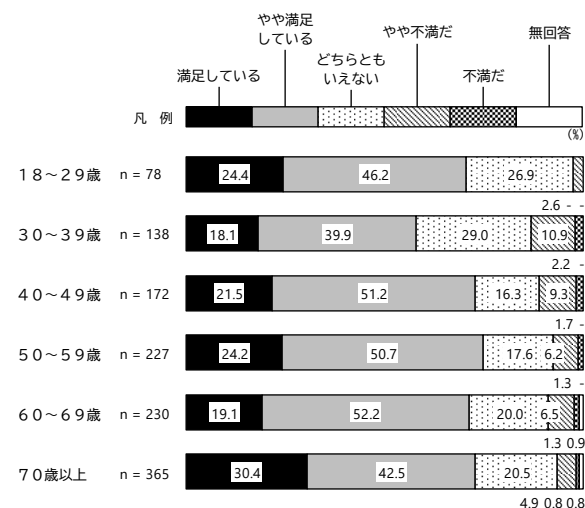
⑥ 生きものと触れ合う機会の多さ



⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ



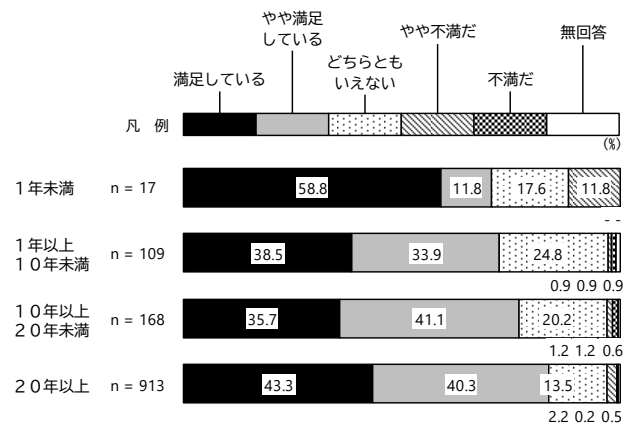
⑧まちの景観の美しさ



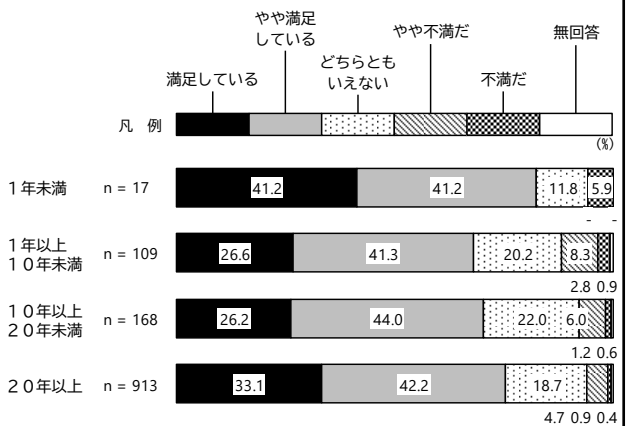
「満足している」又は「やや満足している」との回答について、『①空気のきれいさ』、『④街路樹や公園などの身近な緑の多さ』、『⑤自然の豊かさ』ではいずれの年代も7割以上となっている。一方、『⑥生きものと触れ合う機会の多さ』ではいずれの年代も5割以下となっているが、18～29歳では43.6%と、最も低い40～49歳と比べて20.3ポイント高くなっている。

【環境に関する満足度×仙台における居住期間別】

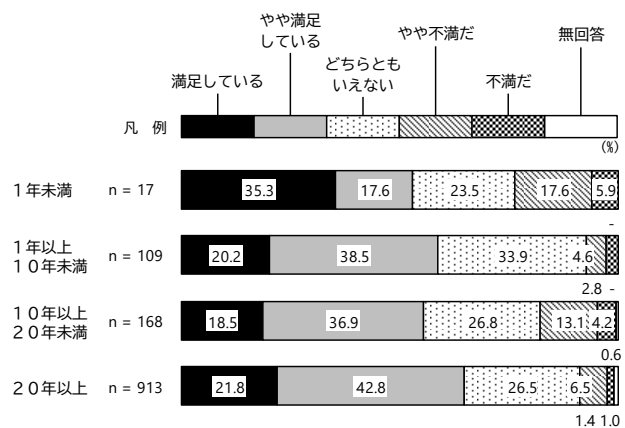
① 空気のきれいさ



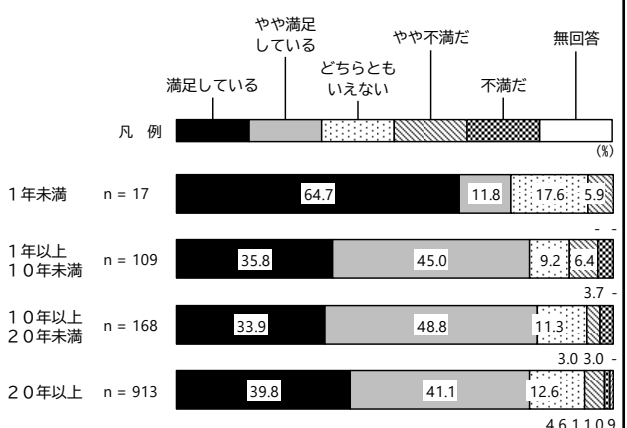
② まちの静けさ



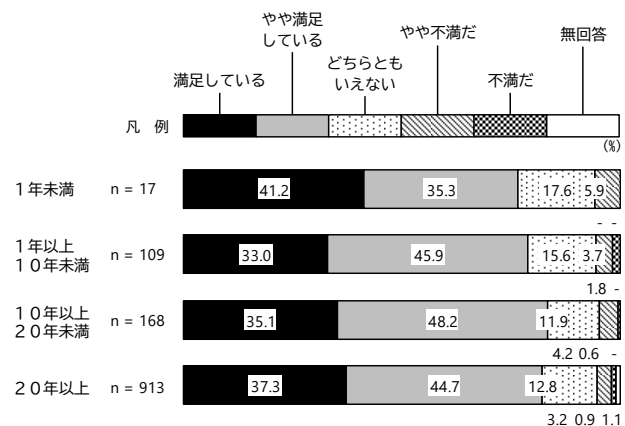
③ 川や水辺のきれいさ



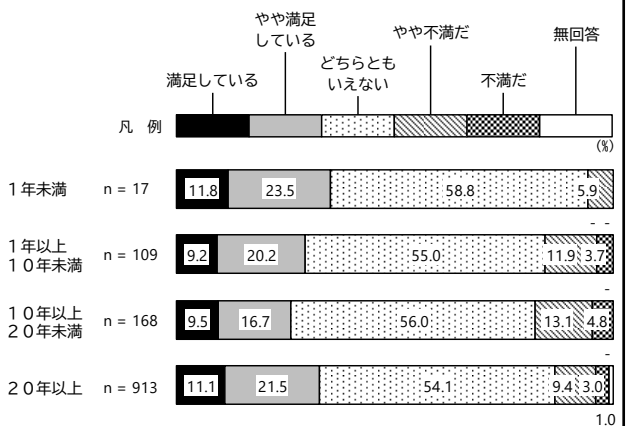
④ 街路樹や公園などの身近な緑の多さ



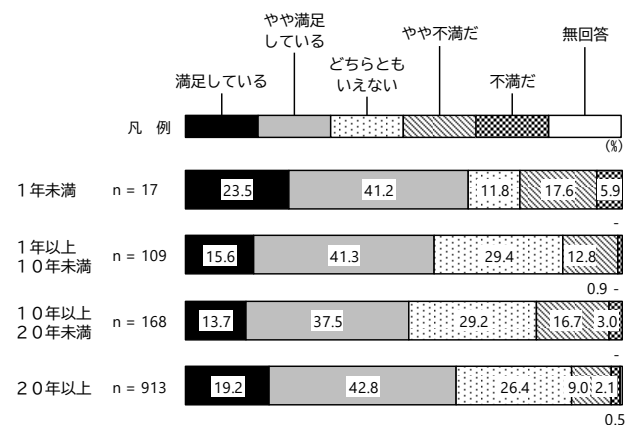
⑤ 自然の豊かさ



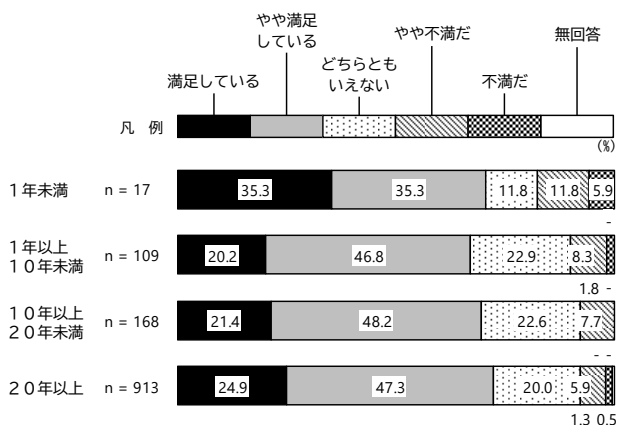
⑥ 生きものと触れ合う機会の多さ



⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ



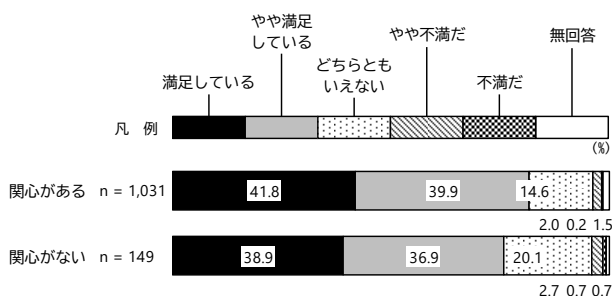
⑧まちの景観の美しさ



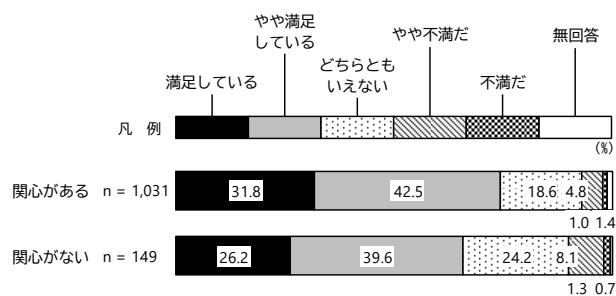
「満足している」との回答について、すべての項目で居住期間が1年未満で最も高く、特に『①空気のきれいさ』(58.8%)、『③川や水辺のきれいさ』(35.3%)、『④街路樹や公園などの身近な緑の多さ』(64.7%)、『⑧まちの景観の美しさ』(35.3%)では他の居住期間と比べて10ポイント以上高くなっている。

【環境に関する満足度×自然環境の保全への関心度別】

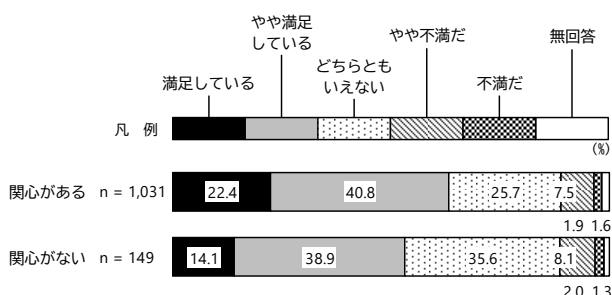
①空気のきれいさ



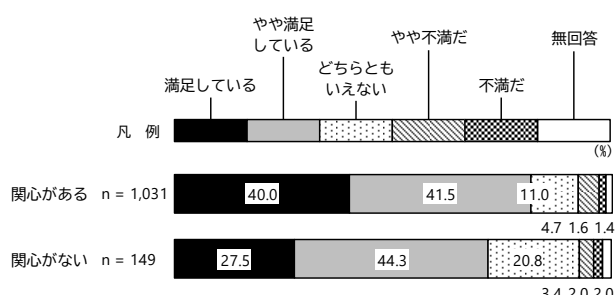
②まちの静けさ



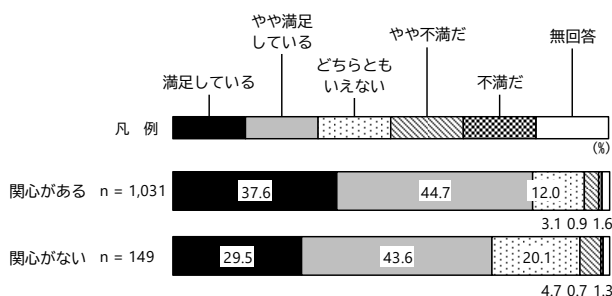
③川や水辺のきれいさ



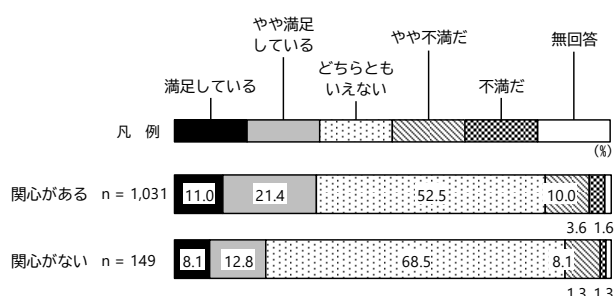
④街路樹や公園などの身近な緑の多さ



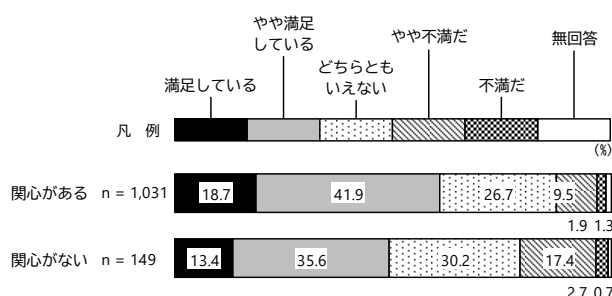
⑤自然の豊かさ



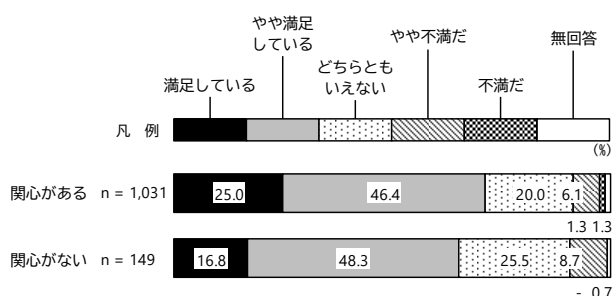
⑥生きものと触れ合う機会の多さ



⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ



⑧まちの景観の美しさ



※関心の有無は、自然環境の保全への関心（問3）から以下のとおり二つの選択肢を合算したもの

関心がある＝「大変関心がある」＋「ある程度関心がある」 関心がない＝「全く関心がない」＋「あまり関心がない」

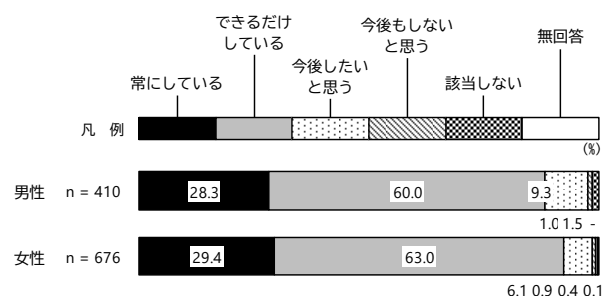
「満足している」との回答について、関心がある人では『④街路樹や公園などの身近な緑の多さ』がない人と比べて 12.5 ポイント高くなっている。「やや満足している」を含めると、『③川や水辺のきれいさ』(63.2%)、『⑥生きものと触れ合う機会の多さ』(32.4%)、『⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ』(60.6%) が 10 ポイント以上高くなっている。

(2) 日常生活における環境配慮行動について（問2）

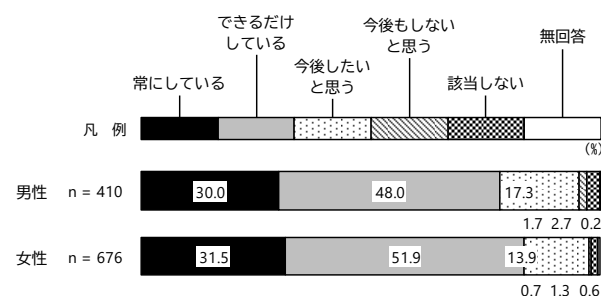
① 地球温暖化防止に配慮した行動について（家庭内や外出先での行動）

【地球温暖化防止に配慮した行動（家庭内や外出先）×性別】

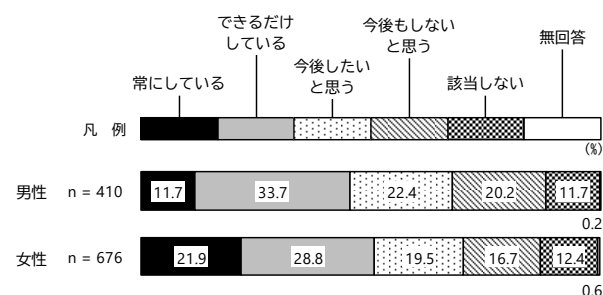
①電気や水、ガスなどの節約を心がける



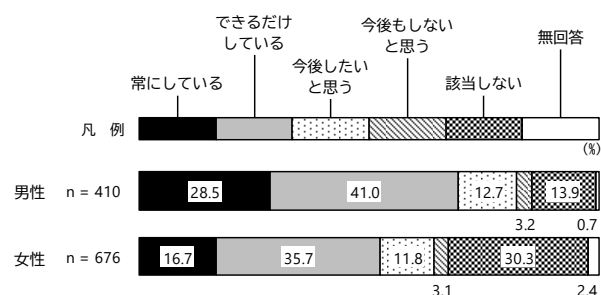
②省エネ製品やLED照明器具などのエネルギー効率のよい製品を選んで購入する



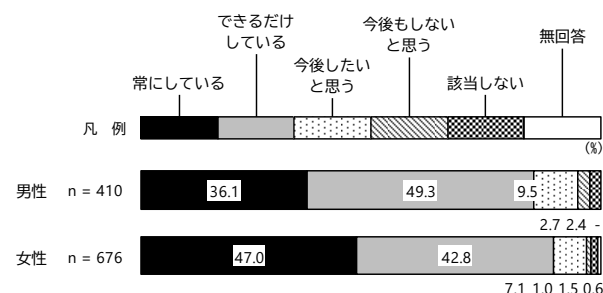
③自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する



④車を運転する際は、エコドライブを心がける



⑤宅配便は、受け取る日時を指定するなど、再配達とならないよう気を付ける

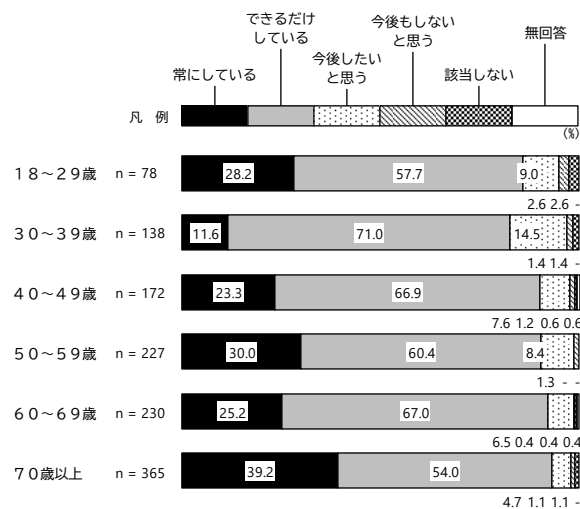


「常にしている」との回答について、女性では『③自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する』（21.9%）、『⑤宅配便は、受け取る日時を指定するなど、再配達とならないよう気を付ける』（47.0%）が男性と比べて10ポイント以上高くなっている。

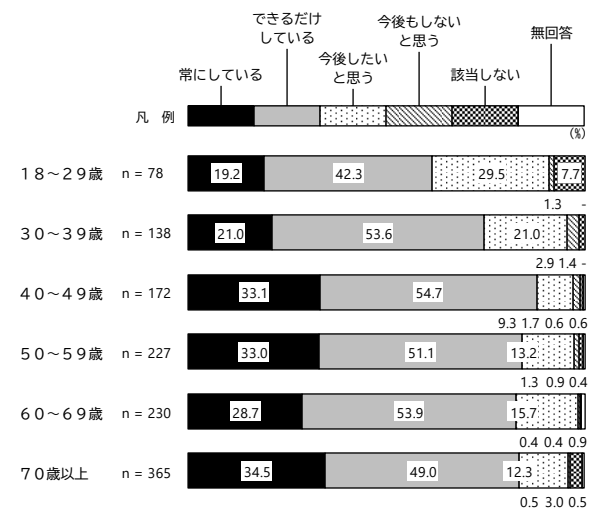
男性では『④車を運転する際は、エコドライブを心がける』（28.5%）が女性と比べて11.8ポイント高く、「できるだけしている」を含めると69.5%と、17.1ポイント高くなっている。なお、女性では「該当しない」が30.3%と男性と比べて16.4ポイント高くなっている。

【地球温暖化防止に配慮した行動（家庭内や外出先）×年齢別】

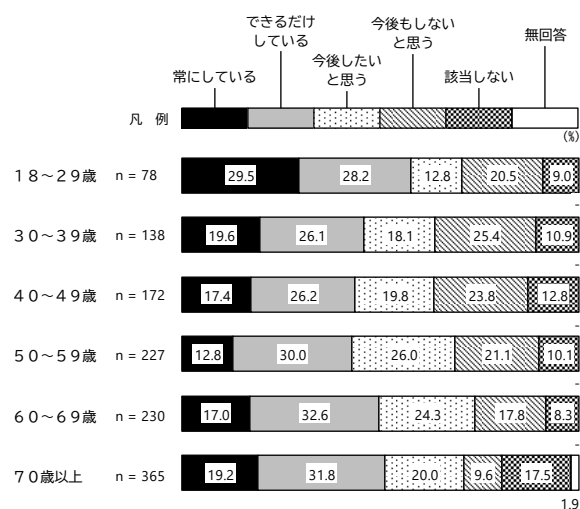
① 電気や水、ガスなどの節約を心がける



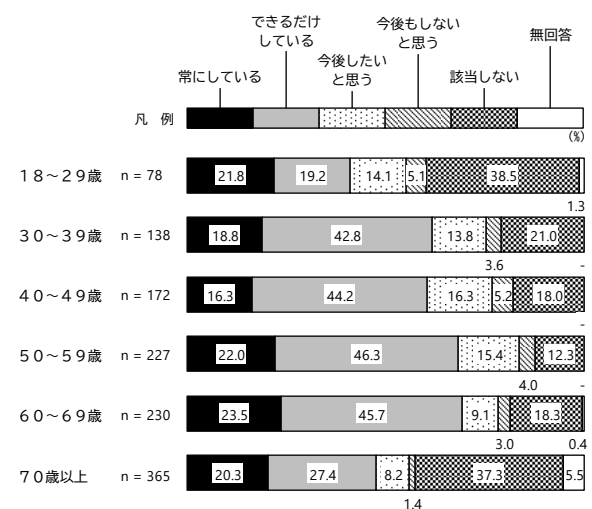
② 省エネ製品やLED照明器具などのエネルギー効率のよい製品を選んで購入する



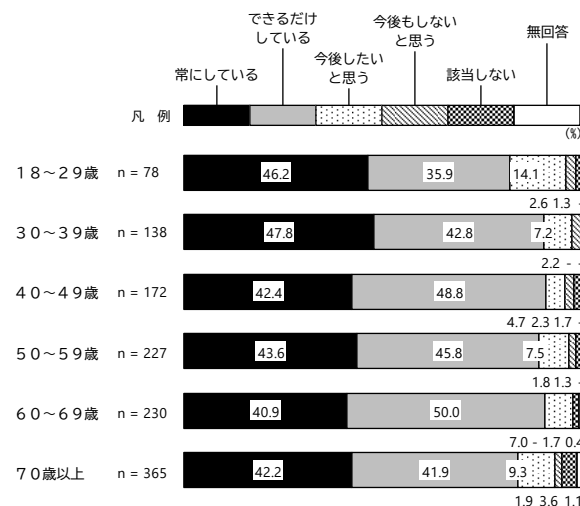
③ 自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する



④ 車を運転する際は、エコドライブを心がける



⑤ 宅配便は、受け取る日時を指定するなど、再配達とならないよう気を付ける

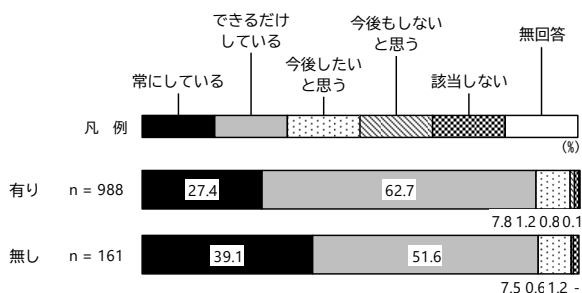


『②省エネ製品やＬＥＤ照明器具などのエネルギー効率のよい製品を選んで購入する』について、18～29歳では「常にしている」又は「できるだけしている」との回答が61.5%と他の年代と比べて10ポイント以上低くなっているおり、「今後したいと思う」との回答が29.5%と他の年代と比べてやや高くなっている。

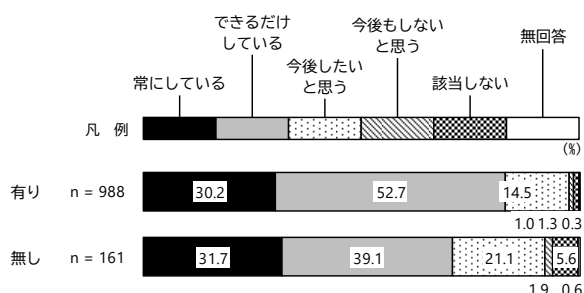
『④車を運転する際は、エコドライブを心がける』について、18～29歳、70歳以上では「常にしている」又は「できるだけしている」との回答が4割台と他の年代と比べて10ポイント以上低くなっており、「該当しない」との回答が3割台と他の年代と比べて10ポイント以上高くなっている。

【地球温暖化防止に配慮した行動（家庭内や外出先）×同居人の有無】

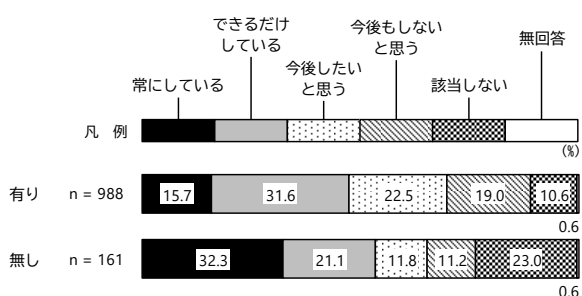
①電気や水、ガスなどの節約を心がける



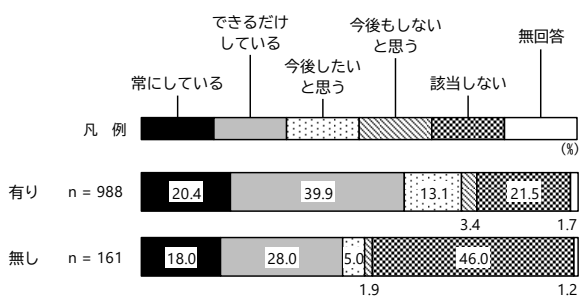
②省エネ製品やLED照明器具などのエネルギー効率のよい製品を選んで購入する



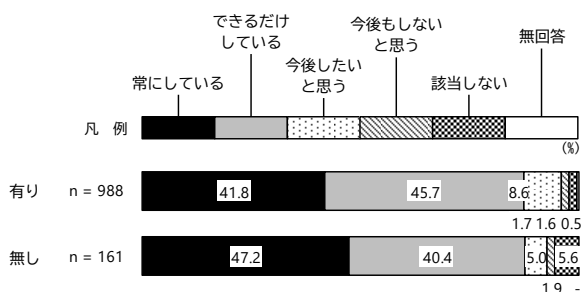
③自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する



④車を運転する際は、エコドライブを心がける



⑤宅配便は、受け取る日時を指定するなど、再配達とならないよう気を付ける



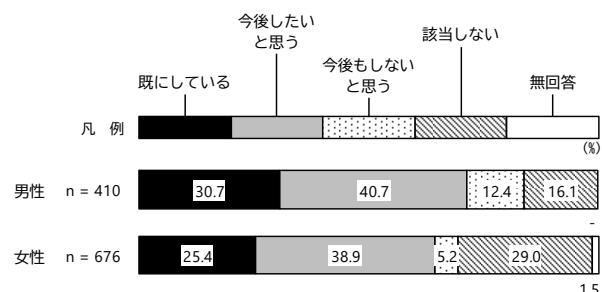
「常にしている」との回答について、同居人無しの人では『①電気や水、ガスなどの節約を心がける』（39.1%）、『③自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する』（32.3%）が有りの人と比べて10ポイント以上高くなっている。

一方、「できるだけしている」との回答について、同居人有りの人では『①電気や水、ガスなどの節約を心がける』（62.7%）、『②省エネ製品やLED照明器具などのエネルギー効率のよい製品を選んで購入する』（52.7%）、『③自家用車の利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車、徒歩で移動する』（31.6%）、『④車を運転する際は、エコドライブを心がける』（39.9%）が無しの人と比べて10ポイント以上高くなっている。

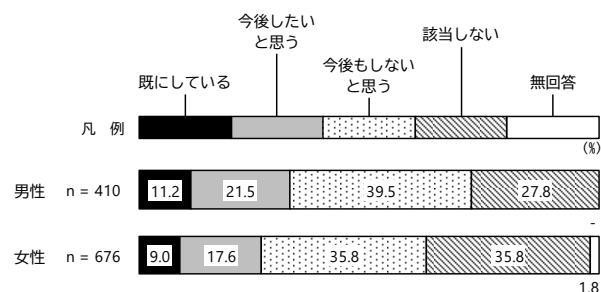
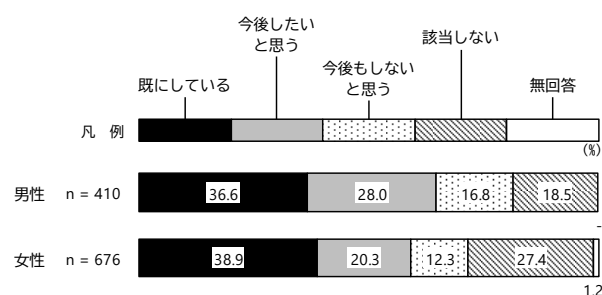
② 地球温暖化防止に配慮した行動について（車の購入や住まいに関する行動）

【地球温暖化防止に配慮した行動（車の購入や住まい）×性別】

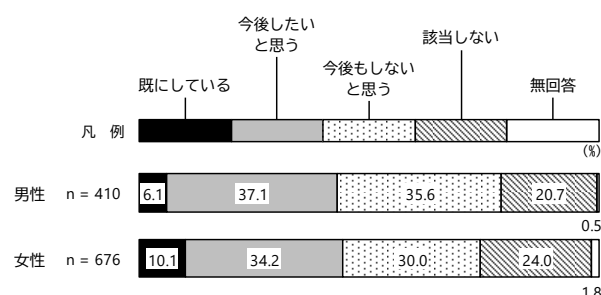
①車を購入する際は、環境にやさしいものを選ぶ



②自宅に太陽光発電設備や蓄電池を設置する

③自宅の断熱性を高くする
（高断熱材、ペアガラス、二重サッシなど）

④再生可能エネルギーの比率が高い電力会社から、電気を購入する

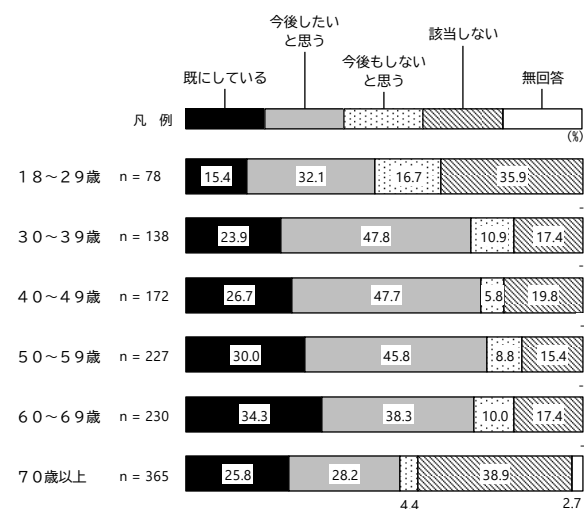


ほとんどの項目について、男女ともに同様の傾向である。

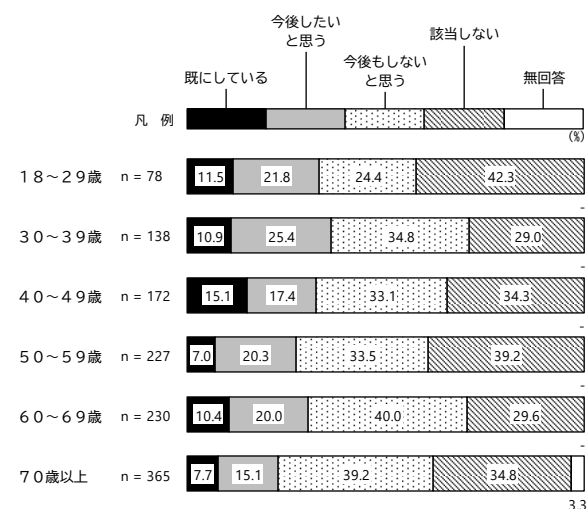
なお、「該当しない」との回答について、女性では『①車を購入する際は、環境にやさしいものを選ぶ』（29.0%）が男性と比べて12.9ポイント高くなっている。

【地球温暖化防止に配慮した行動（車の購入や住まい）×年齢別】

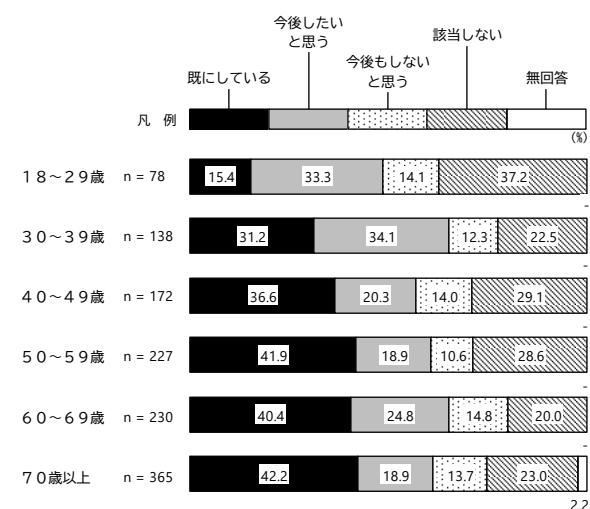
①車を購入する際は、環境にやさしいものを選ぶ



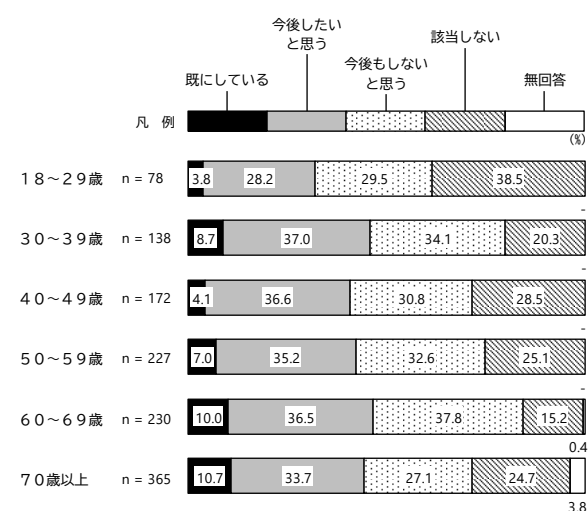
②自宅に太陽光発電設備や蓄電池を設置する



③自宅の断熱性を高くする
(高断熱材、ペアガラス、二重サッシなど)



④再生可能エネルギーの比率が高い電力会社から、電気を購入する



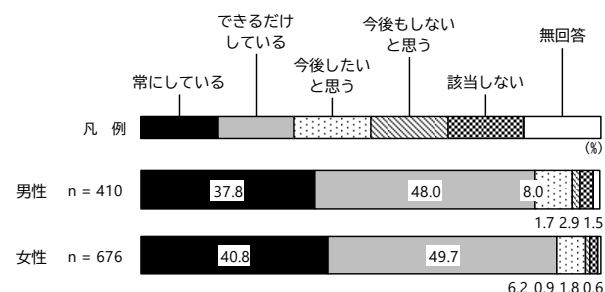
『①車を購入する際は、環境にやさしいものを選ぶ』について、18～29歳、70歳以上では「既にしている」又は「今後したいと思う」との回答が5割前後と他の年代と比べて10ポイント以上低くなっている一方、「該当しない」との回答が3割台と他の年代と比べて10ポイント以上高くなっている。

『③自宅の断熱性を高くする』について、18～29歳では「既にしている」との回答が15.4%と他の年代と比べて10ポイント以上低くなっている一方、「今後したいと思う」との回答が33.3%となっており、最も高い30～39歳の34.1%に次いで高くなっている。

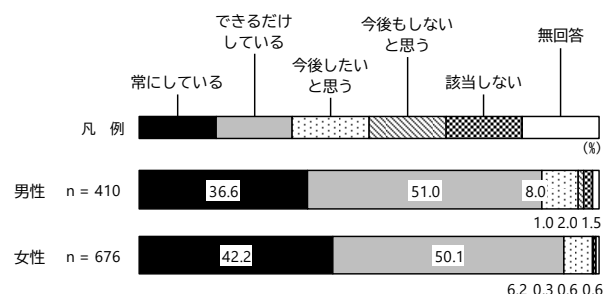
③ ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動について

【ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動×性別】

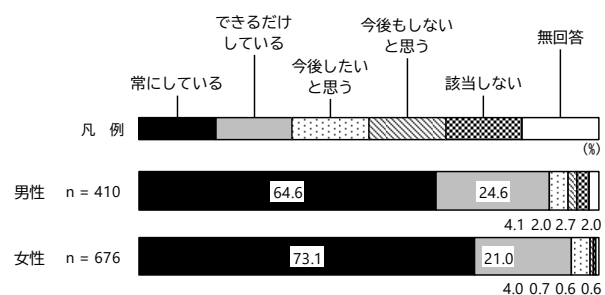
①生ごみは十分に水切りをする



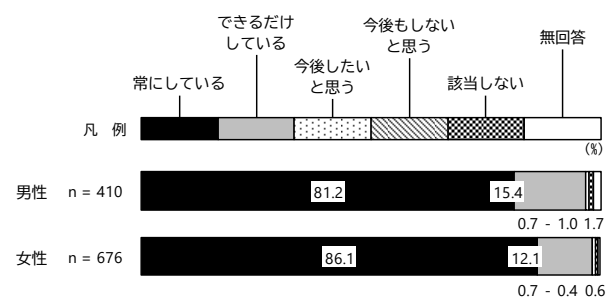
②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める



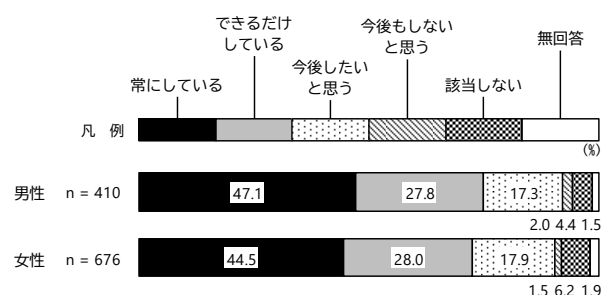
③紙類は分別して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す



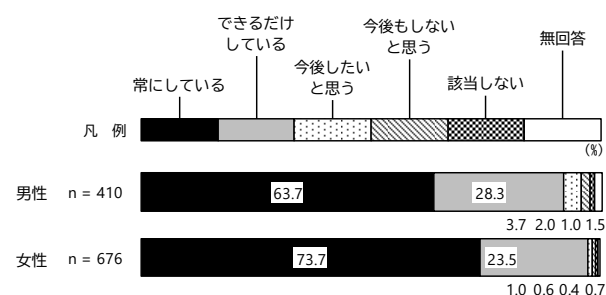
④プラスチック資源や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す



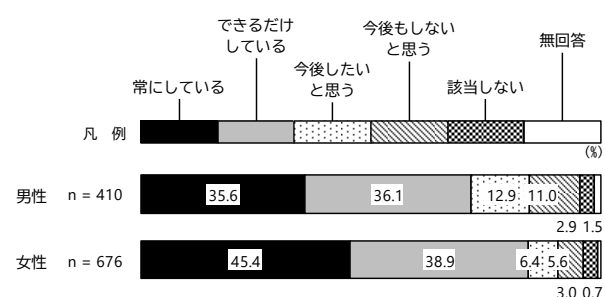
⑤小型家電は分別して回収ボックスに出す



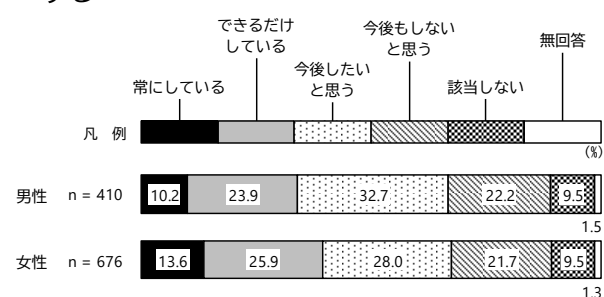
⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない



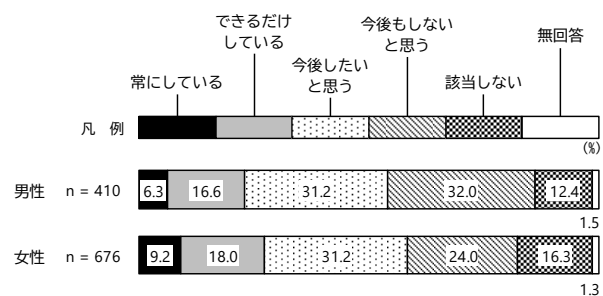
⑦コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない



⑧リサイクルプラザやリサイクルショップ、フリーマーケット等を活用して、ものを再利用する



⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する

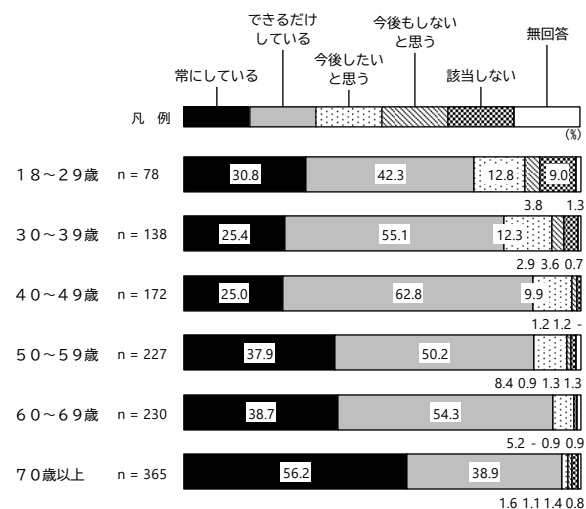


「常にしている」との回答について、女性では『⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない』（73.7%）が男性と比べて10.0ポイント高くなっている。

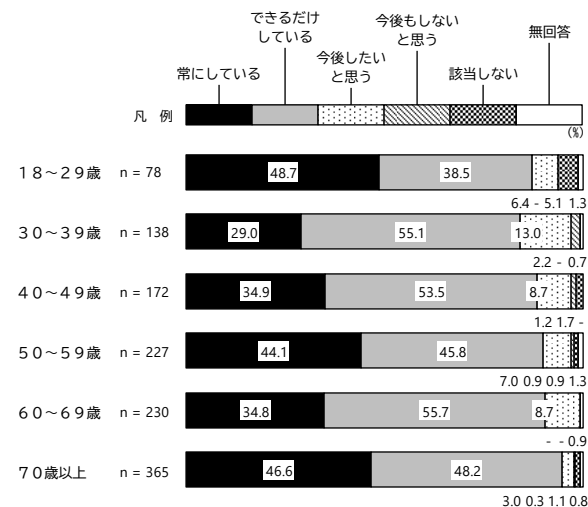
「できるだけしている」を含めると、女性では『⑦コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない』（84.3%）が男性と比べて12.6ポイント高くなっている。

【ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動×年齢別】

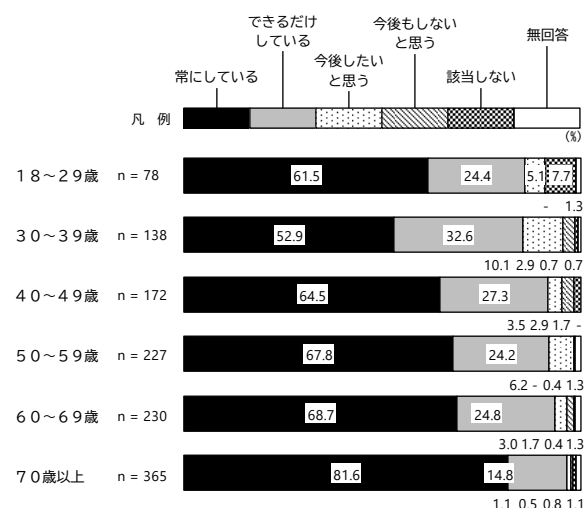
①生ごみは十分に水切りをする



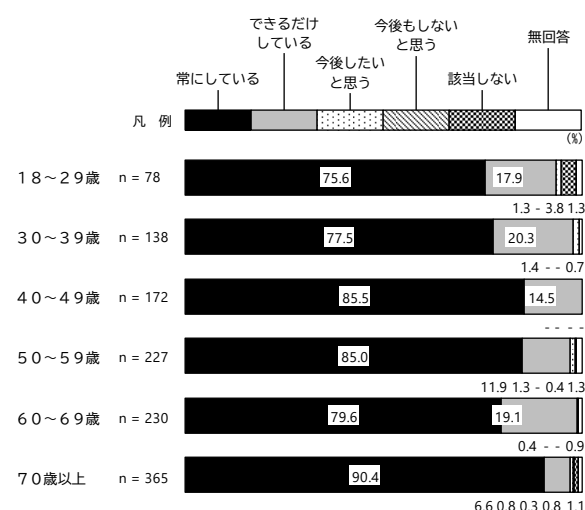
②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める



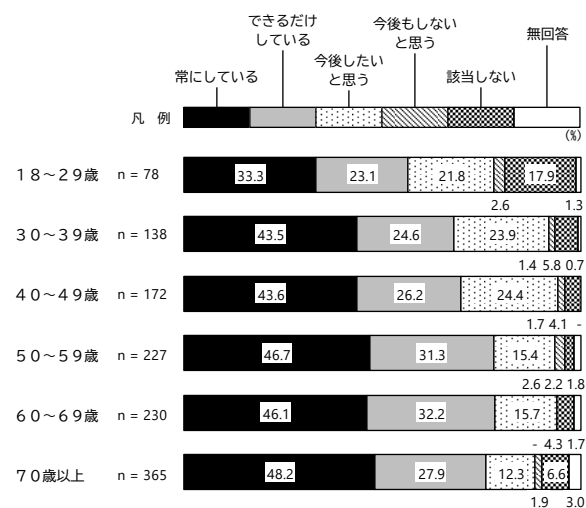
③紙類は分別して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す



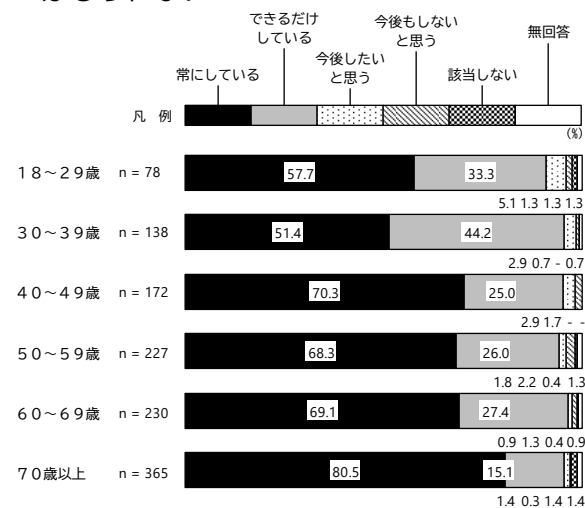
④プラスチック資源や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す



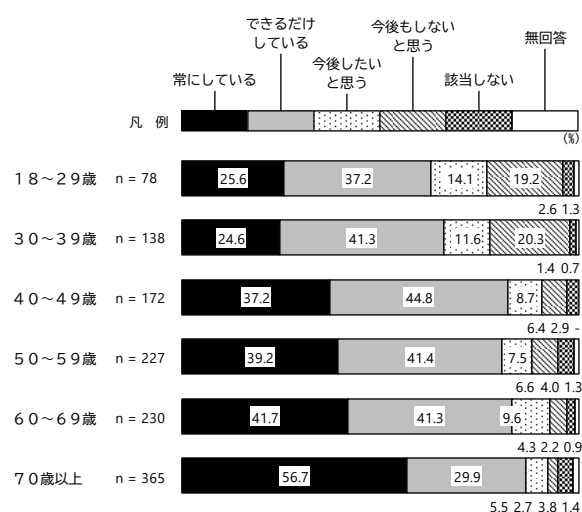
⑤小型家電は分別して回収ボックスに出す



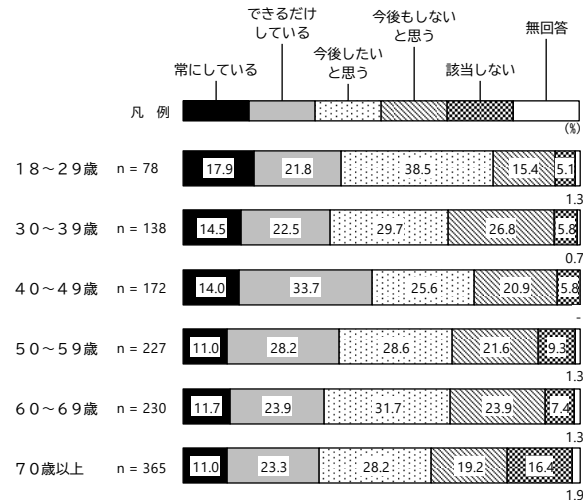
⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない



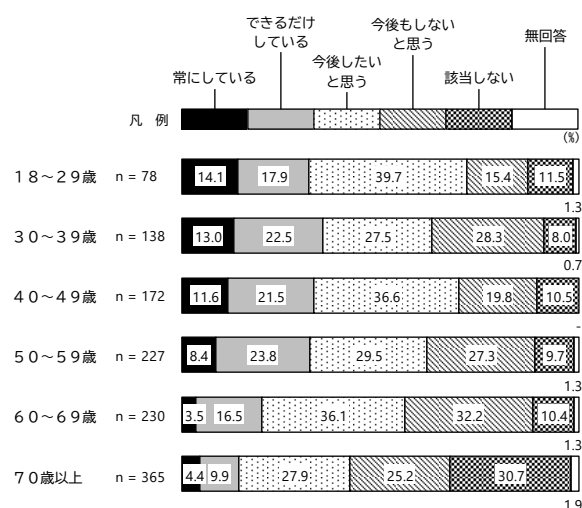
⑦コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない



⑧リサイクルプラザやリサイクルショップ、フリーマーケット等を活用して、ものを再利用する



⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する



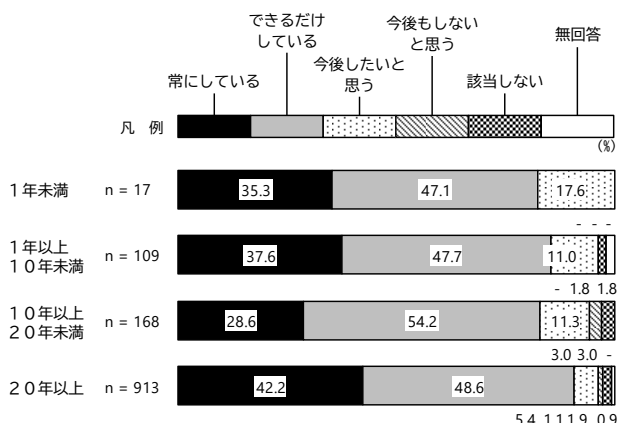
「常になっている」又は「できるだけしている」との回答について、『①生ごみは十分に水切りをする』では年代が上がるにつれて高くなる傾向があり、最も高い70歳以上では95.1%、最も低い18～29歳では73.1%と、22.0ポイントの差がある。

「常になっている」又は「できるだけしている」との回答について、『⑦コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない』では18～39歳が6割台と、40歳以上と比べて10ポイント以上低くなっている一方、「今後もしないと思う」との回答が2割前後と、40歳以上と比べて10ポイント以上高くなっている。

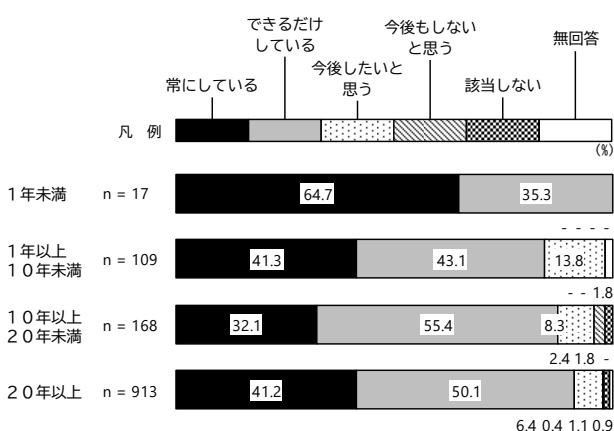
一方、「常になっている」又は「できるだけしている」との回答について、『⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する』では、18～59歳が3割台と、60歳以上と比べて10ポイント以上高くなっている。

【ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動×仙台における居住期間別】

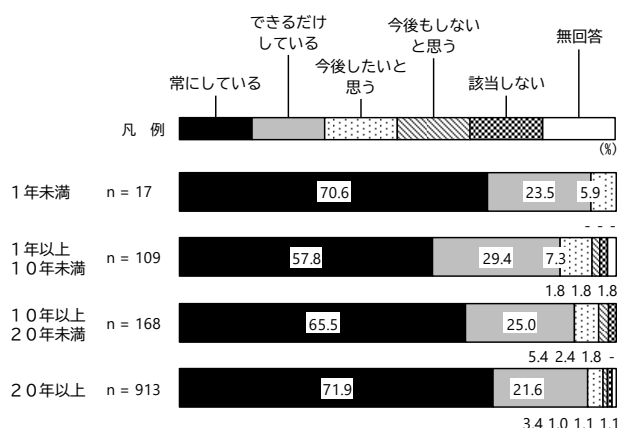
①生ごみは十分に水切りをする



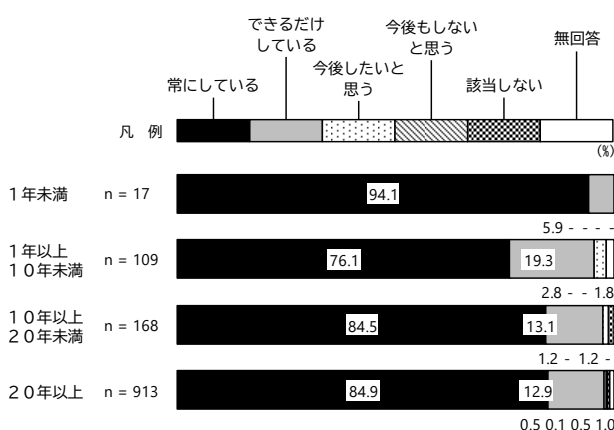
②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める



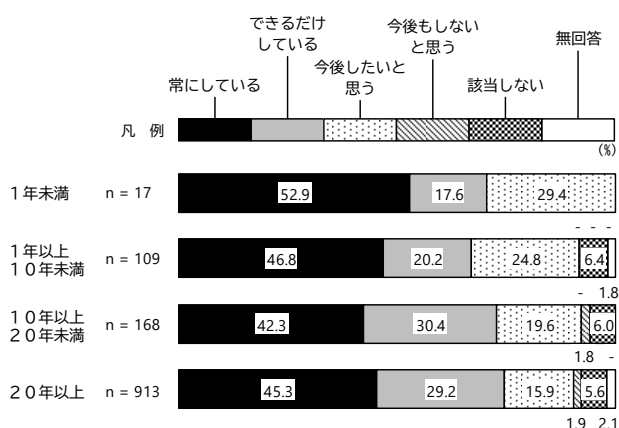
③紙類は分別して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す



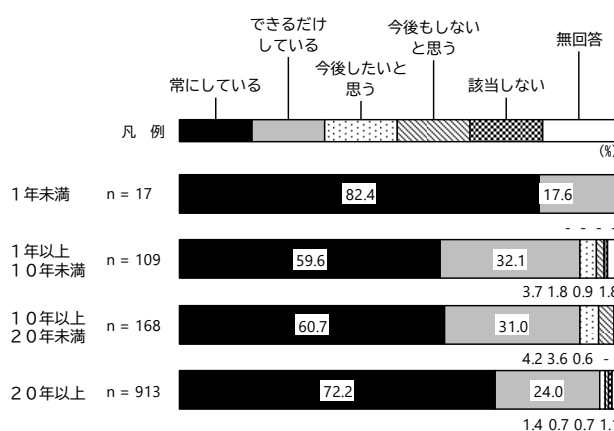
④プラスチック資源や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す



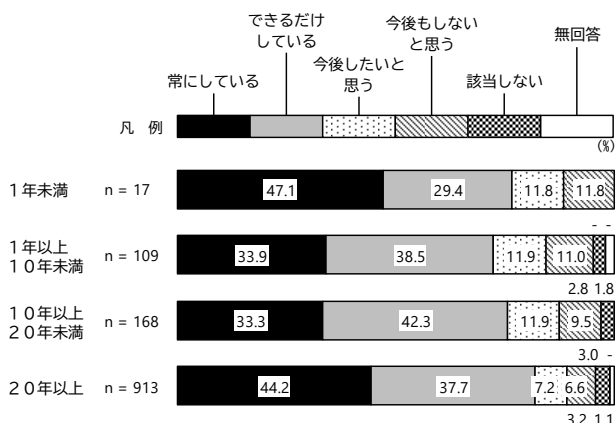
⑤小型家電は分別して回収ボックスに出す



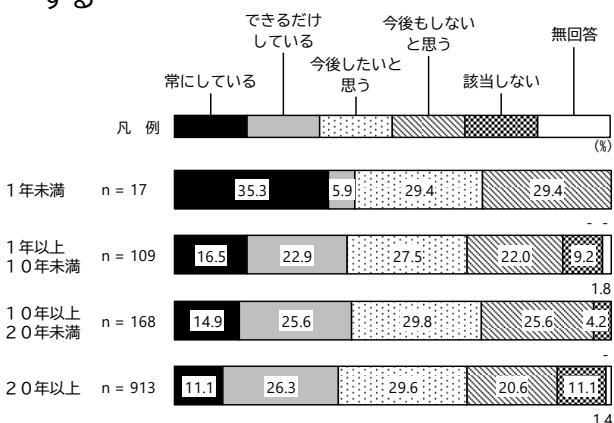
⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない



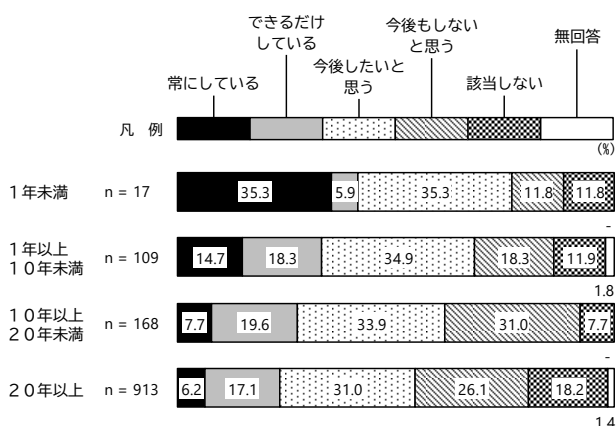
⑦コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない



⑧リサイクルプラザやリサイクルショップ、フリーマーケット等を活用して、ものを再利用する



⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する

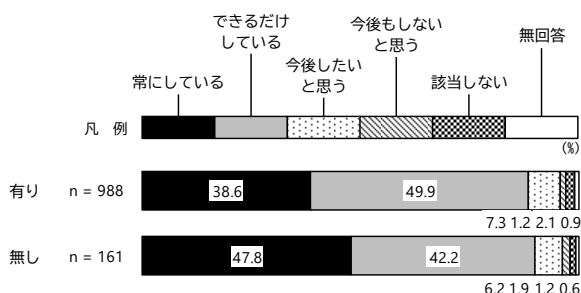


「常にしてある」との回答について、居住期間が1年未満では『②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める』(64.7%)、『⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない』(82.4%)、『⑧リサイクルプラザやリサイクルショップ、フリーマーケット等を活用して、ものを再利用する』(35.3%)、『⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する』(35.3%)が1年以上の場合と比べて10ポイント以上高くなっている。

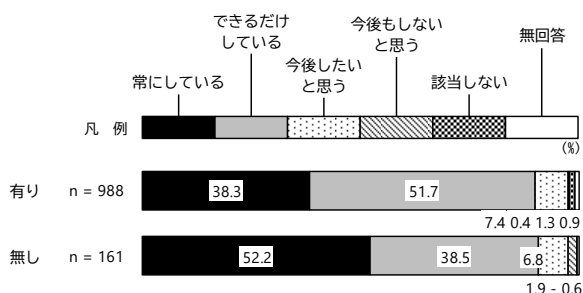
『⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する』については、「常にしてある」又は「できるだけしている」との回答について、居住期間が短くなるにつれて高くなる傾向がある一方、「今後もしないと思う」又は「該当しない」との回答について、居住期間が長くなるにつれて高くなる傾向がある。

【ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動×同居人の有無別】

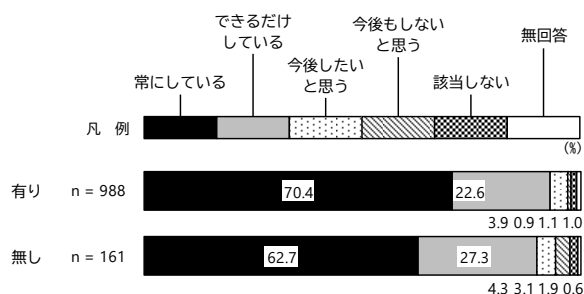
①生ごみは十分に水切りをする



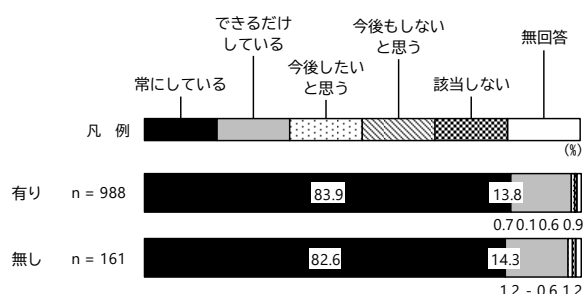
②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める



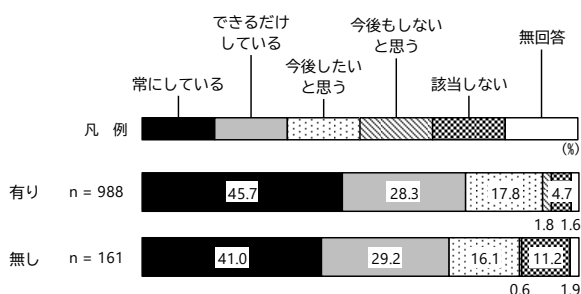
③紙類は分別して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す



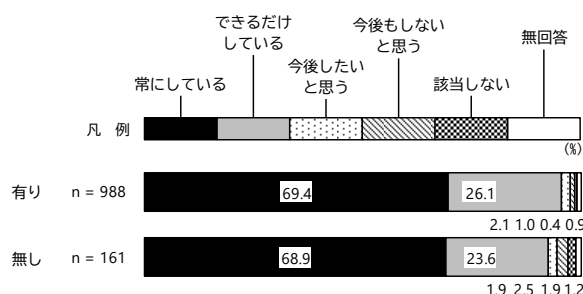
④プラスチック資源や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す



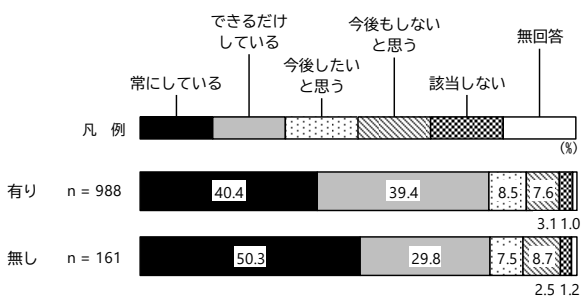
⑤小型家電は分別して回収ボックスに出す



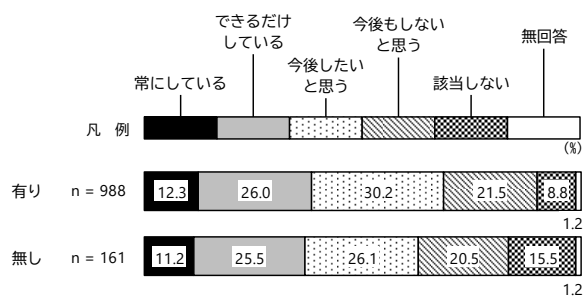
⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない



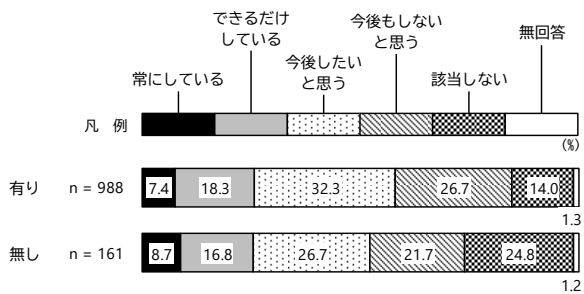
⑦コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない



⑧リサイクルプラザやリサイクルショップ、フリーマーケット等を活用して、ものを再利用する



⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する



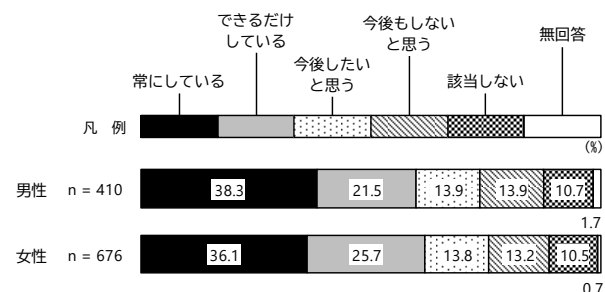
『②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める』について、同居人無しの人では「常に行っている」が52.2%と、有りの人と比べて13.9ポイント高くなっている一方、同居人有りの人では「できるだけしている」が51.7%と、無しの人と比べて13.2ポイント高くなっている。

『⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する』について、同居人無しの人では「該当しない」が24.8%と、有りの人と比べて10.8ポイント高くなっている。

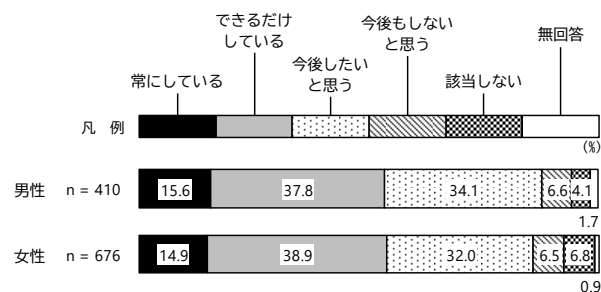
④ 自然環境の保全に配慮した行動について

【自然環境の保全に配慮した行動×性別】

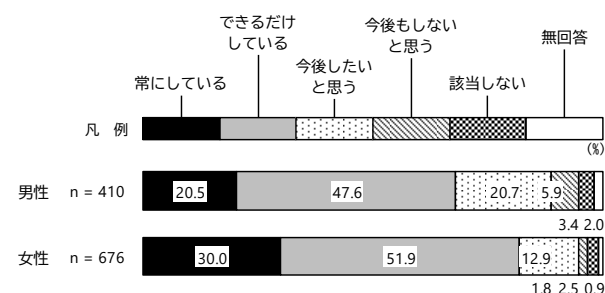
①庭やバルコなど、木や草花、野菜を育てる



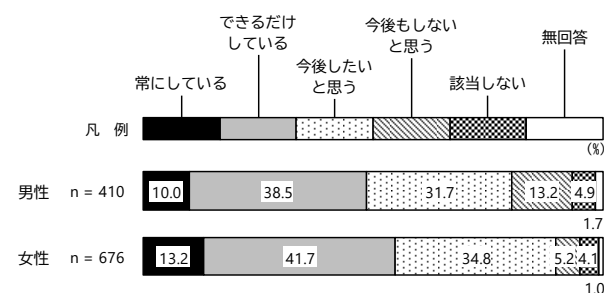
②公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ



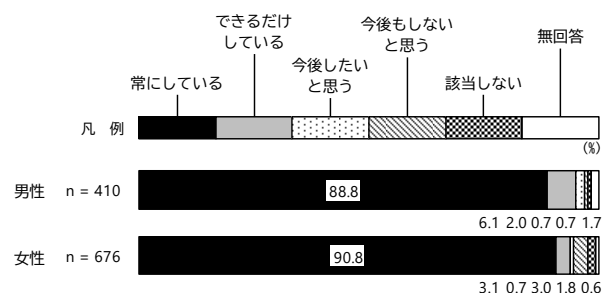
③食料品を買う際は、地元産や旬のものを選ぶ



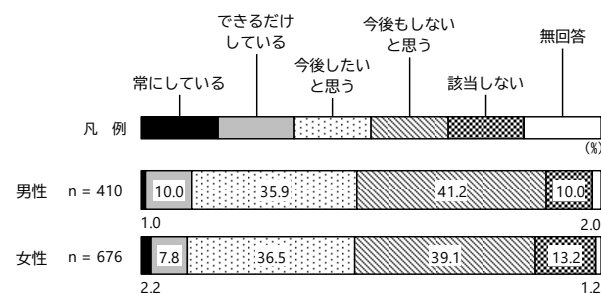
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品を選んで購入する



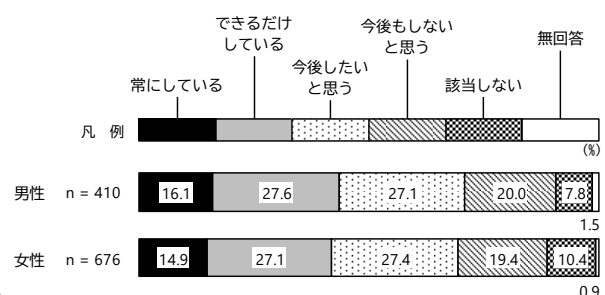
⑤ごみのポイ捨てをしない



⑥環境に関する講座やイベントに参加する



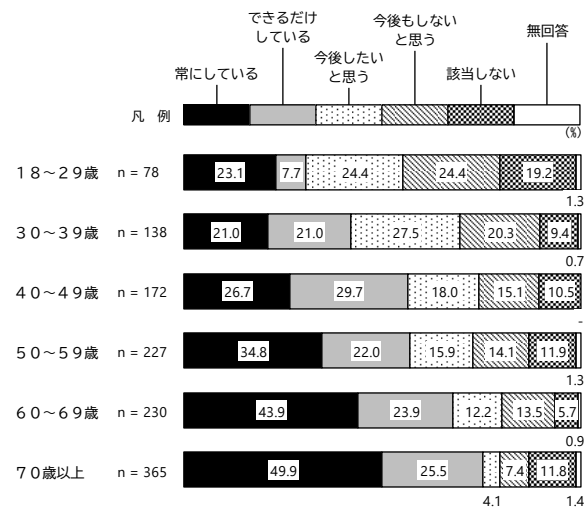
⑦地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する



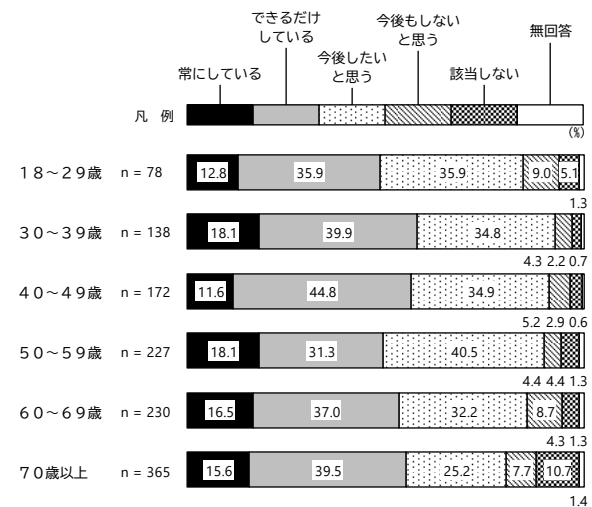
「常になっている」又は「できるだけしている」との回答について、女性では『③食料品を買う際は、地元産や旬のものを選ぶ』（82.0%）が男性と比べて13.9ポイント高くなっている。

【自然環境の保全に配慮した行動×年齢別】

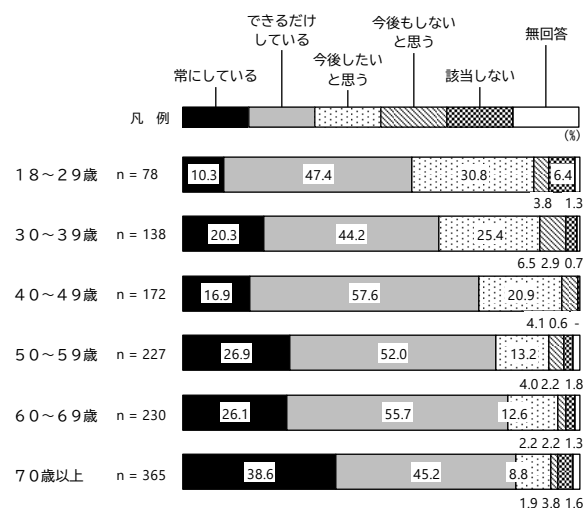
①庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる



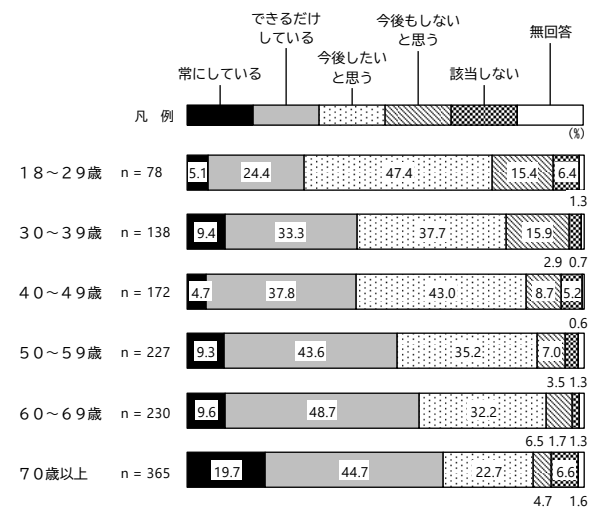
②公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ



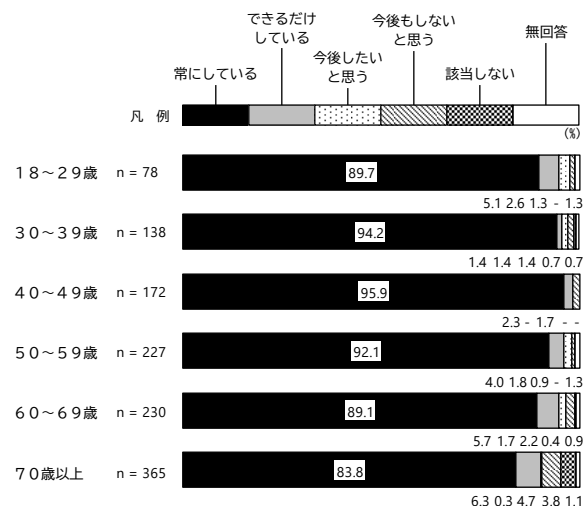
③食料品を買う際は、地元産や旬のものを選ぶ



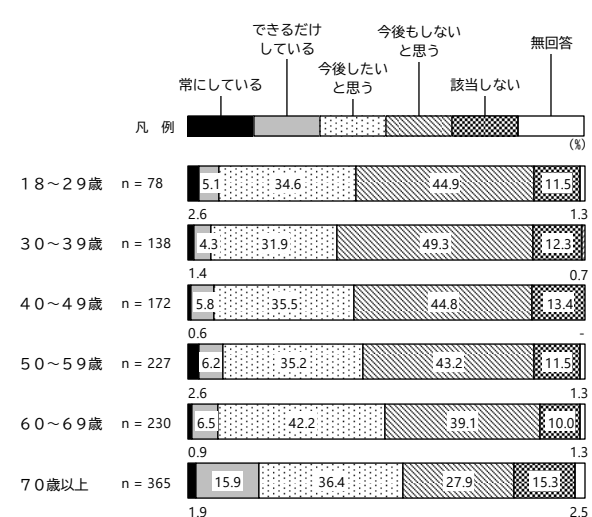
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品を選んで購入する



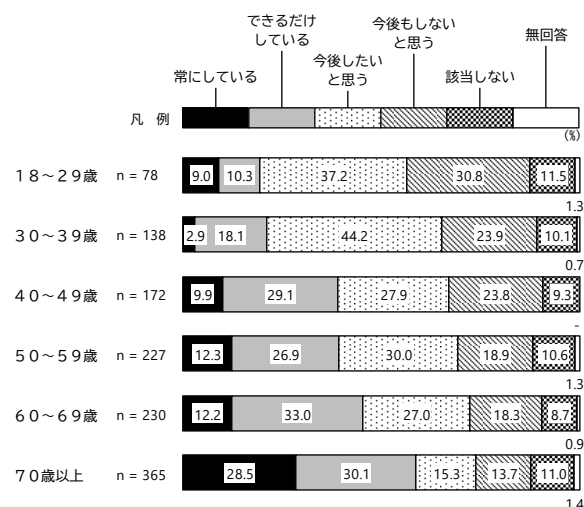
⑤ごみのポイ捨てをしない



⑥環境に関する講座やイベントに参加する



⑦地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する

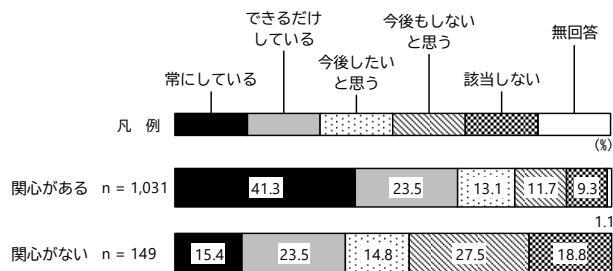


「常にしている」又は「できるだけしている」との回答について、『①庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる』、『③食料品を買う際は、地元産や旬のものを選ぶ』、『④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品を選んで購入する』、『⑦地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する』では年代が上がるにつれて高くなる傾向があり、特に『⑦地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する』では70歳以上が58.6%と他の年代と比べて10ポイント以上高くなっている。

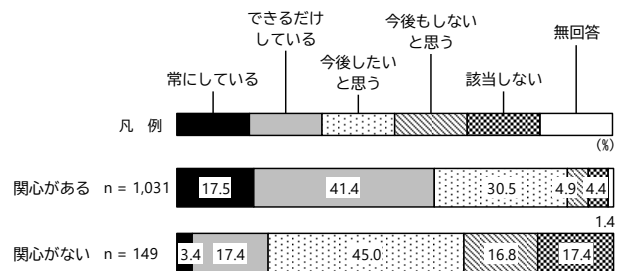
さらに、『①庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる』、『④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品を選んで購入する』では18～29歳が他の年代と比べて10ポイント以上低くなっている。

【自然環境の保全に配慮した行動×自然環境の保全への関心】

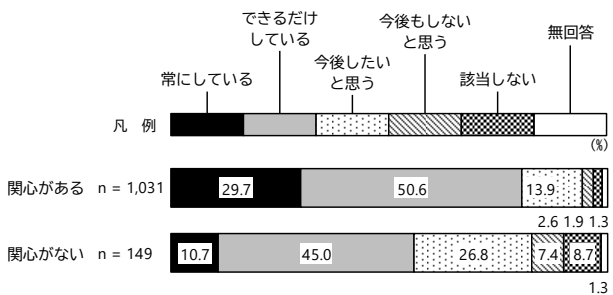
①庭やバルコニーなどで、木や草花、野菜を育てる



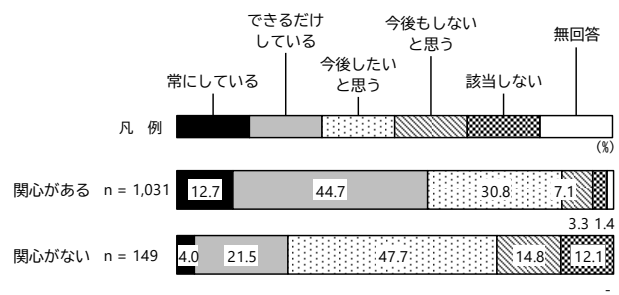
②公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ



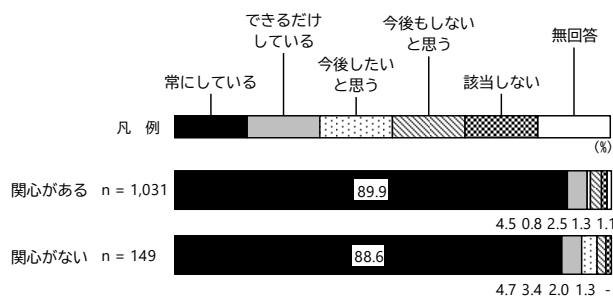
③食料品を買う際は、地元産や旬のものを選ぶ



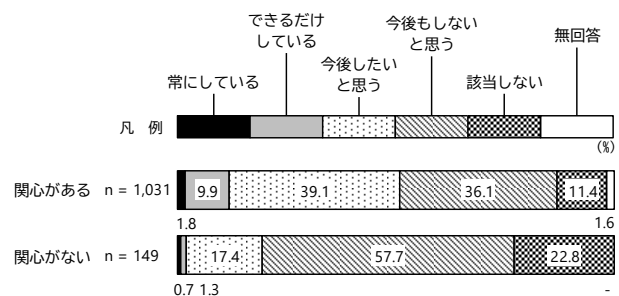
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品を選んで購入する



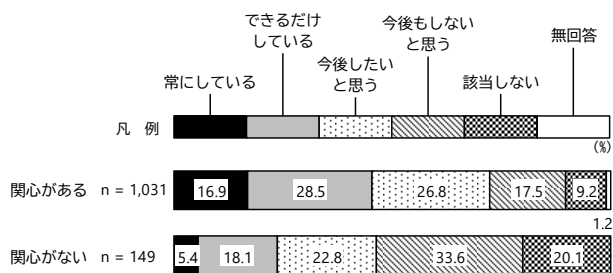
⑤ごみのポイ捨てをしない



⑥環境に関する講座やイベントに参加する



⑦地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する



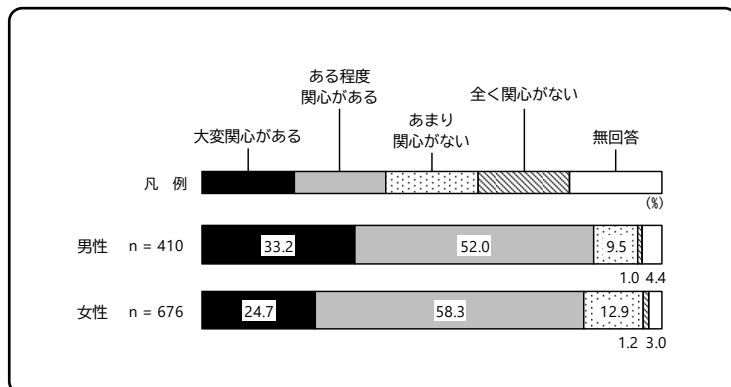
「常に行っている」との回答について、関心がある人では『①庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる』(41.3%)、『②公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ』(17.5%)、『③食料品を買う際は、地元産や旬のものを選ぶ』(29.7%)、『⑦地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する』(16.9%)が、関心がない人と比べて10ポイント以上高くなっている。

『⑥環境に関する講座やイベントに参加する』について、関心がある人では「今後したいと思う」との回答が39.1%と、関心がない人と比べて21.7ポイント高い一方、関心がない人では「今後もしないと思う」との回答が57.7%と、関心がある人と比べて21.6ポイント高くなっている。

(3) 自然環境の保全について

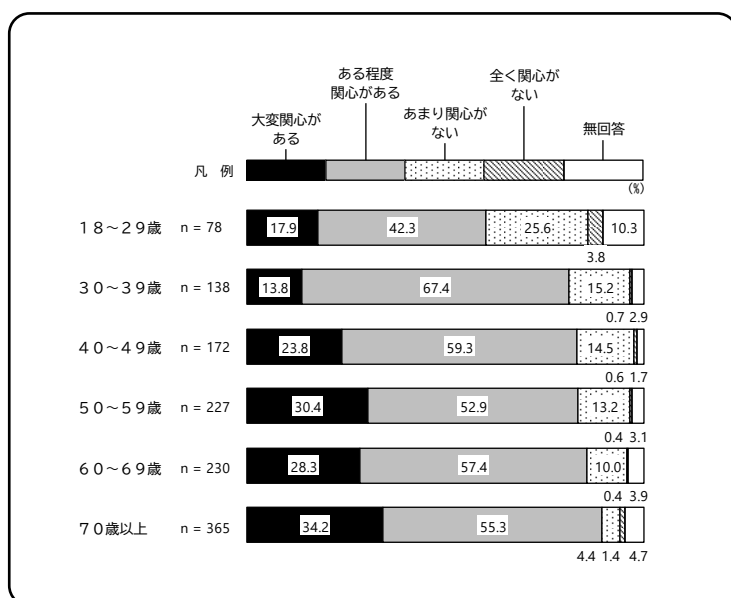
① 自然環境の保全に対する関心について（問3）

【自然環境の保全への関心×性別】



男女ともに同様の傾向である。

【自然環境の保全への関心×年齢別】

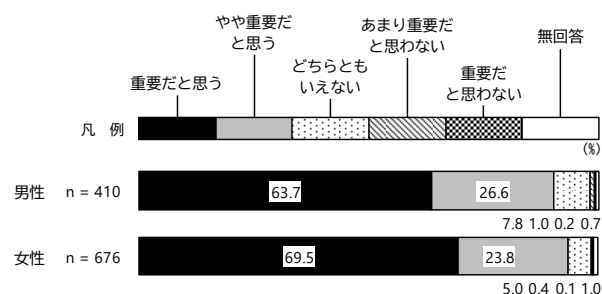


「大変関心がある」又は「ある程度関心がある」との回答について、いずれも6割以上となっており、特に30歳以上では8割台と、18～29歳と比べて20ポイント以上高くなっている。

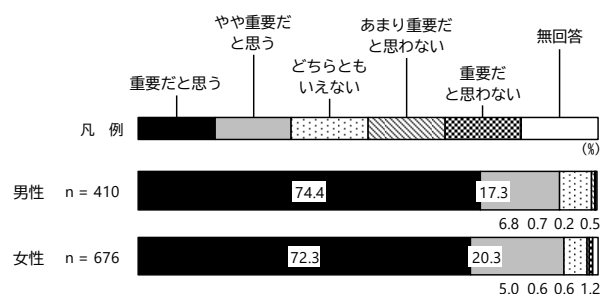
② 生物多様性の保全のため仙台市が取り組む施策について（問４）

【仙台市の生物多様性保全の取り組み×性別】

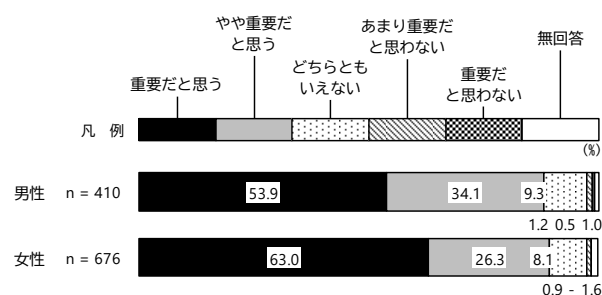
①多様な生きものが生息する自然環境の保全



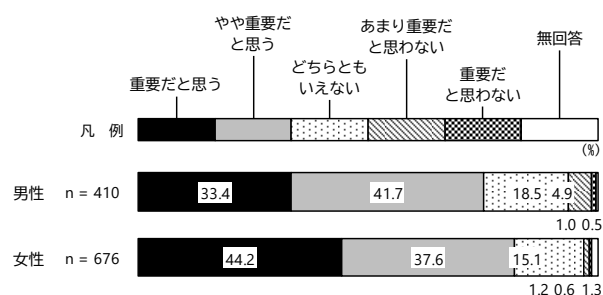
②在来の生態系に影響をおよぼす外来生物（外来種）への対策



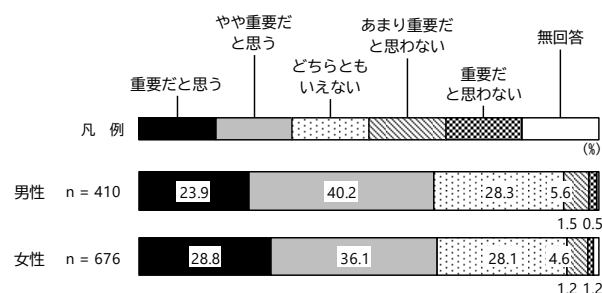
③生態系の保全につながる地産地消の推進



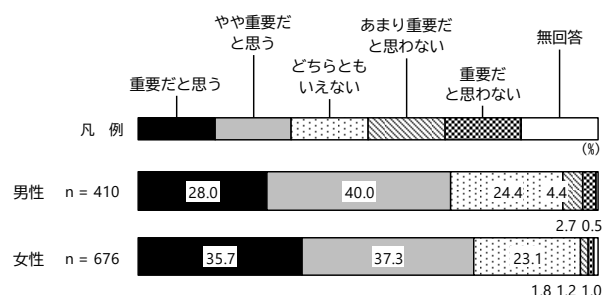
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品の購入促進



⑤自然観察会やエコツアーなど、自然と触れ合う機会や学習機会の充実



⑥生物多様性の保全に取り組む企業や市民団体への支援

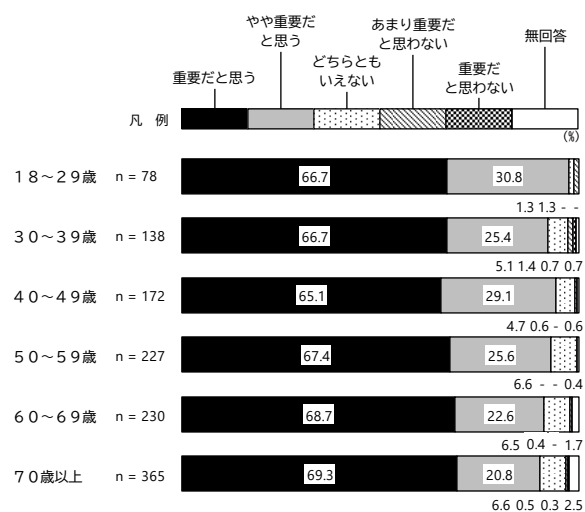


「重要だと思う」との回答について、女性では『④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品の購入促進』（44.2%）が男性と比べて 10.8 ポイント高くなっている。

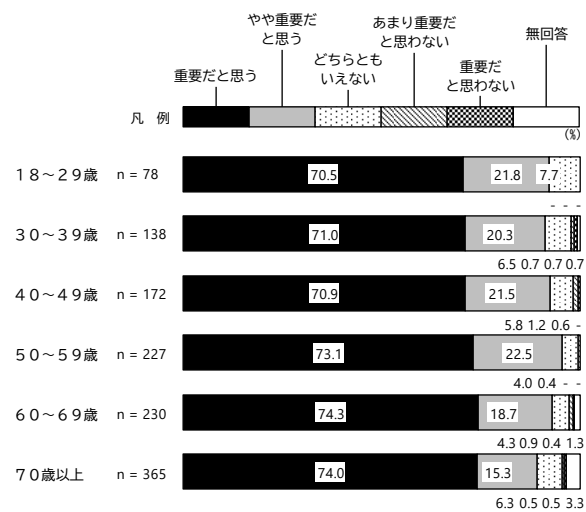
「やや重要だと思う」を含めると、男女ともに同様の傾向である。

【仙台市の生物多様性保全の取り組み×年齢別】

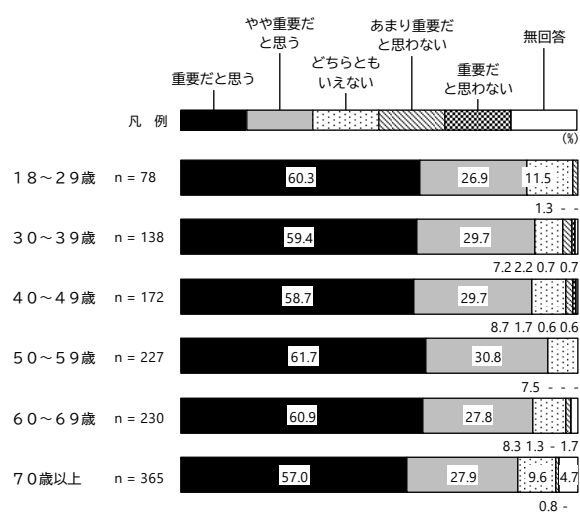
①多様な生きものが生息する自然環境の保全



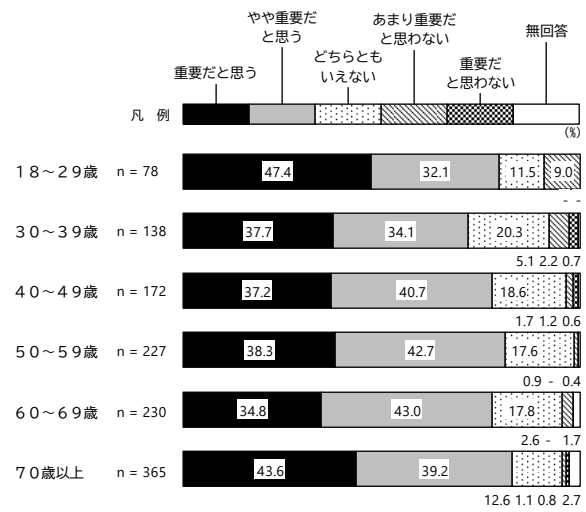
②在来の生態系に影響をおよぼす外来生物（外来種）への対策



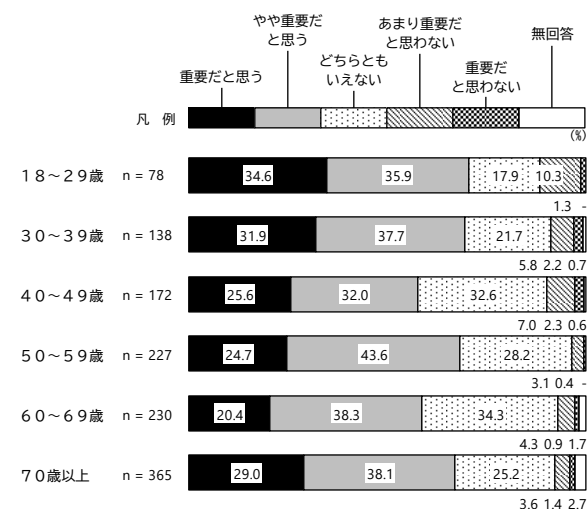
③生態系の保全につながる地産地消の推進



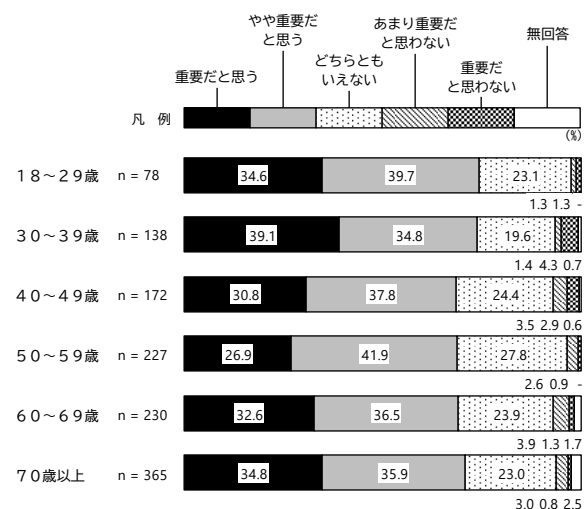
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品の購入促進



⑤自然観察会やエコツアーなど、自然と触れ合う機会や学習機会の充実



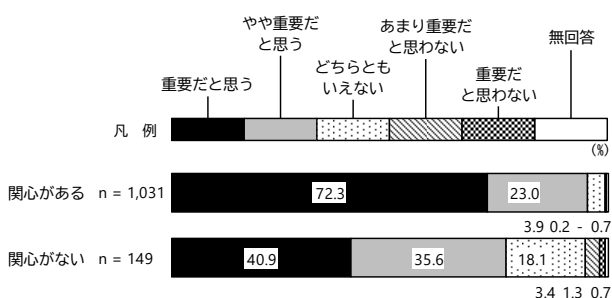
⑥生物多様性の保全に取り組む企業や市民団体への支援



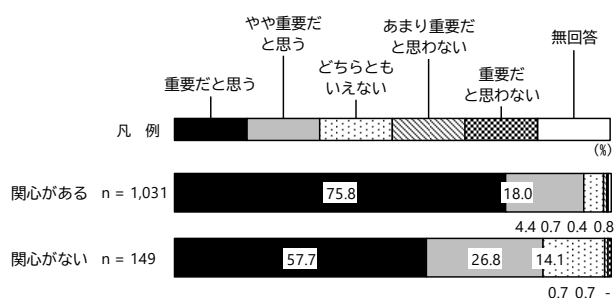
「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」との回答について、ほとんどの項目では、年代にかかわらず同様の傾向である。『⑤自然観察会やエコツアーなど、自然と触れ合う機会や学習機会の充実』では、40～49歳、60～69歳が他の年代と比べてやや低くなっている。

【仙台市の生物多様性保全の取り組み×自然環境の保全への関心】

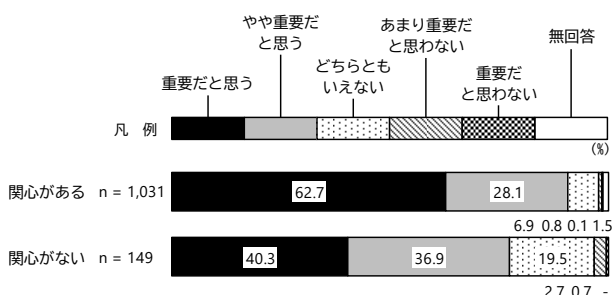
①多様な生きものが生息する自然環境の保全



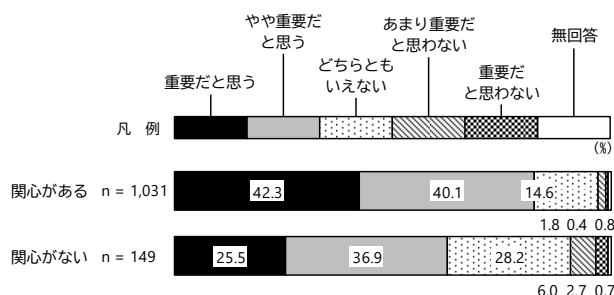
②在来の生態系に影響をおよぼす外来生物（外来種）への対策



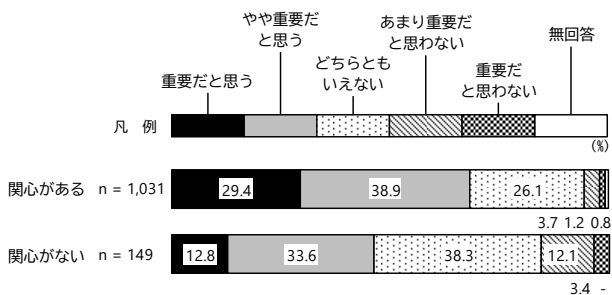
③生態系の保全につながる地産地消の推進



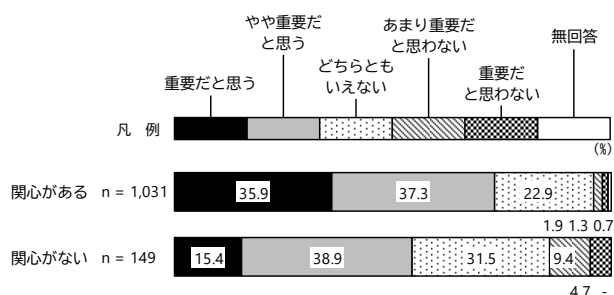
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品の購入促進



⑤自然観察会やエコツアーなど、自然と触れ合う機会や学習機会の充実



⑥生物多様性の保全に取り組む企業や市民団体への支援

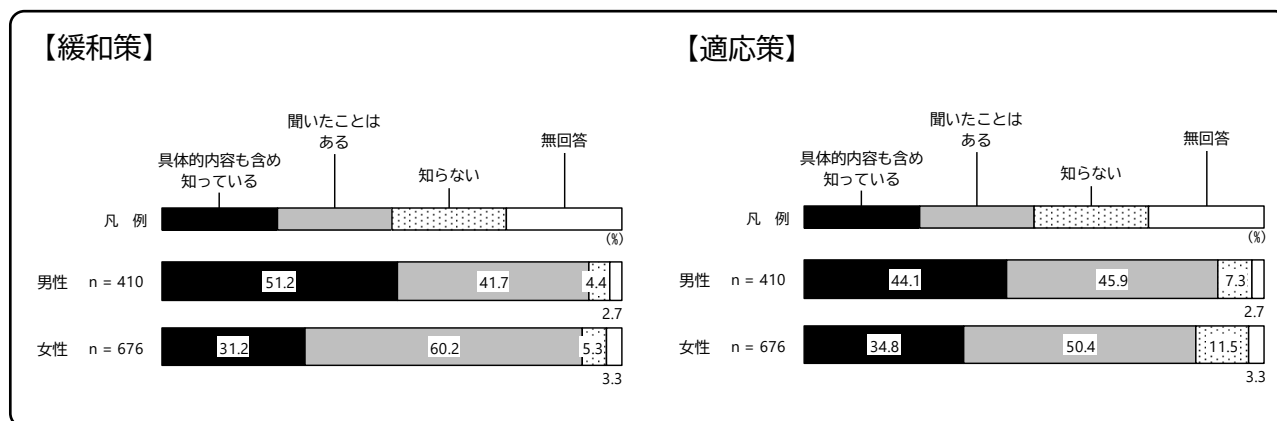


「重要だと思う」との回答について、すべての項目で、自然環境の保全への関心がある人がない人と比べて10ポイント以上高くなっている一方、「あまり重要だと思わない」又は「重要だと思わない」との回答について、関心がない人では『⑤自然観察会やエコツアーなど、自然と触れ合う機会や学習機会の充実』（15.4%）、『⑥生物多様性の保全に取り組む企業や市民団体への支援』（14.1%）がある人と比べて10ポイント以上高くなっている。

(4) 地球温暖化対策について（問5）

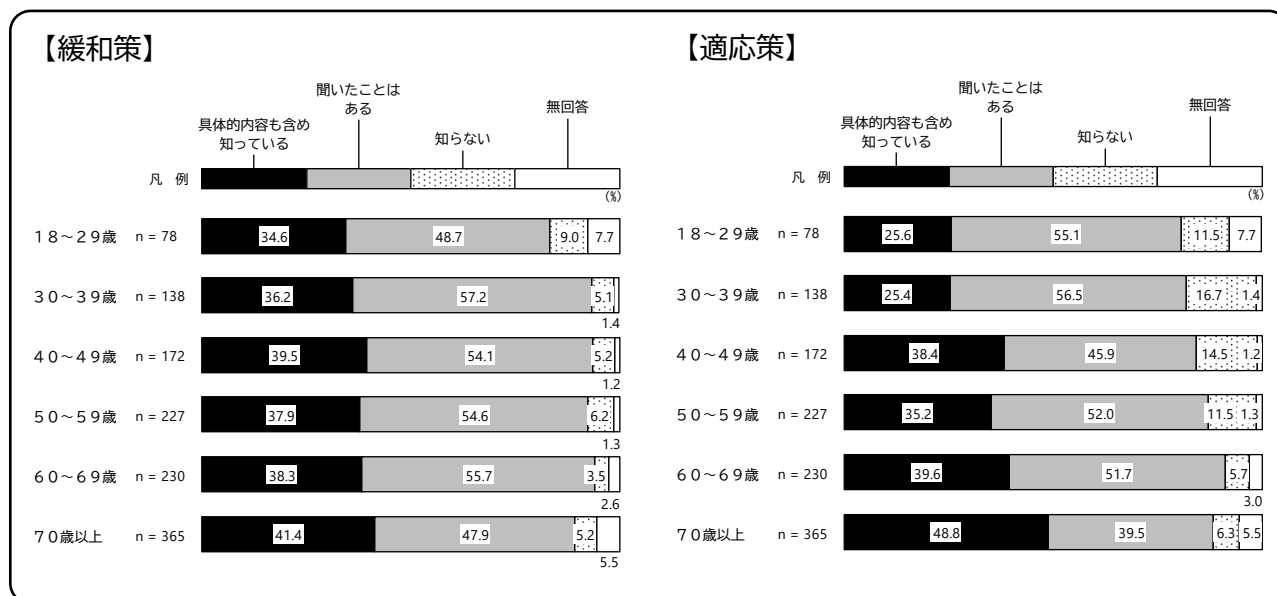
① 地球温暖化対策の認知度について

【地球温暖化対策の認知度×性別】



いずれも、「具体的内容も含め知っている」との回答については男性が高く、「聞いたことはある」との回答については女性が高くなっている。特に【緩和策】では、「具体的内容も含め知っている」との回答について、男性では51.2%と女性と比べて20.0ポイント高く、「聞いたことはある」との回答について、女性では60.2%と男性と比べて18.5ポイント高くなっている。

【地球温暖化対策の認知度×年齢別】



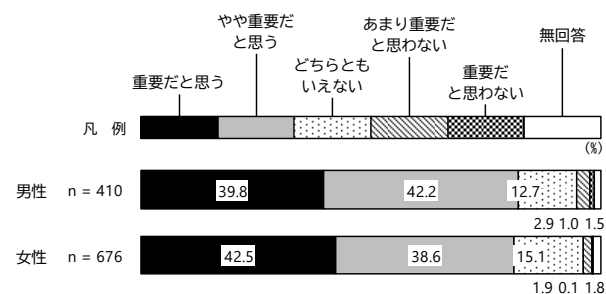
【緩和策】では、年代にかかわらず同様の傾向である。【適応策】では、「具体的内容も含め知っている」との回答について、18~39歳が2割台、40~69歳が3割台、70歳以上が48.8%となっており、18~39歳が他の年代と比べてやや低く、70歳以上が他の年代と比べてやや高くなっている。

② 地球温暖化対策として仙台市が取り組む施策について

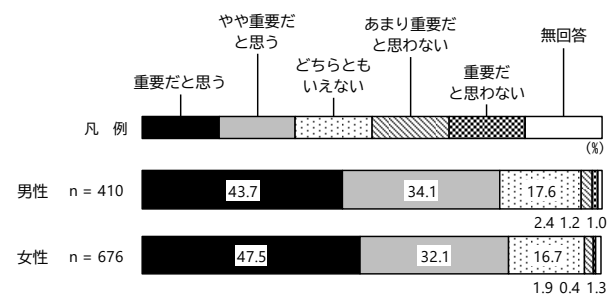
【仙台市の地球温暖化対策の取り組み×性別】

【緩和策】

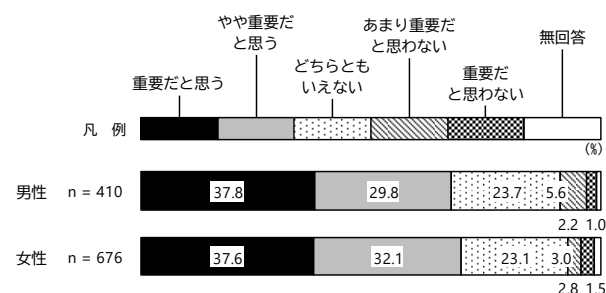
①省エネ型のライフスタイルの定着に向けた啓発の強化



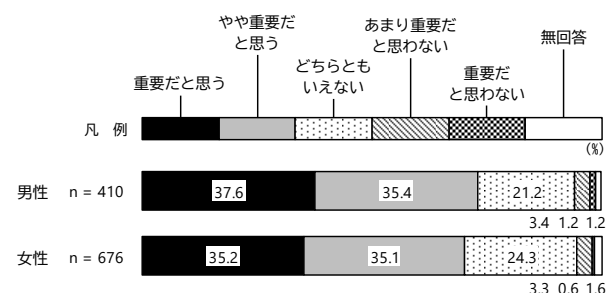
②公共交通機関や自転車など、環境にやさしい交通手段の利用促進



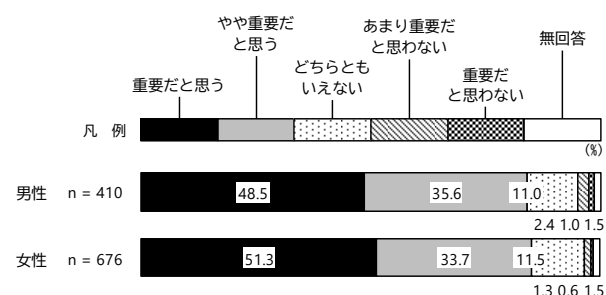
③太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及



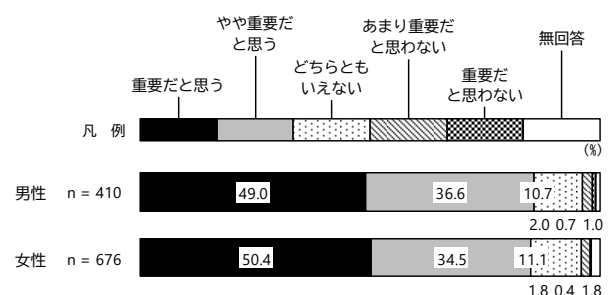
④エネルギー消費の小さい建築物の普及



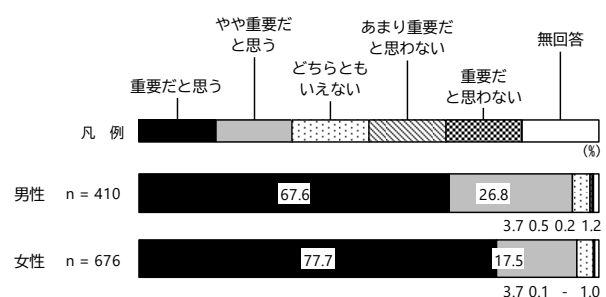
⑤事業活動による温室効果ガスの排出抑制の促進



⑥省エネ製品やエネルギー技術の開発など、環境ビジネスの推進

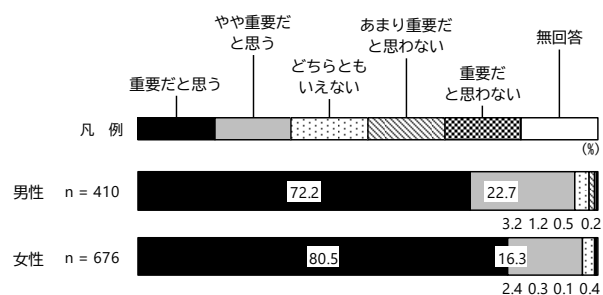


⑦二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な管理

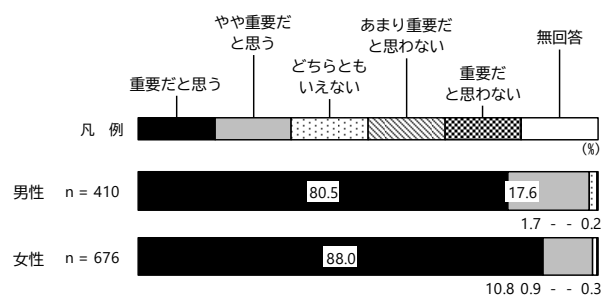


【適応策】

①熱中症や自然災害など、気候変動によるリスクや対策に関する情報提供



②保水能力を持つ森林や農地の保全など、豪雨に伴う洪水や土砂災害への対策



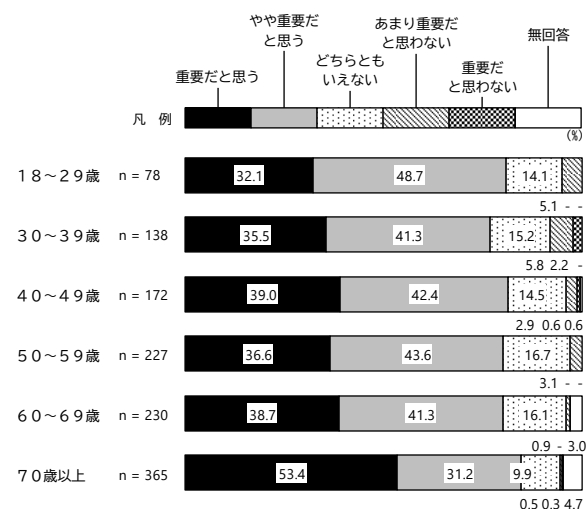
【緩和策】では、「重要だと思う」との回答について、女性では『⑦二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な管理』（77.7%）が男性と比べて 10.1 ポイント高くなっている。「やや重要だと思う」を含めると、いずれの項目についても男女ともに同様の傾向である。

【適応策】では、いずれの項目についても男女ともに同様の傾向である。

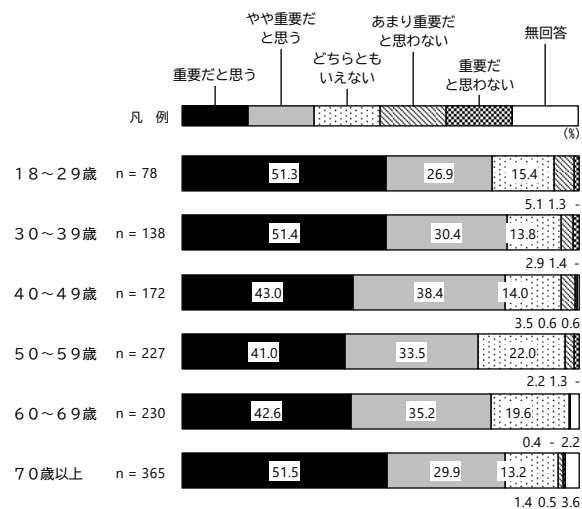
【仙台市の地球温暖化対策の取り組み×年齢別】

【緩和策】

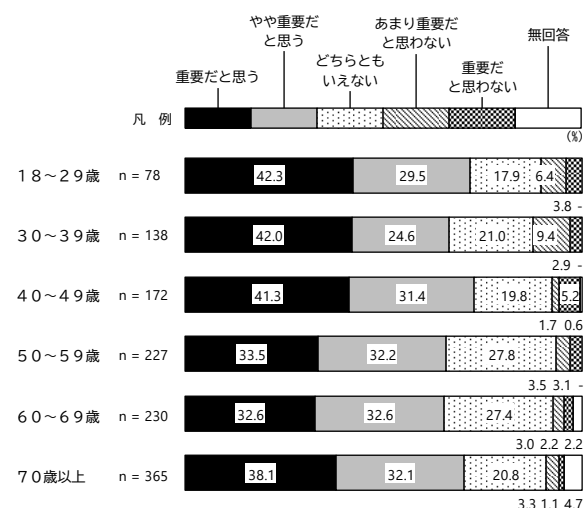
①省エネ型のライフスタイルの定着に向けた啓発の強化



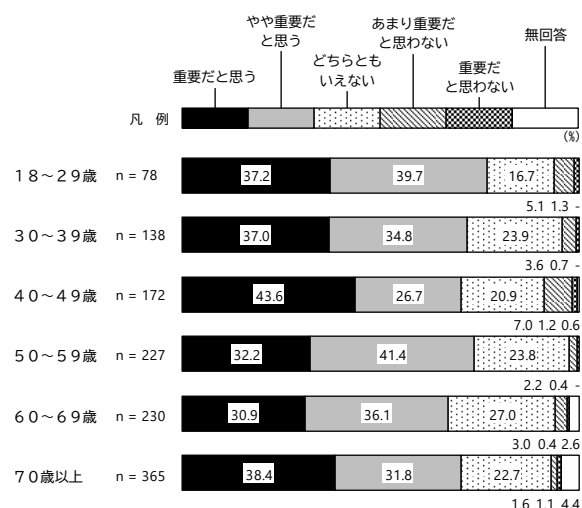
②公共交通機関や自転車など、環境にやさしい交通手段の利用促進



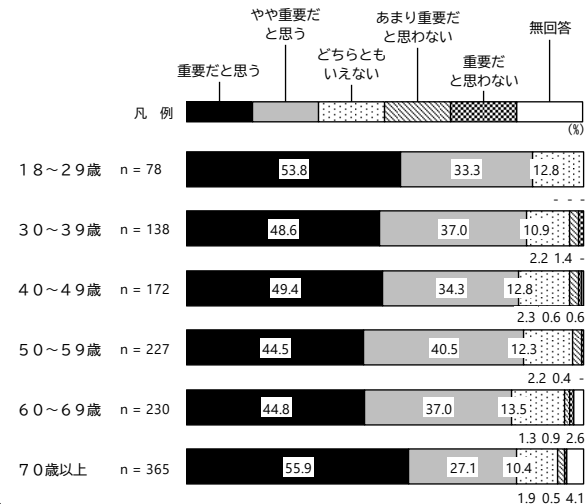
③太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及



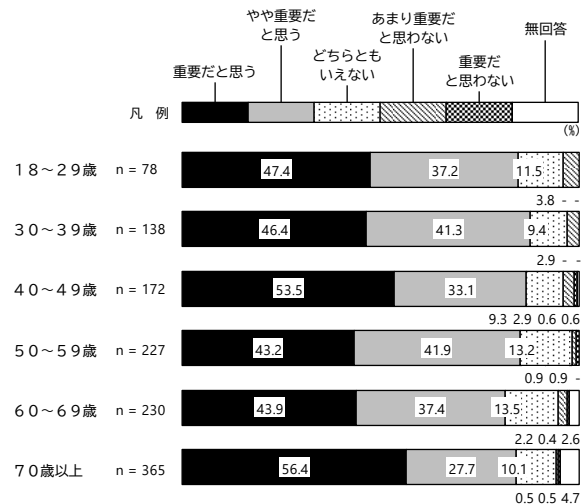
④エネルギー消費の小さい建築物の普及



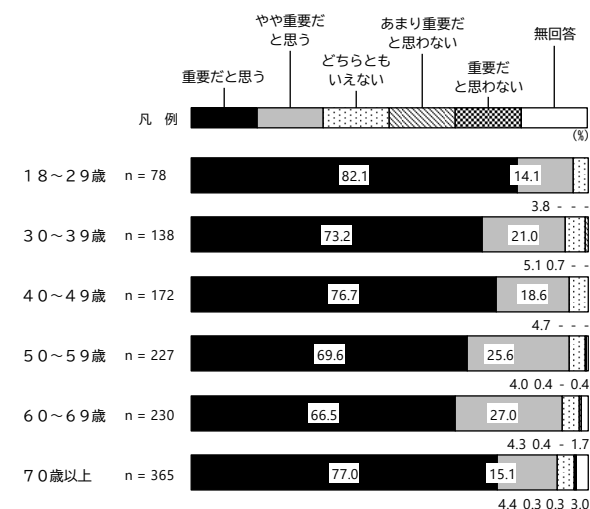
⑤事業活動による温室効果ガスの排出抑制の促進



⑥省エネ製品やエネルギー技術の開発など、環境ビジネスの推進

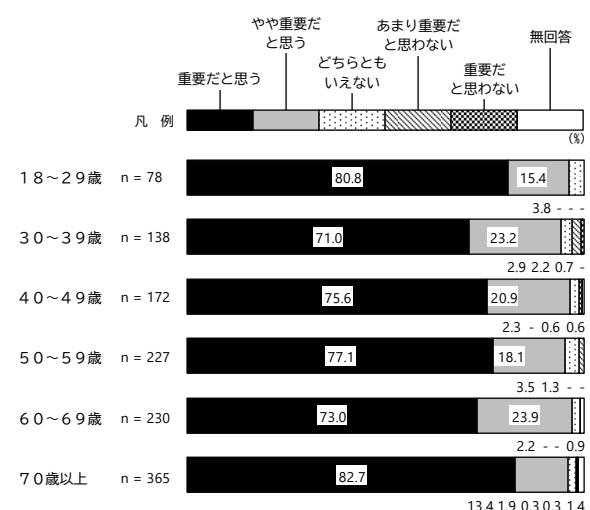


⑦二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な管理

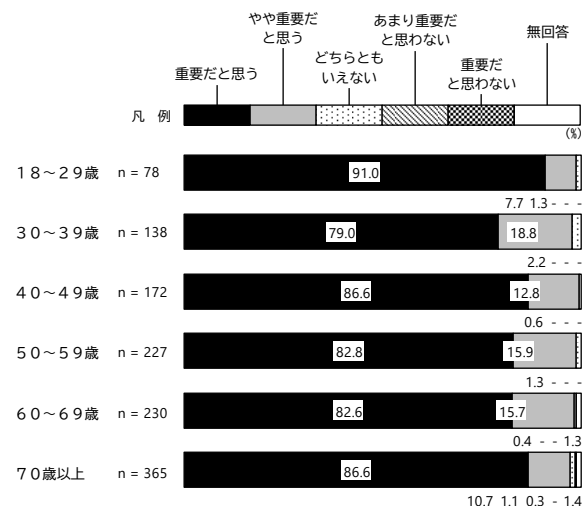


【適応策】

①熱中症や自然災害など、気候変動によるリスクや対策に関する情報提供



②保水能力を持つ森林や農地の保全など、豪雨に伴う洪水や土砂災害への対策



【緩和策】では、「重要だと思う」との回答について、70歳以上では『①省エネ型のライフスタイルの定着に向けた啓発の強化』（53.4%）が他の年代と比べて10ポイント以上高くなっている。「やや重要だと思う」を含めると、いずれの項目も、年代にかかわらず同様の傾向である。

【適応策】では、いずれの項目も、年代にかかわらず同様の傾向である。

3 「杜の都環境プラン」の定量目標の進捗について

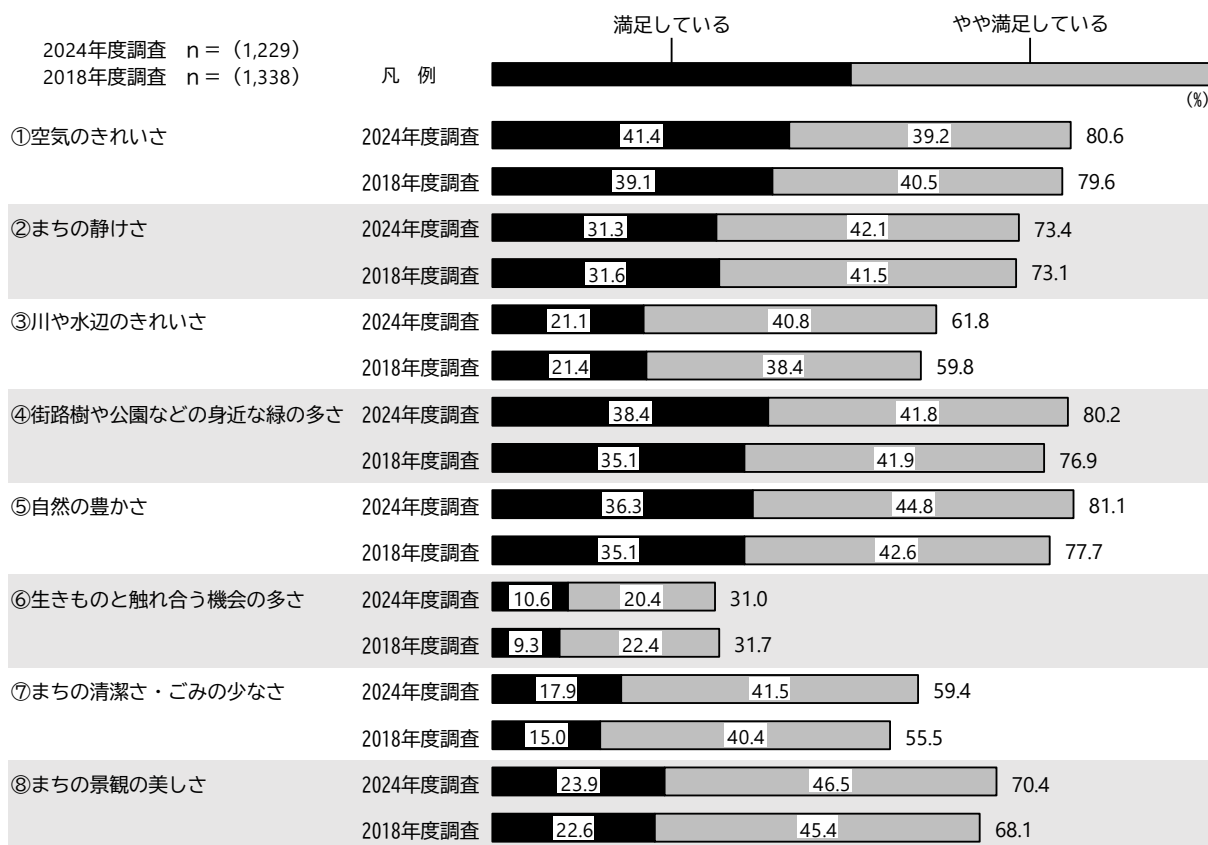
「杜の都環境プラン」の定量目標の進捗について評価を行うため、「仙台市の環境に関する満足度」及び「日常生活における環境配慮行動」について、基準となる2018年度の調査結果との比較を行った。

(1) 仙台市の環境に関する満足度について

【杜の都環境プランにおける定量目標】

市民の「環境に関する満足度」（8項目）について、全ての項目における満足度を現在よりも向上させます

※満足度：各項目について「満足している」または「やや満足している」と回答する人の割合



仙台市の環境について「満足している」又は「やや満足している」と回答した市民の割合は、2018年度と比べると8項目中7項目で上昇した。

最も上昇した項目は『⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ』で3.9ポイント上昇し、次いで『⑤自然の豊かさ』で3.4ポイント、『④街路樹や公園などの身近な緑の多さ』で3.3ポイントの上昇となった。

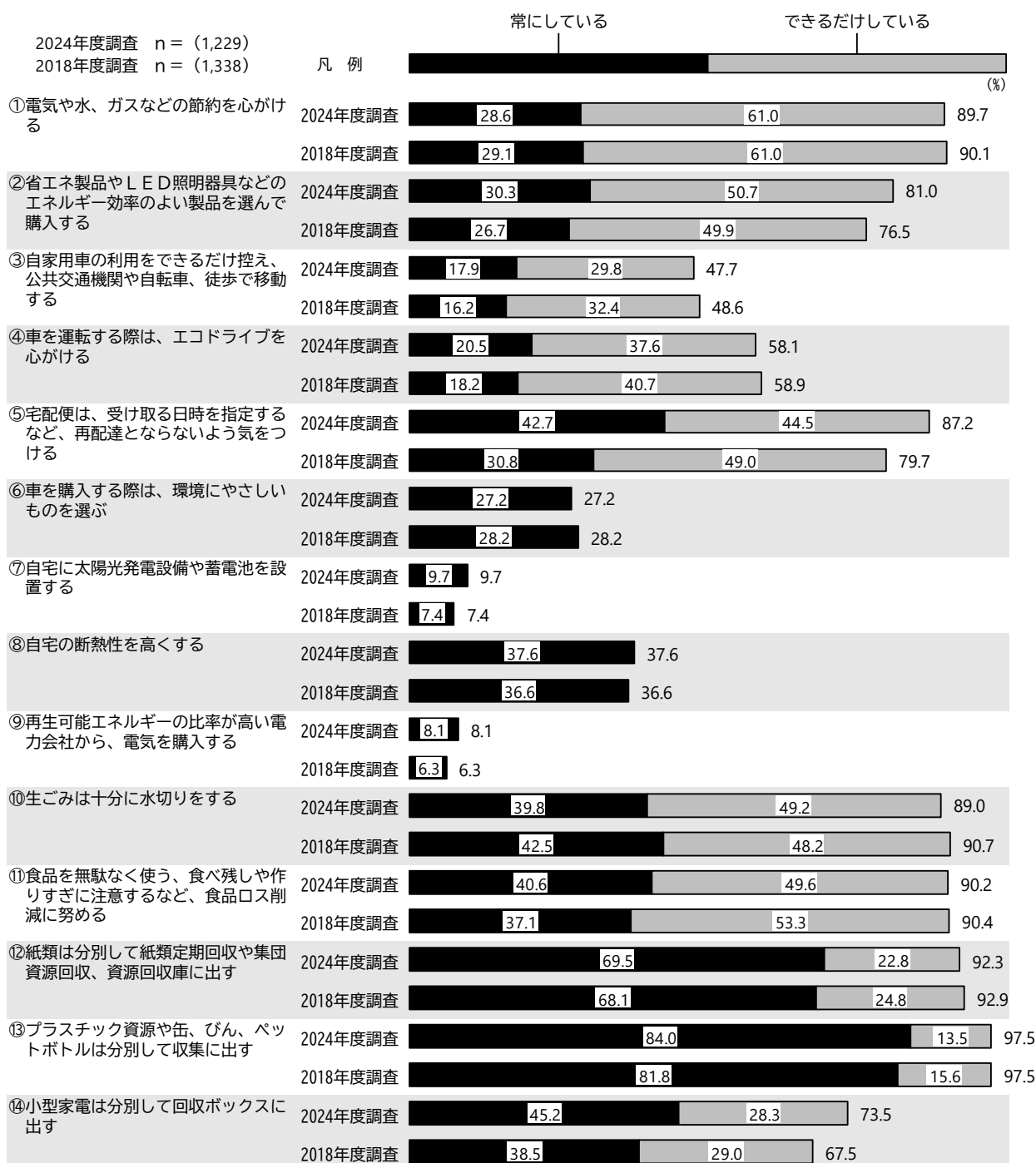
一方、下降した項目は『⑥生きものと触れ合う機会の多さ』で0.7ポイント下降した。

(2) 日常生活における環境配慮行動について

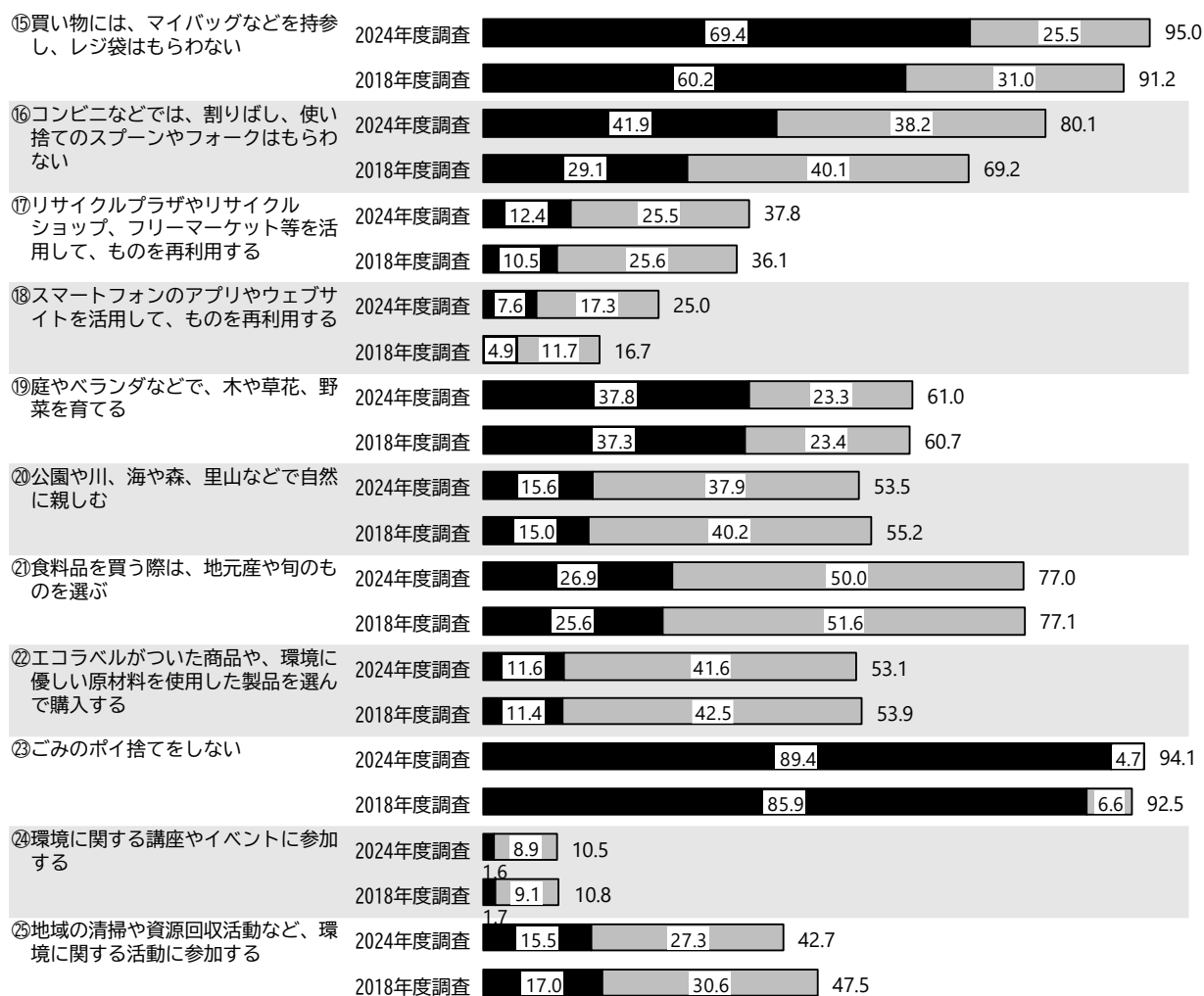
【杜の都環境プランにおける定量目標】

日常生活における市民の環境配慮行動（25 項目）について、全ての項目における実践割合を現在よりも向上させます

※実践割合：各項目について「常に行っている」または「できるだけ行っている」と回答する人の割合



Ⅲ 調査結果



※⑥～⑨では、「既に行っている」との回答について、グラフ上では「常に行っている」として表示している
また、「できるだけ行っている」は未聴取のため非表示としている

日常生活における市民の環境配慮行動について、「常に行っている」または「できるだけ行っている」と回答する人の割合は、2018年度と比べると25項目中13項目で上昇した。

最も上昇した項目は『⑯コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない』で10.9ポイント上昇し、次いで『⑱スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する』で8.3ポイント、『⑤宅配便は、受け取る日時を指定するなど、再配達とならないよう気をつける』で7.5ポイントの上昇となった。

一方、最も下降した項目は『㉕地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する』で4.8ポイント下降し、次いで『⑩生ごみは十分に水切りをする』、『㉔公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ』でいずれも1.7ポイントの下降となった。

環境に関する市民意識調査へのご協力のお願い

～仙台市からのアンケート調査です～

1. 調査の趣旨

市民の皆さまには、日頃より仙台市の環境行政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

この調査は、仙台市民の皆さまが、仙台市の環境についてどのように感じているか、また環境に配慮した生活をどのように実践しているかなどを把握するため、無作為で抽出した満 18 歳以上の市民 3,000 人の方に、お送りしたものです。

調査の結果は、これまでの仙台市の取り組みの評価や、今後の環境行政を推進するにあたっての貴重な基礎資料とさせていただきます。

ご多忙の中ご面倒をおかけしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

2. ご回答上の注意事項

①この調査は、次のことについておたずねします。アンケートの所要時間は5分程度です。

- I. 仙台市の環境に関する満足度について
- II. 日常生活における環境配慮行動について
- III. 自然環境の保全について
- IV. 地球温暖化対策について
- V. 仙台市の環境行政へのご意見等について

②質問に従って、あてはまる番号に○印をつけてください。

③この調査の結果は、統計的に処理いたします。個人情報公表されることはありません。

④ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和6年9月27日(金)までにご投函ください。なお、切手を貼る必要はありません。

3. お問い合わせ先

本調査に関するご質問などは、下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】 仙台市 環境局環境部 環境企画課 齋藤
住所：仙台市青葉区二日町 6-12 二日町第二仮庁舎 4 階
電話：022-214-8218
FAX：022-214-0580





まず、あなたの性別、年齢などについておたずねします。

以下の各項目について、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
年齢	1. 18～29 歳 3. 40～49 歳 5. 60～69 歳	2. 30～39 歳 4. 50～59 歳 6. 70 歳以上	
同居人の有無	1. 有り	2. 無し	
仙台市における 居住期間	1. 1 年未満 3. 10 年以上 20 年未満	2. 1 年以上 10 年未満 4. 20 年以上	

※一度市外に転出して、仙台に戻られた方や、市内で引越した方は、通算の年数をお答えください。

Ⅰ. 仙台市の環境に関する満足度についておたずねします。

問 1. あなたは、現在の仙台市の環境について、次の各項目に関して満足していますか。

以下の各項目について、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	満足して いる	やや満足 している	どちらとも いえない	やや不満だ	不満だ
①空気のきれいさ	1	2	3	4	5
②まちの静けさ	1	2	3	4	5
③川や水辺のきれいさ	1	2	3	4	5
④街路樹や公園などの 身近な緑の多さ	1	2	3	4	5
⑤自然の豊かさ	1	2	3	4	5
⑥生きものと触れ合う機会の多さ	1	2	3	4	5
⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ	1	2	3	4	5
⑧まちの景観の美しさ	1	2	3	4	5



II. 日常生活における環境配慮行動について、おたずねします。

問2. あなたは、次に示すような環境に配慮した行動を行っていますか。

次の各行動について、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

* そもそも、その行動ができない場合は、「該当しない」に○印をつけてください。

例えば、次の場合が該当します。

例1) 「④車を運転する際は…」について、車を運転しない方の場合

例2) 「③自宅の断熱性を高くする」について、自宅が持ち家ではない方の場合 など

(1) 地球温暖化防止に配慮した行動について

(家庭内や外出先での行動)

	常に している	できるだけ している	今後したい と思う	今後もしない と思う	該当 しない
①電気や水、ガスなどの節約を 心がける	1	2	3	4	5
②省エネ製品やLED 照明器具など のエネルギー効率のよい製品を 選んで購入する	1	2	3	4	5
③自家用車の利用をできるだけ控 え、公共交通機関や自転車、徒歩 で移動する	1	2	3	4	5
④車を運転する際は、エコドライブ を心がける	1	2	3	4	5
⑤宅配便は、受け取る日時を指定す るなど、再配達とならないよう気 を付ける	1	2	3	4	5

(車の購入や住まいに関する行動)

	既に行っている	今後したい と思う	今後もしない と思う	該当しない
①車を購入する際は、環境にやさ しいものを選ぶ	1	2	3	4
②自宅に太陽光発電設備や蓄電池 を設置する	1	2	3	4
③自宅の断熱性を高くする (高断熱材、ペアガラス、二重サ ッシなど)	1	2	3	4
④再生可能エネルギーの比率が高い 電力会社から、電気を購入する	1	2	3	4



(2) ごみ減量やリサイクルの推進に配慮した行動について

	常に している	できるだけ している	今後したい と思う	今後もしない と思う	該当 しない
①生ごみは十分に水切りをする	1	2	3	4	5
②食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める	1	2	3	4	5
③紙類は分別して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す	1	2	3	4	5
④プラスチック資源や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す	1	2	3	4	5
⑤小型家電は分別して回収ボックスに出す	1	2	3	4	5
⑥買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない	1	2	3	4	5
⑦コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない	1	2	3	4	5
⑧リサイクルプラザやリサイクルショップ、フリーマーケット等を活用して、ものを再利用する	1	2	3	4	5
⑨スマートフォンのアプリやウェブサイトを活用して、ものを再利用する	1	2	3	4	5



(3) 自然環境の保全に配慮した行動について

	常に している	できるだけ している	今後したい と思う	今後もしない と思う	該当 しない
①庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる	1	2	3	4	5
②公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ	1	2	3	4	5
③食料品を買う際は、地元産や旬のものを選ぶ	1	2	3	4	5
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品を選んで購入する	1	2	3	4	5
⑤ごみのポイ捨てをしない	1	2	3	4	5
⑥環境に関する講座やイベントに参加する	1	2	3	4	5
⑦地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する	1	2	3	4	5





III. 自然環境の保全について、おたずねします。

問3. 仙台市は、市域全体の約8割が緑に覆われるなど、豊かな自然環境に恵まれ、多様な生きものが生息しています。

あなたは、自然環境の保全に関心がありますか。

あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 大変関心がある
2. ある程度関心がある
3. あまり関心がない
4. 全く関心がない

問4. 人間も含め、地球上の様々な生きものが、お互いつながり支え合いながら生きていることを「生物多様性」と言います。近年、メダカやトンボなど身近な生きものが減少するなど、生物多様性の低下が問題となっています。

生物多様性を保全するため、仙台市が取り組む施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	重要だと思ふ	やや重要だと思ふ	どちらともいえない	あまり重要だと思わない	重要だと思わない
①多様な生きものが生息する自然環境の保全	1	2	3	4	5
②在来の生態系に影響をおよぼす外来生物（外来種）への対策	1	2	3	4	5
③生態系の保全につながる地産地消の推進	1	2	3	4	5
④エコラベルがついた商品や、環境に優しい原材料を使用した製品の購入促進	1	2	3	4	5
⑤自然観察会やエコツアーなど、自然と触れ合う機会や学習機会の充実	1	2	3	4	5
⑥生物多様性の保全に取り組む企業や市民団体への支援	1	2	3	4	5



IV. 地球温暖化対策について、おたずねします。

問5.

- (1) 地球温暖化対策には、温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出量を減らす【緩和策】と、豪雨等の自然災害、猛暑による熱中症など避けられない影響に対応し、被害の回避・低減のために備える【適応策】があることをご存知ですか。

あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

【緩和策】温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出量を減らすこと

1. 具体的内容も含め知っている
2. 聞いたことはある
3. 知らない

【適応策】豪雨等の自然災害、猛暑による熱中症など避けられない影響に対応し、被害の回避・低減のために備えること

1. 具体的内容も含め知っている
2. 聞いたことはある
3. 知らない

- (2) 地球温暖化対策について、仙台市が取り組む施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

【緩和策】

	重要だ と思う	やや重要 だと思う	どちらとも いえない	あまり 重要だと思 わない	重要だと思 わない
①省エネ型のライフスタイルの定着 に向けた啓発の強化	1	2	3	4	5
②公共交通機関や自転車など、環境に やさしい交通手段の利用促進	1	2	3	4	5
③太陽光発電などの再生可能エネル ギーの普及	1	2	3	4	5
④エネルギー消費の小さい建築物の 普及	1	2	3	4	5
⑤事業活動による温室効果ガスの 排出抑制の促進	1	2	3	4	5
⑥省エネ製品やエネルギー技術の 開発など、環境ビジネスの推進	1	2	3	4	5
⑦二酸化炭素の吸収源となる森林の 適切な管理	1	2	3	4	5



【適応策】

	重要だと思 う	やや重要 だと思 う	どちらとも いえない	あまり 重要だと思 わない	重要だと思 わない
①熱中症や自然災害など、気候変動 によるリスクや対策に関する情報 提供	1	2	3	4	5
②保水能力を持つ森林や農地の保全 など、豪雨に伴う洪水や土砂災害へ の対策	1	2	3	4	5

V. 仙台市の環境行政へのご意見等をおたずねします。

問6. 今後仙台市が取り組む環境施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考え
ですか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	重要だと思 う	やや重要 だと思 う	どちらとも いえない	あまり 重要だと思 わない	重要だと思 わない
①地球温暖化対策の推進	1	2	3	4	5
②自然環境や生物多様性の保全、活用	1	2	3	4	5
③ごみの減量・リサイクルの推進	1	2	3	4	5
④大気汚染や水質汚濁、騒音等への 対策	1	2	3	4	5
⑤環境教育・学習の推進	1	2	3	4	5

問7. 仙台市の環境行政に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

調査結果はとりまとめ次第、仙台市ホームページ上でお知らせします。



環境に関する中学生アンケートへのご協力をお願い

1. 調査の趣旨

この調査は、中学2年生の皆さんが、仙台市の環境についてどのように感じているか、また環境に配慮した生活をどのように実践し、今後の仙台市の環境についてどのように考えているかなどを把握するために実施するものです。

調査の結果は、これまでの仙台市の取り組みの評価や、今後の環境行政を推進するにあたっての貴重な基礎資料とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

2. 回答する上での注意事項

①この調査は、次のことについておたずねします。

- I. 仙台市の環境に関する満足度について
- II. 日常生活における環境配慮行動について
- III. 環境学習について
- IV. 仙台市の環境について

②質問の指示にしたがって、あてはまる番号に○印をつけてください。

③この調査は、あなた自身について、おたずねします。他の人と相談して答えないようにしてください。

④この調査の結果は、統計的に処理します。個人の情報が公表されることはありません。

⑤記入した調査票は、令和6年9月27日(金)までに担任の先生に提出してください。





I. 仙台市の環境に関する満足度についておたずねします。

問1. あなたは、現在の仙台市の環境について、次の各項目に関して満足していますか。
以下の項目のそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	満足して いる	やや満足 している	どちらとも いえない	やや不満だ	不満だ
①空気のきれいさ	1	2	3	4	5
②まちの静けさ	1	2	3	4	5
③川や水辺のきれいさ	1	2	3	4	5
④街路樹や公園などの 身近な緑の多さ	1	2	3	4	5
⑤自然の豊かさ	1	2	3	4	5
⑥生きものと触れ合う機会の多さ	1	2	3	4	5
⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ	1	2	3	4	5
⑧まちの景観の美しさ	1	2	3	4	5



II. 日常生活における環境配慮行動について、おたずねします。

問2. あなたは、次に示すような環境に配慮した行動を行っていますか。
次の各行動について、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	常に している	できるだけ している	今後したい と思う	今後もしない と思う
①電気や水、ガスなどの節約を心がける	1	2	3	4
②食べ残しに注意するなど、食品ロス削減に努める	1	2	3	4
③紙類は分別している	1	2	3	4
④プラスチック資源や缶、びん、ペットボトルは分別している	1	2	3	4
⑤買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない	1	2	3	4
⑥コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない	1	2	3	4
⑦庭やベランダなどで、木や草花、野菜を育てる	1	2	3	4
⑧公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ	1	2	3	4
⑨ごみのポイ捨てをしない	1	2	3	4
⑩環境に関する講座やイベントに参加する	1	2	3	4
⑪地域の清掃や資源回収活動など、環境に関する活動に参加する	1	2	3	4





Ⅲ. 環境学習について、おたずねします。

問3. あなたは、次の環境学習に興味がありますか。以下の学習それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	とても 興味がある	ある程度 興味がある	あまり 興味がない	まったく 興味がない
①自然体験や生きものの野外観察	1	2	3	4
②科学実験やものづくり体験を通じた環境学習	1	2	3	4
③映画やDVD鑑賞を通じた環境学習	1	2	3	4
④身近な環境問題について自分で調査・研究する環境学習	1	2	3	4
⑤清掃工場や発電所などの施設見学を通じた環境学習	1	2	3	4
⑥専門家から環境に関する最新情報を聞くなどの講座	1	2	3	4





IV. 仙台市の環境についてのご意見等をおたずねします。

問4. あなたは、将来、仙台市は環境面でどのようなまちになったら良いと思いますか。
次の各項目について、あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

	強く思う	やや思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	思わない
①地球温暖化対策に積極的に取り組むまち	1	2	3	4	5
②自然が豊かで、多くの生きものが生息するまち	1	2	3	4	5
③ごみの減量・リサイクルが進んだまち	1	2	3	4	5
④水や空気がきれいで、静けさが保たれたまち	1	2	3	4	5
⑤市民が環境について積極的に学び環境のことを考えて行動するまち	1	2	3	4	5

問5. 仙台市の環境について考えていることがあれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。



仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）
市民意識調査
調査結果報告書

令和6年11月
仙台市 環境局 環境企画課

〒980-8671 仙台市青葉区二日町6番12号
二日町第二仮庁舎（MSビル二日町）4階
電話 022-214-8218